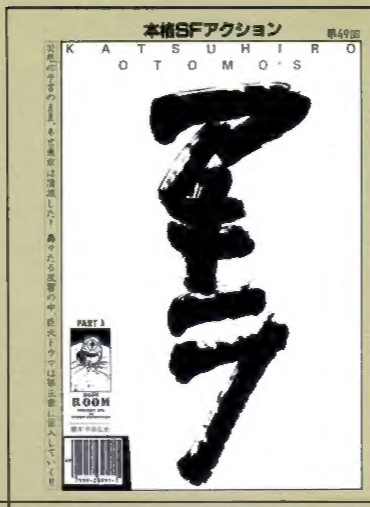
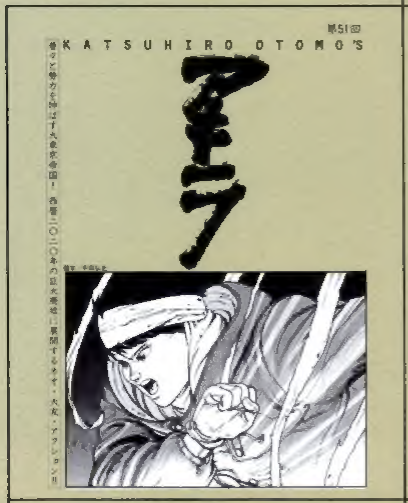
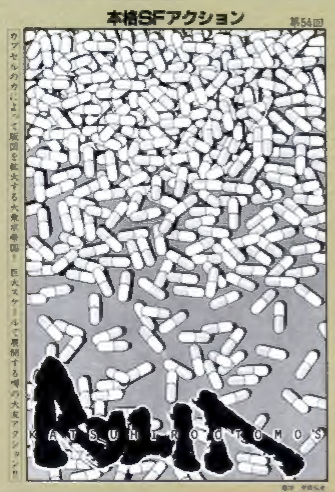
Episode 49-71

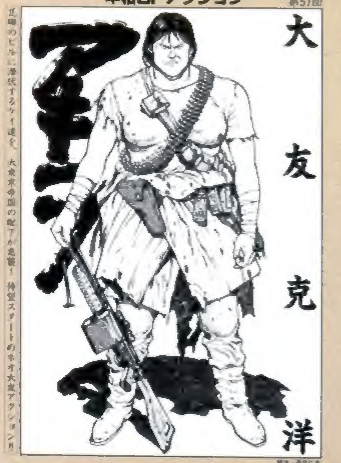
perfect reproduction of the title pages published in Young Magazine







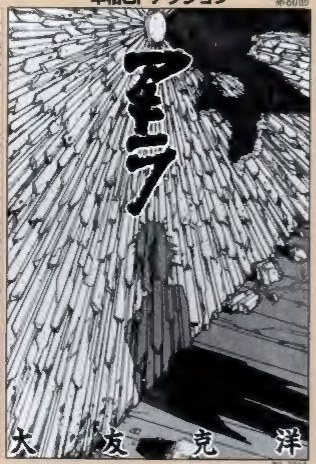
本格SFアクション 第57回



本格SFアクション 第56回

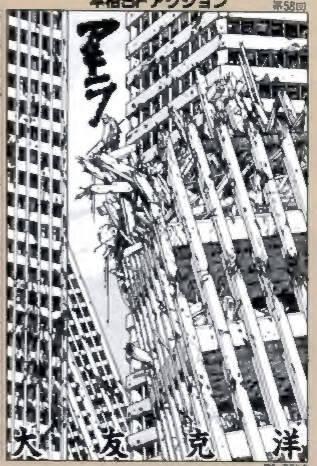
本格SFアクション 第55回

本格SFアクション 第60回



本格SFアクション 第59回

本格SFアクション 第58回

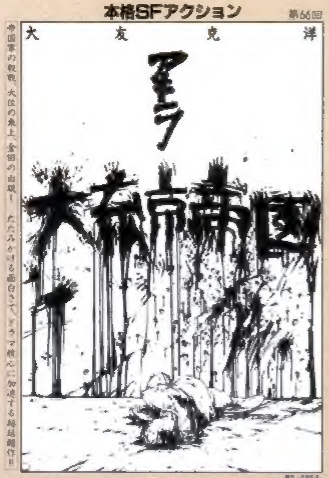


本格SFアクション 第63回

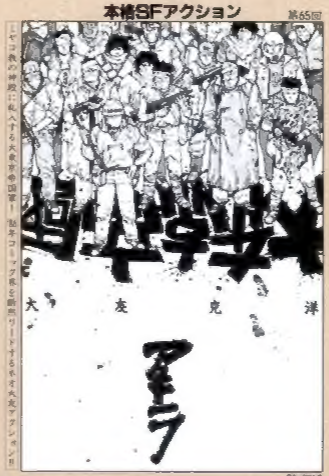
本格SFアクション 第62回

本格SFアクション 第61回

本格SFアクション 第66回

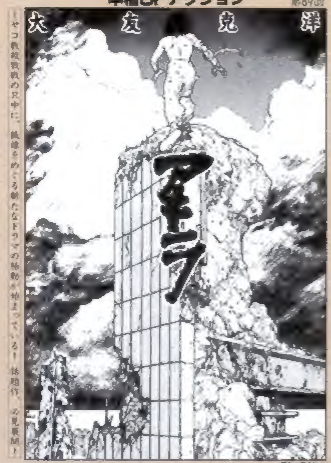


本格SFアクション 第65回



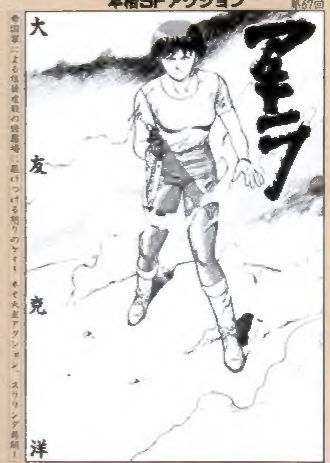
本格SFアクション 第64回

本格SFアクション 第69回

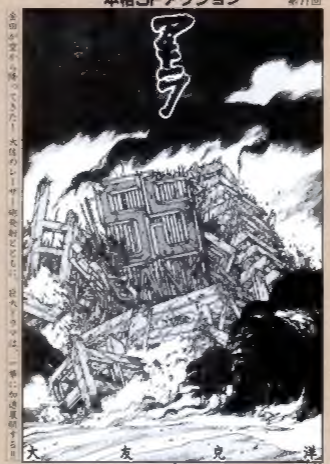


本格SFアクション 第68回

本格SFアクション 第67回

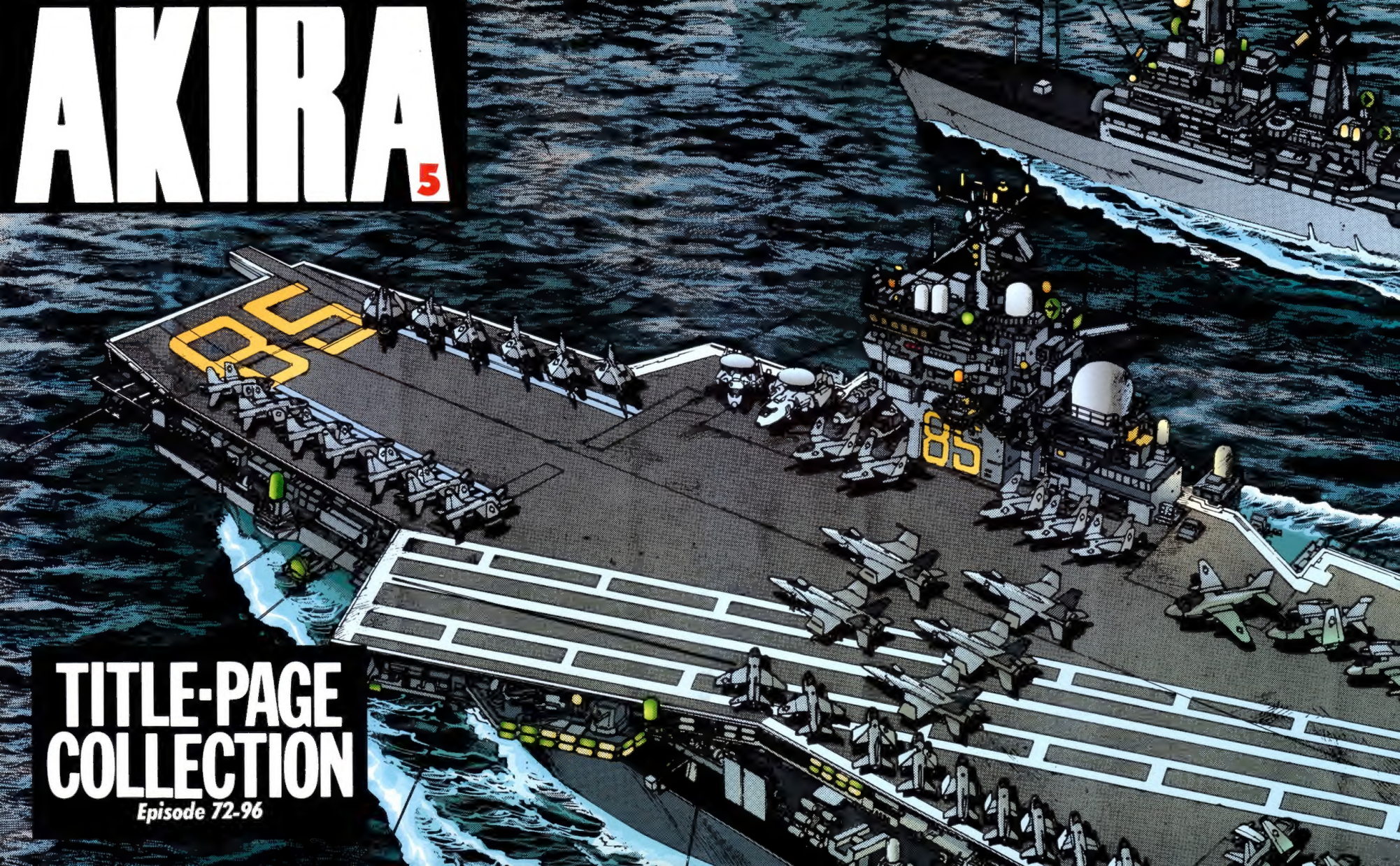


本格SFアクション 第71回



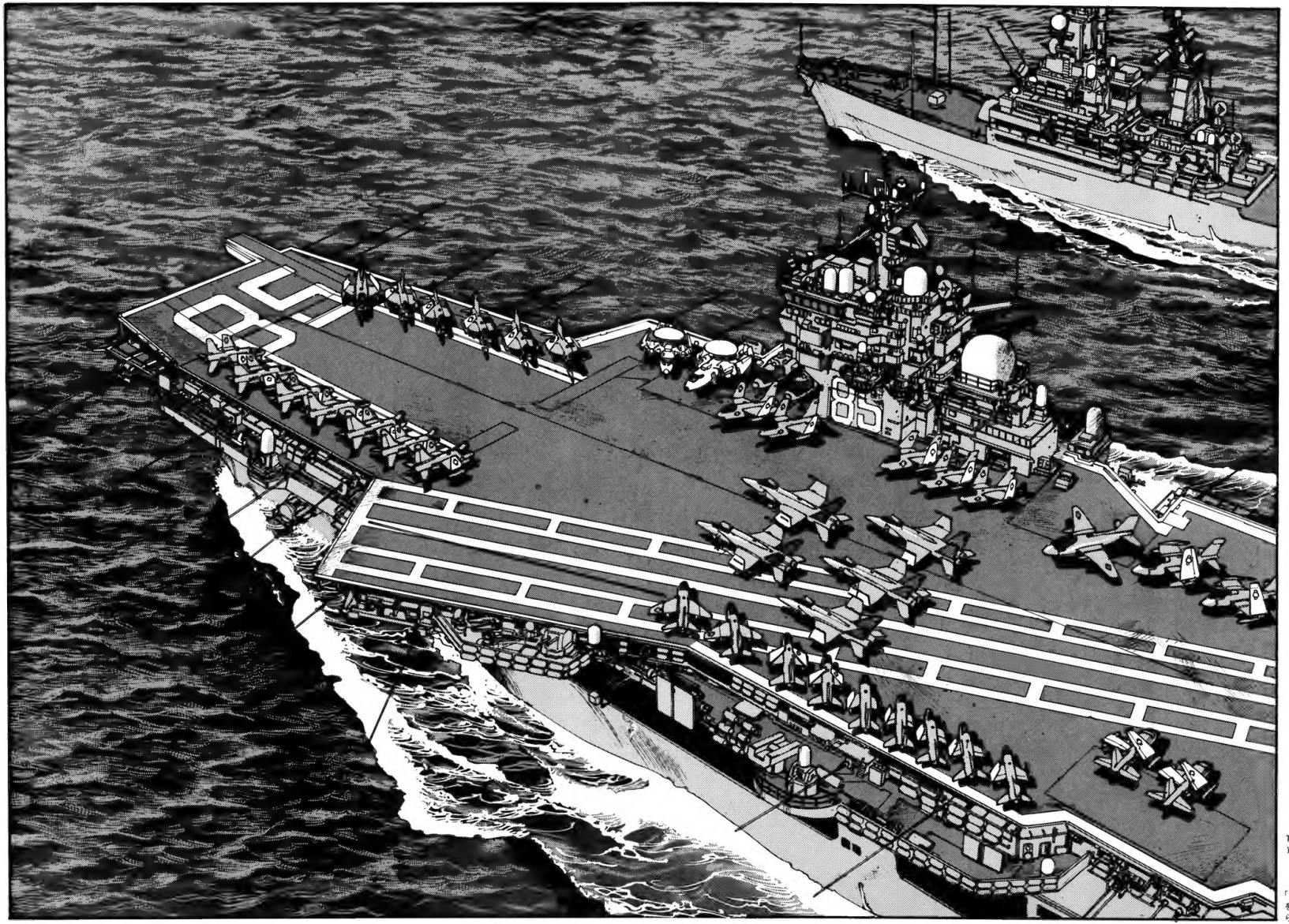
本格SFアクション 第70回

AKIRA 5



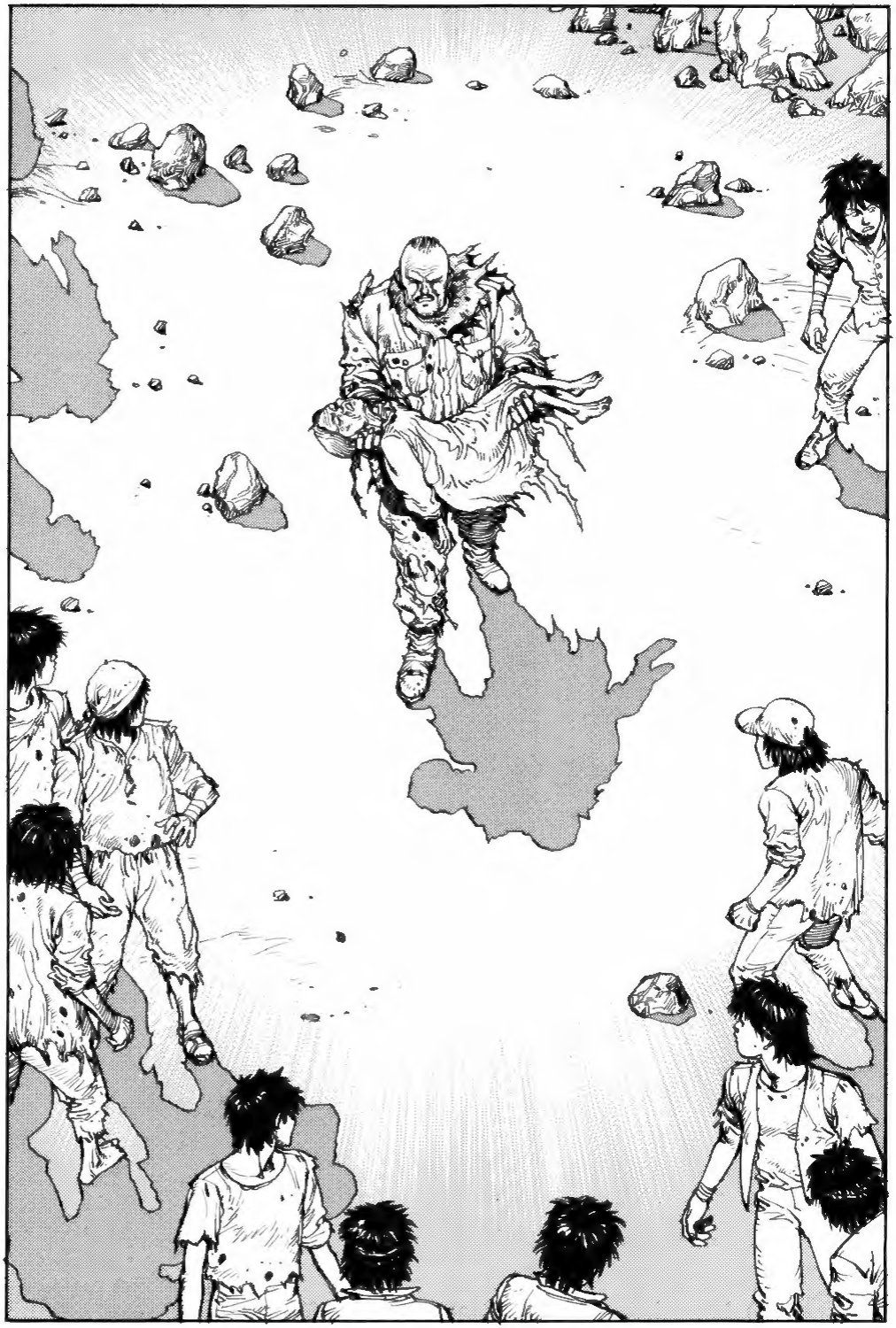
TITLE-PAGE COLLECTION

Episode 72-96



Title page of **Episode 072**
Young Magazine (May. 19,'86)

「アキラの単行本③の描き直しを始めました。もうすぐですからお待ち下さい」



Title page of **Episode 073**
Young Magazine (Jun. 16, '86)

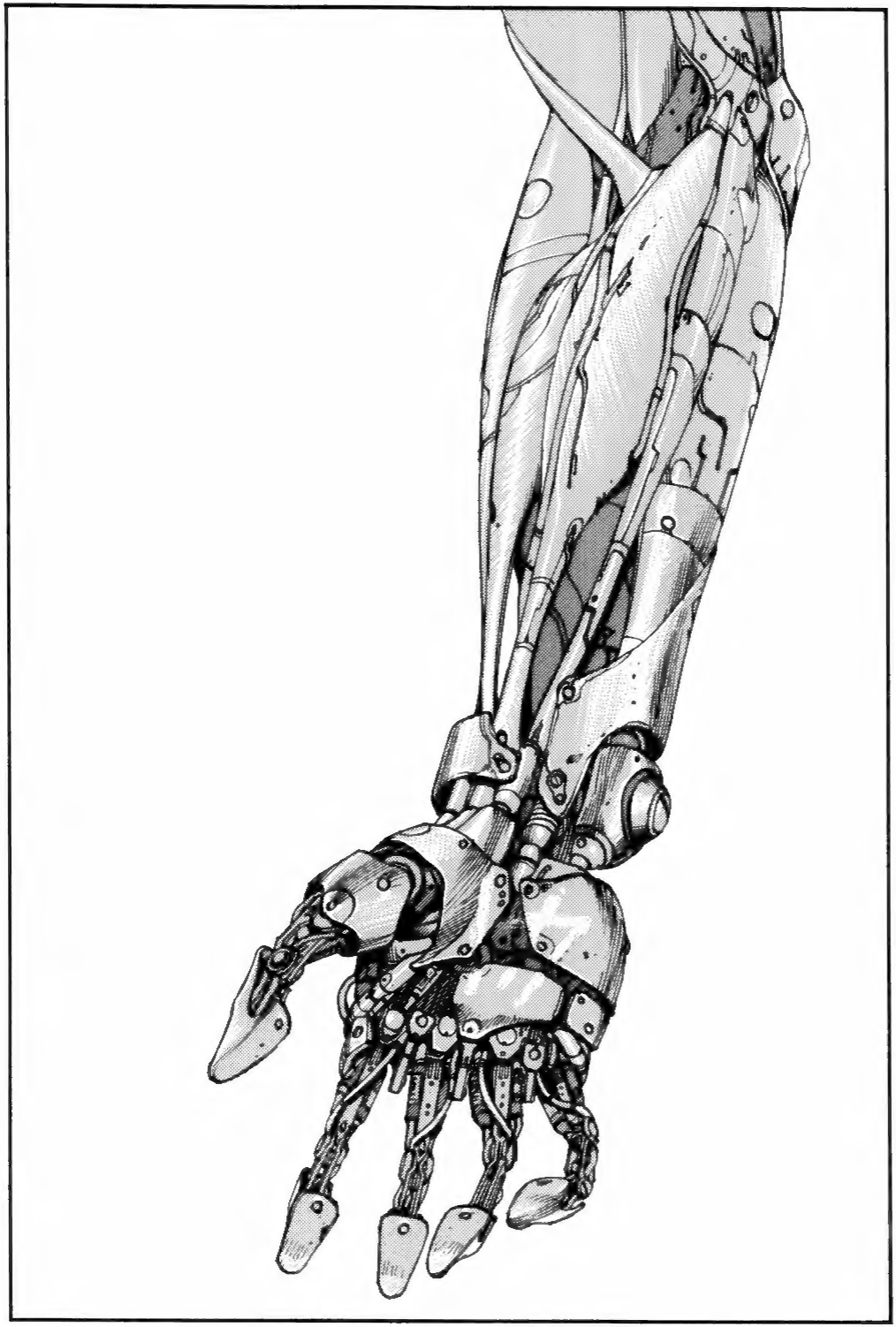
「熱気球に乗ってきました。気持ちよかったです」

Title page of **Episode 074**
Young Magazine (Jul. 7, '86)

「友人の結婚式が2つ続いてあったので、出席してきました」

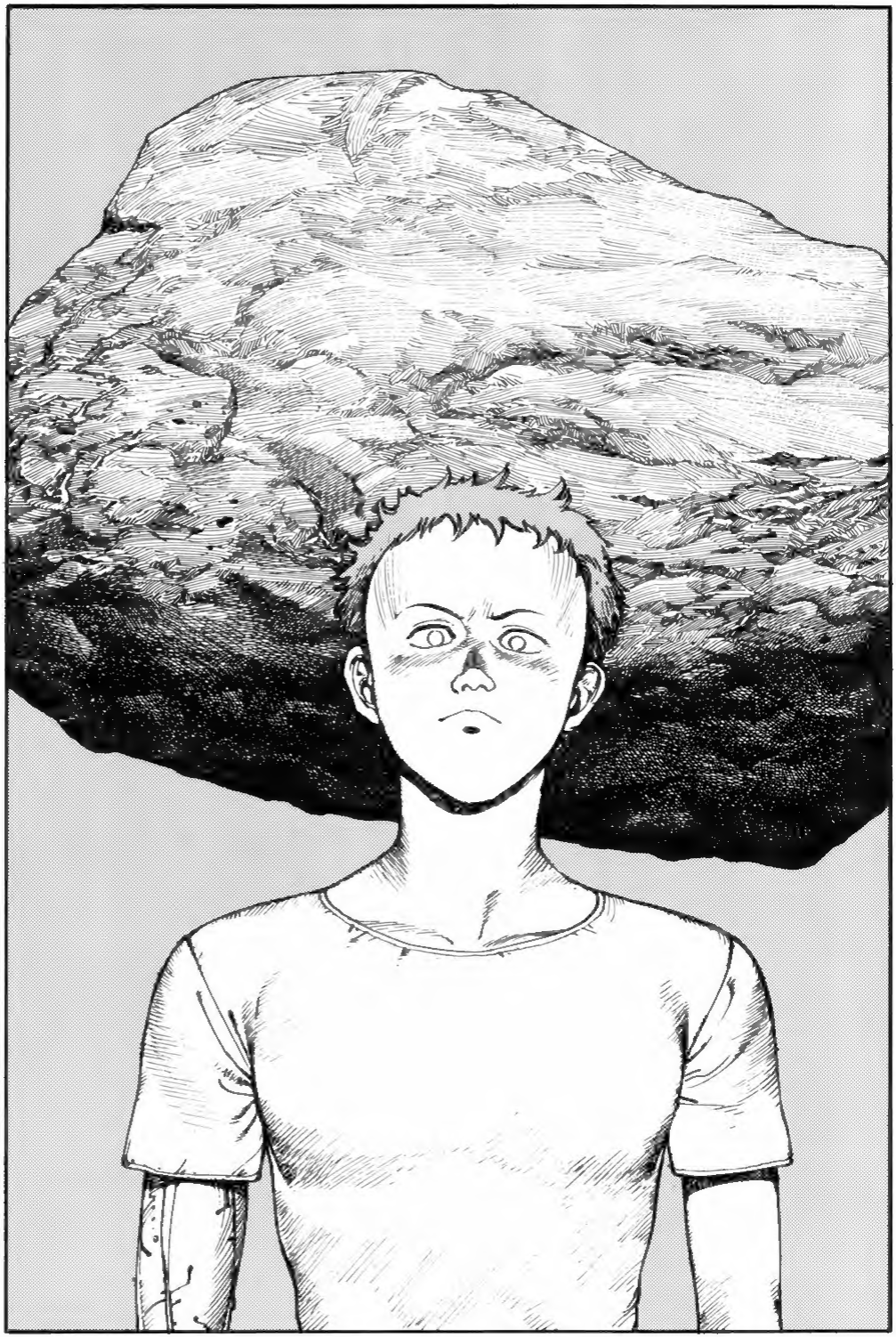
Title page of **Episode 075**
Young Magazine (Jul. 21, '86)

「単行本の③巻がもうすぐ出せそうです」



Title page of Episode 076
Young Magazine (Aug. 4, '86)

「プールに行きたいな、と思っています」



Title page of **Episode 077**
Young Magazine (Sep. 15, '86)

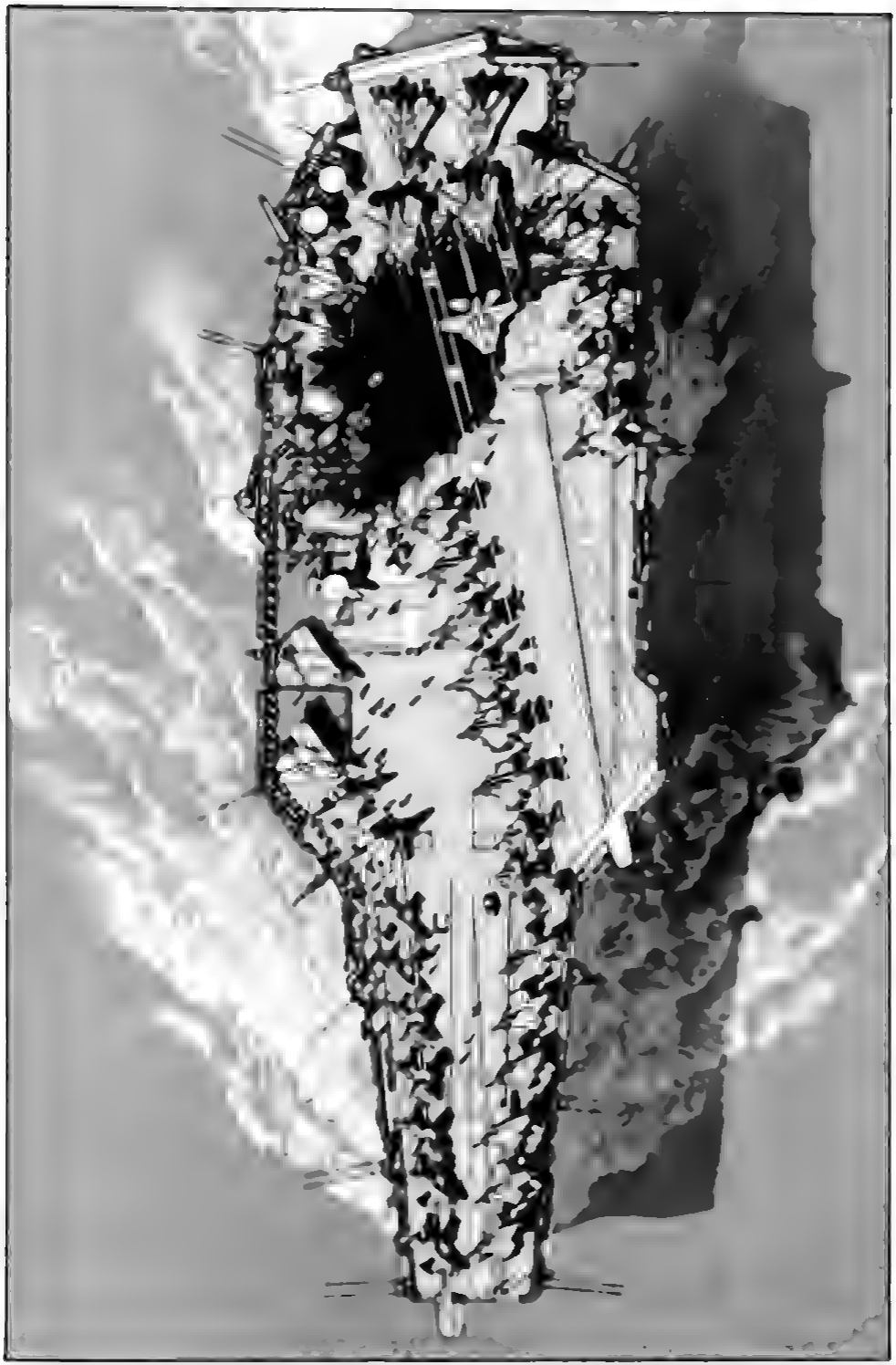
「単行本の④巻に手をつけようかな、と思っています」

Title page of **Episode 078**
Young Magazine (Oct. 6, '86)

「単行本「ＡＫＩＲＡ」(3)の感想

Title page of Episode 079
Young Magazine (Nov 3, '86)

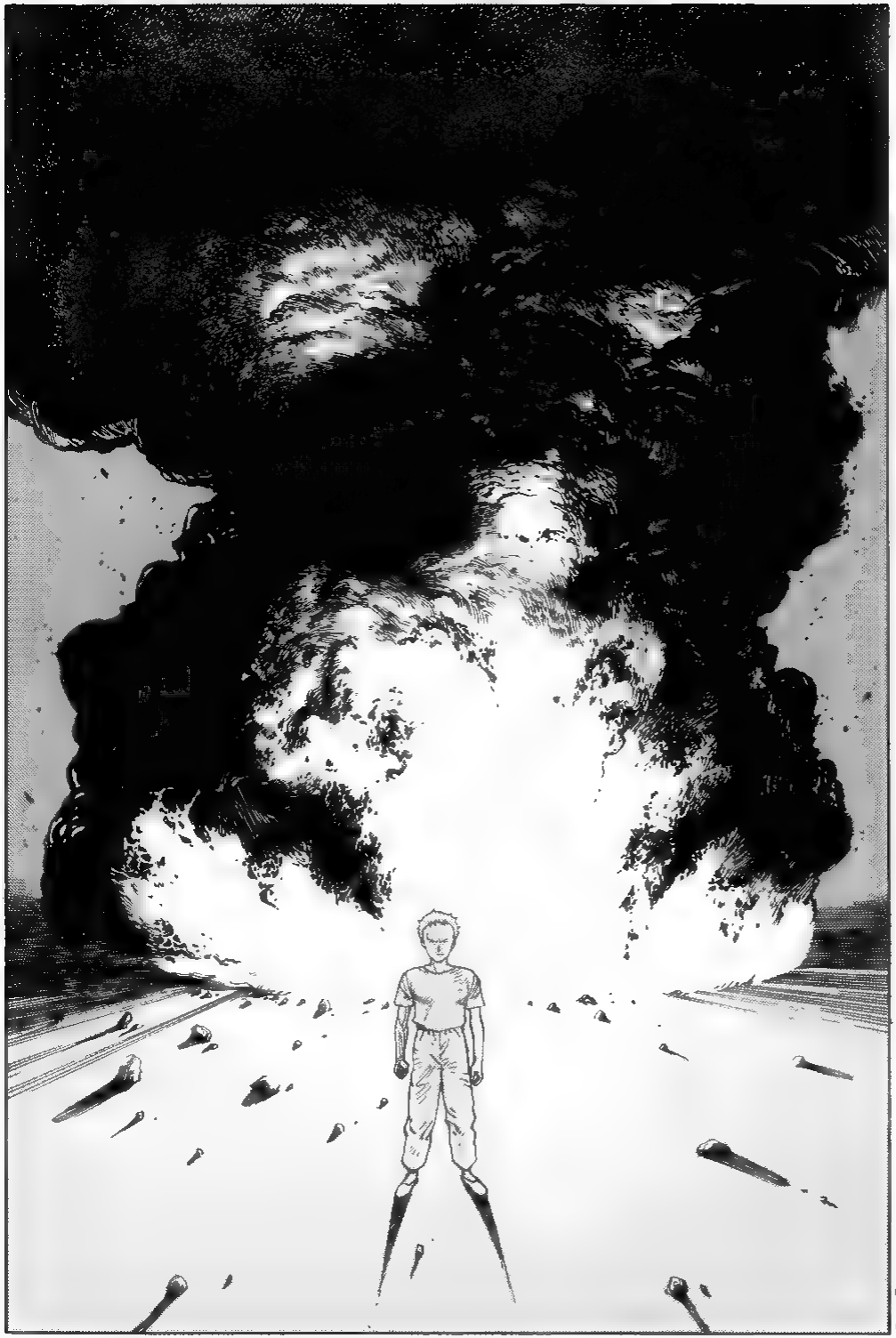
「大事にしていたペン先が折れて、また一から育てなおさなければ・・・ませんへ



Title page of **Episode 000**
Young Magazine (Nov 17,'86)

Title page of Episode 081
Young Magazine (Dec. 1 '86)

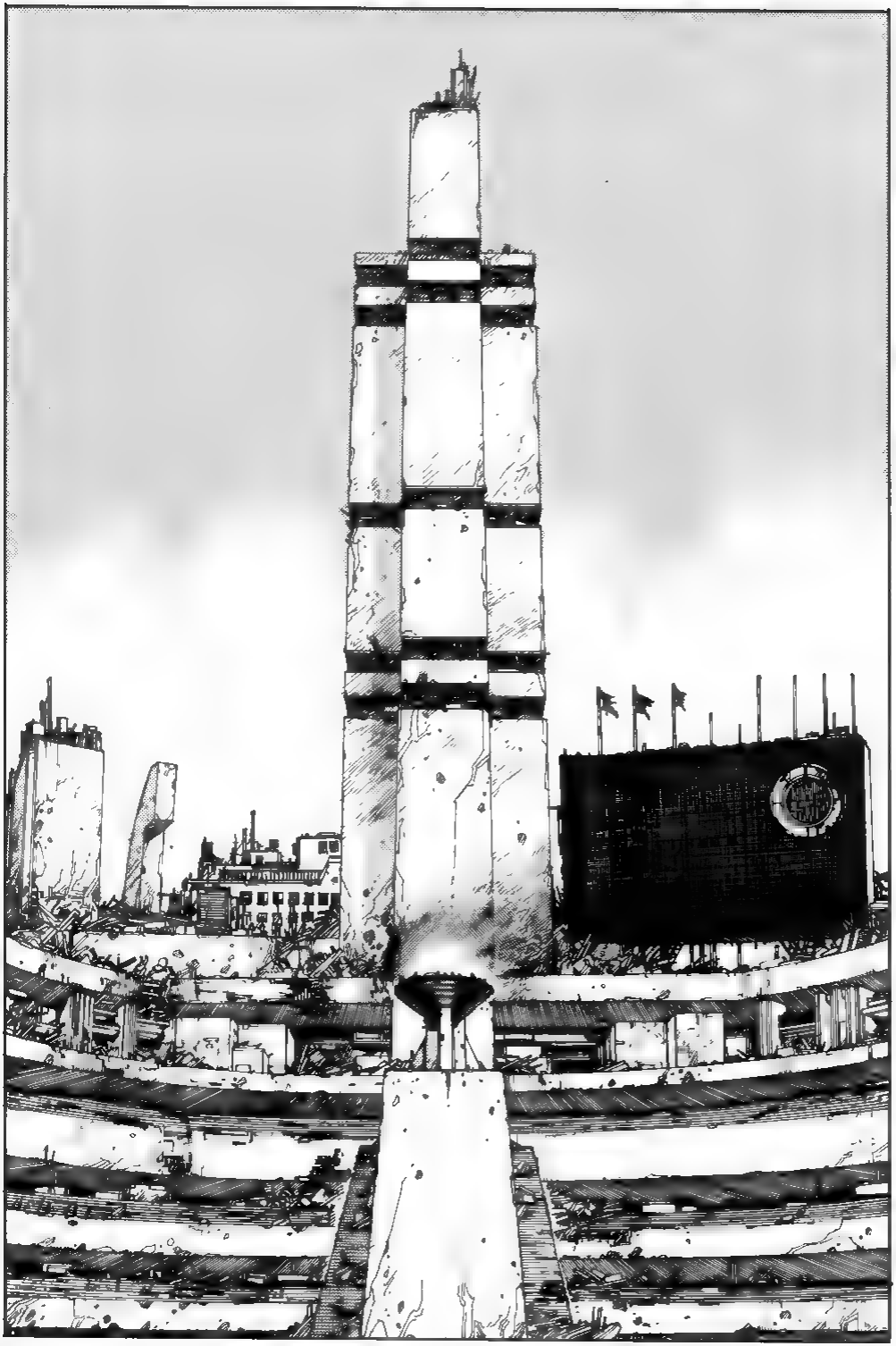
「ヤンマガの次号の表紙を描きました」



Title page of Episode 082
Young Magazine (Dec. 15, '86)

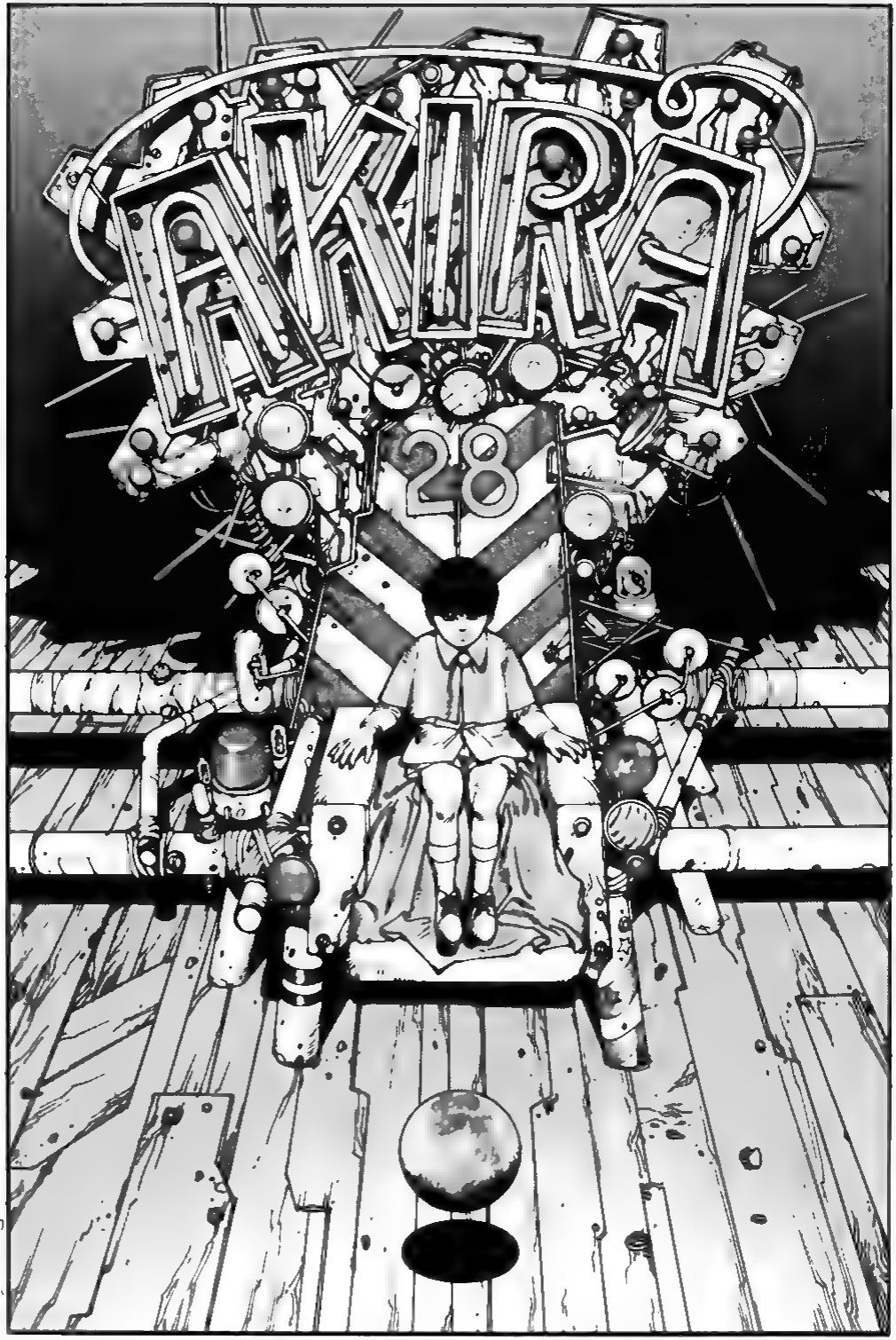
「今年も一年仕事で暮れようとしています。だれか助けて下さい」

Title page of **Episode 003**
Young Magazine (Jan. 5, '87)



Title page of **Episode 048**
Young Magazine (Jan. 19, '87)

「いま、胃が痛くてたいへんです」



Title page of Episode 085
Young Magazine (Feb. 16, '87)

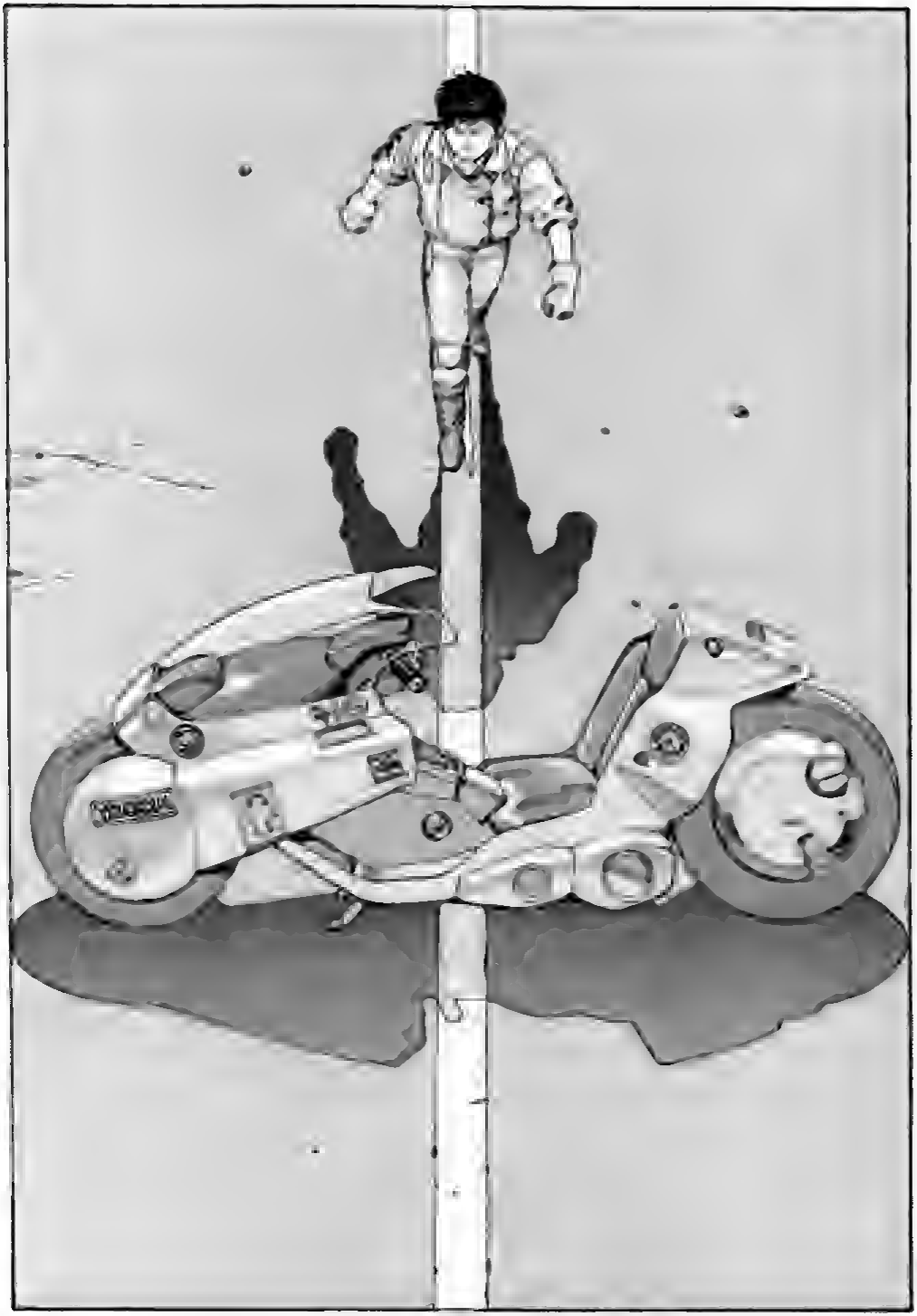
「貴が痛くてクスリを飲んでいます」

Title page of Episode 086
Young Magazine (Apr 6, 87)

「アンスタントかタバコをやめたので、空気のきれいな事を迎えられそうです」

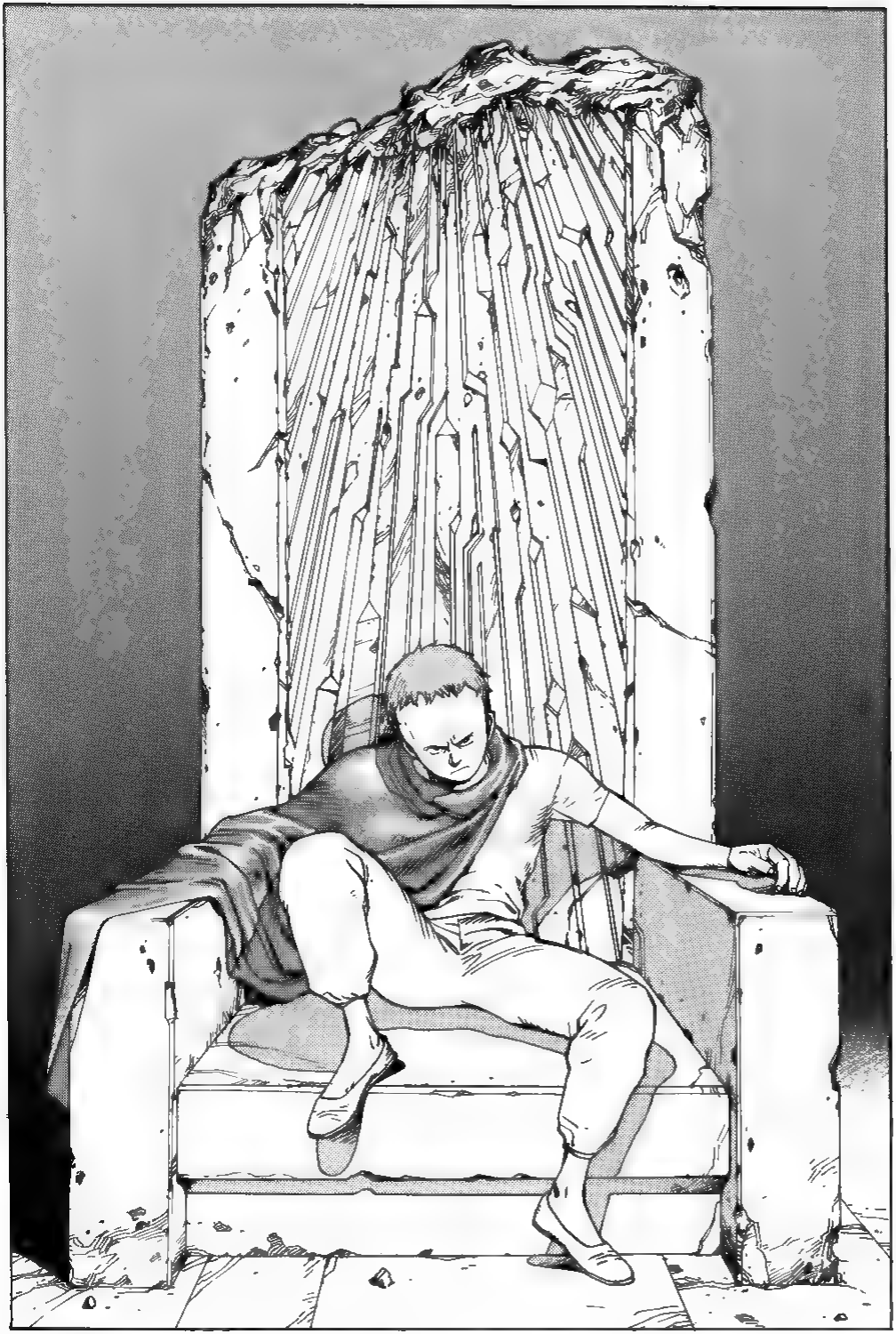
Title page of Episode 007
Young Magazine (Apr 20, '87)

「アキラのアニメ映画化準備のため、2か月ほど休ませていただきます」



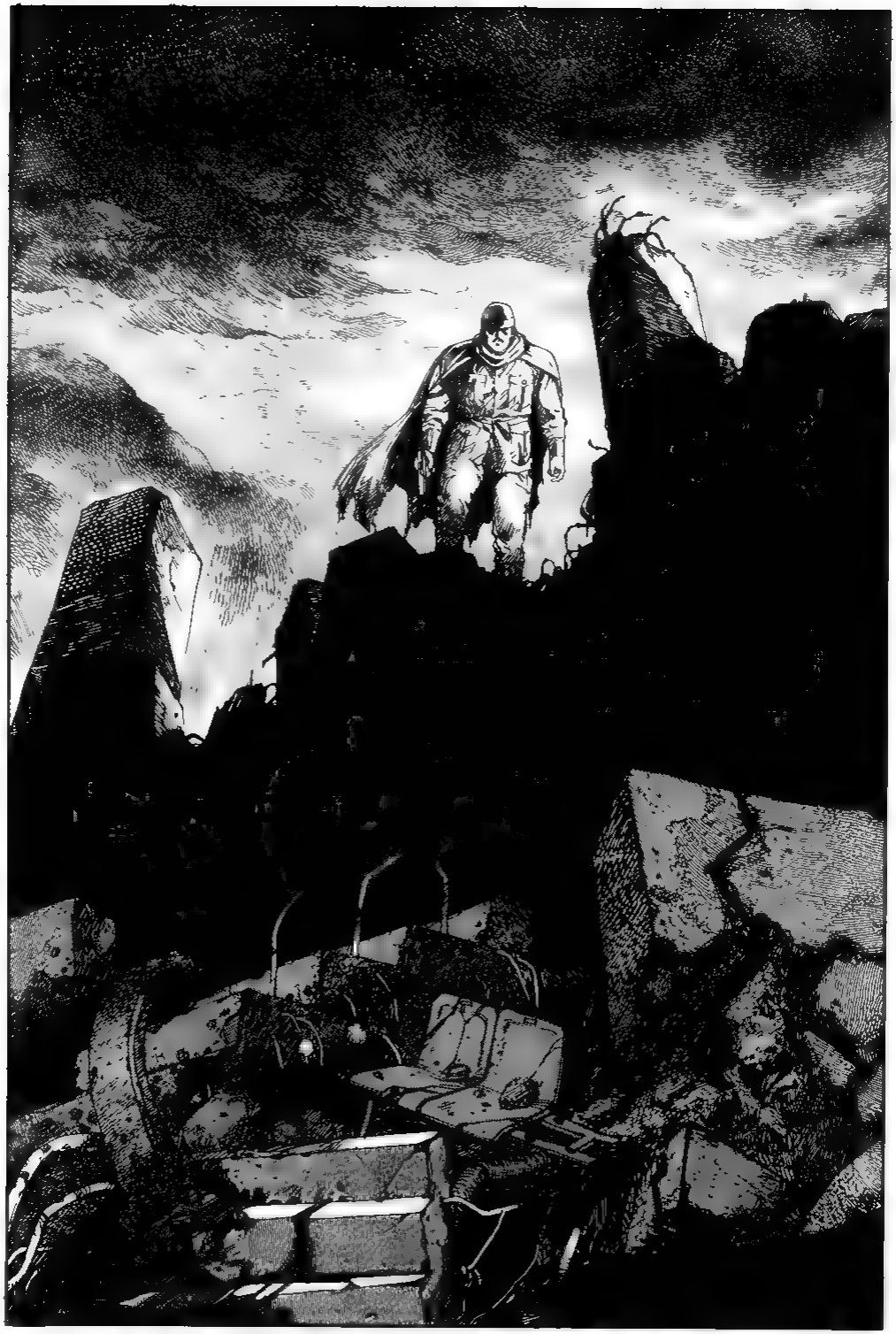
Title page of **Episode 0XX**
Young Magazine (Nov 21, '88)

Title page of **Episode 000**
Young Magazine (Dec 5, '88)



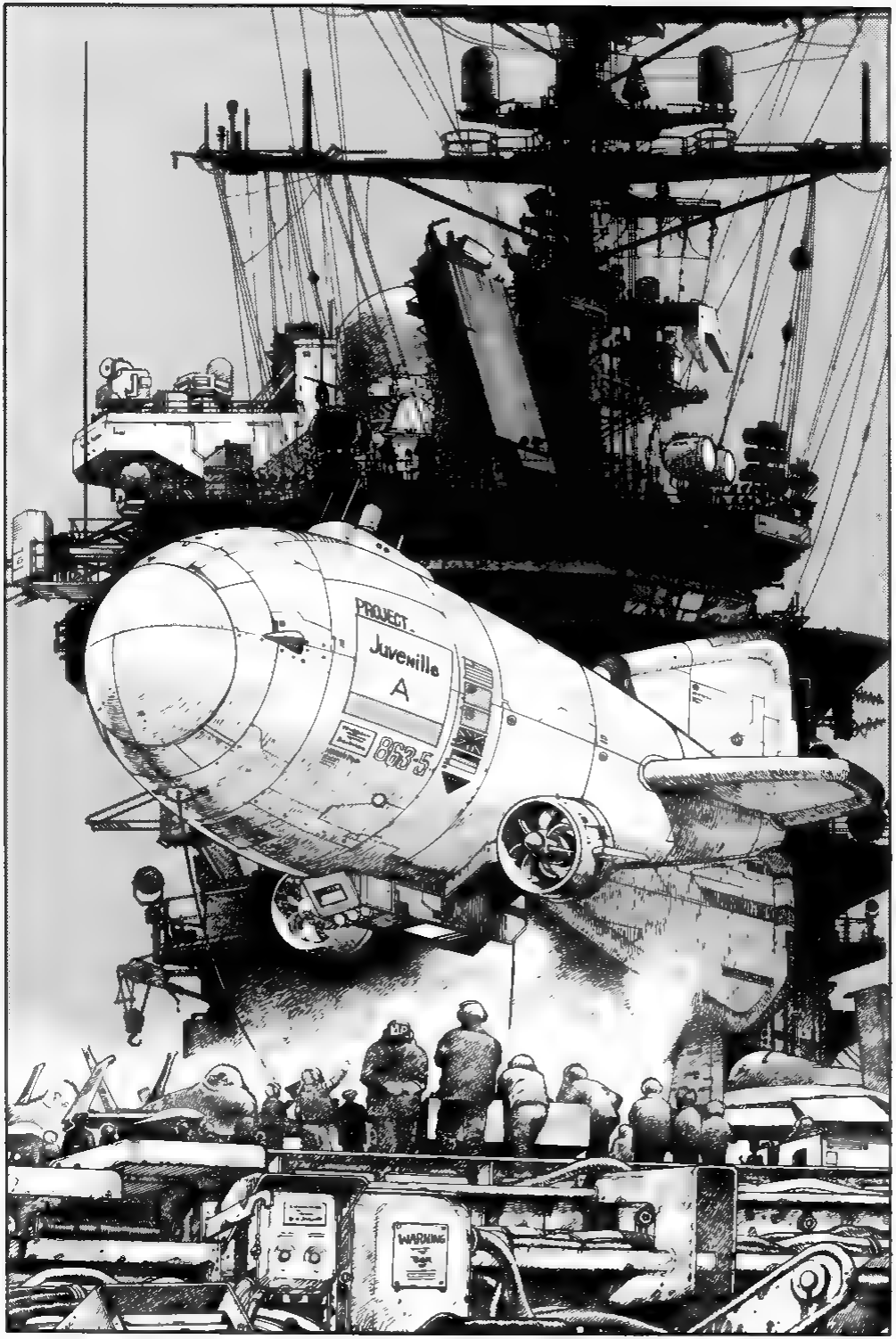
Title page of **Episode 090**
Young Magazine (Dec 19, '88)

「久しぶりに渋谷に行って、CDをいっぱい買って来ました」



Title page of Episode 091
Young Magazine (Jan 16, '89)

「アニメ「アキラ」英語版作製のため、アメリカ取材旅行に行って来ました」

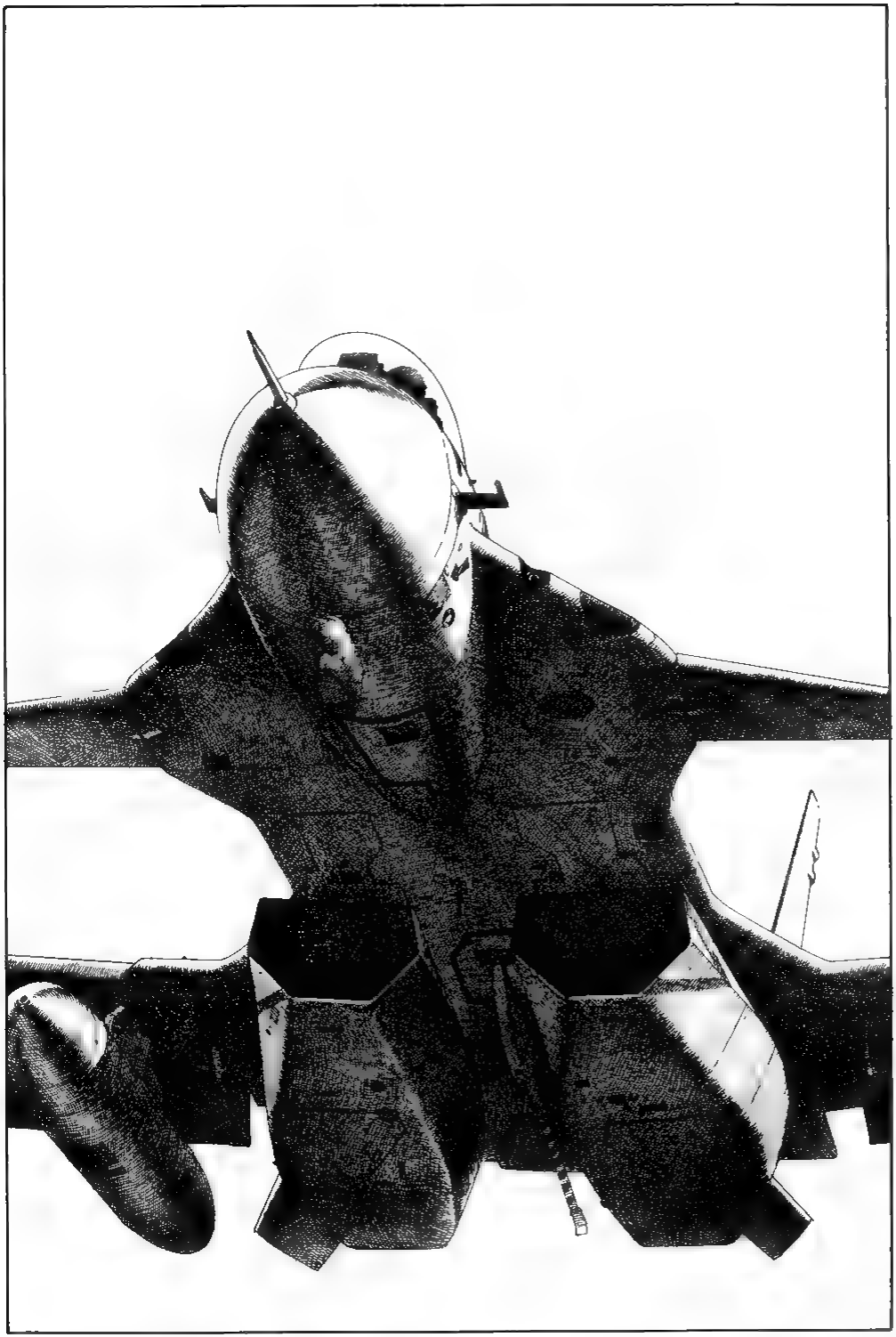


Title page of **Episode 092**
Young Magazine (Feb 6.'89)

「風邪をひいて大変ですけど新年会には行きたいな」

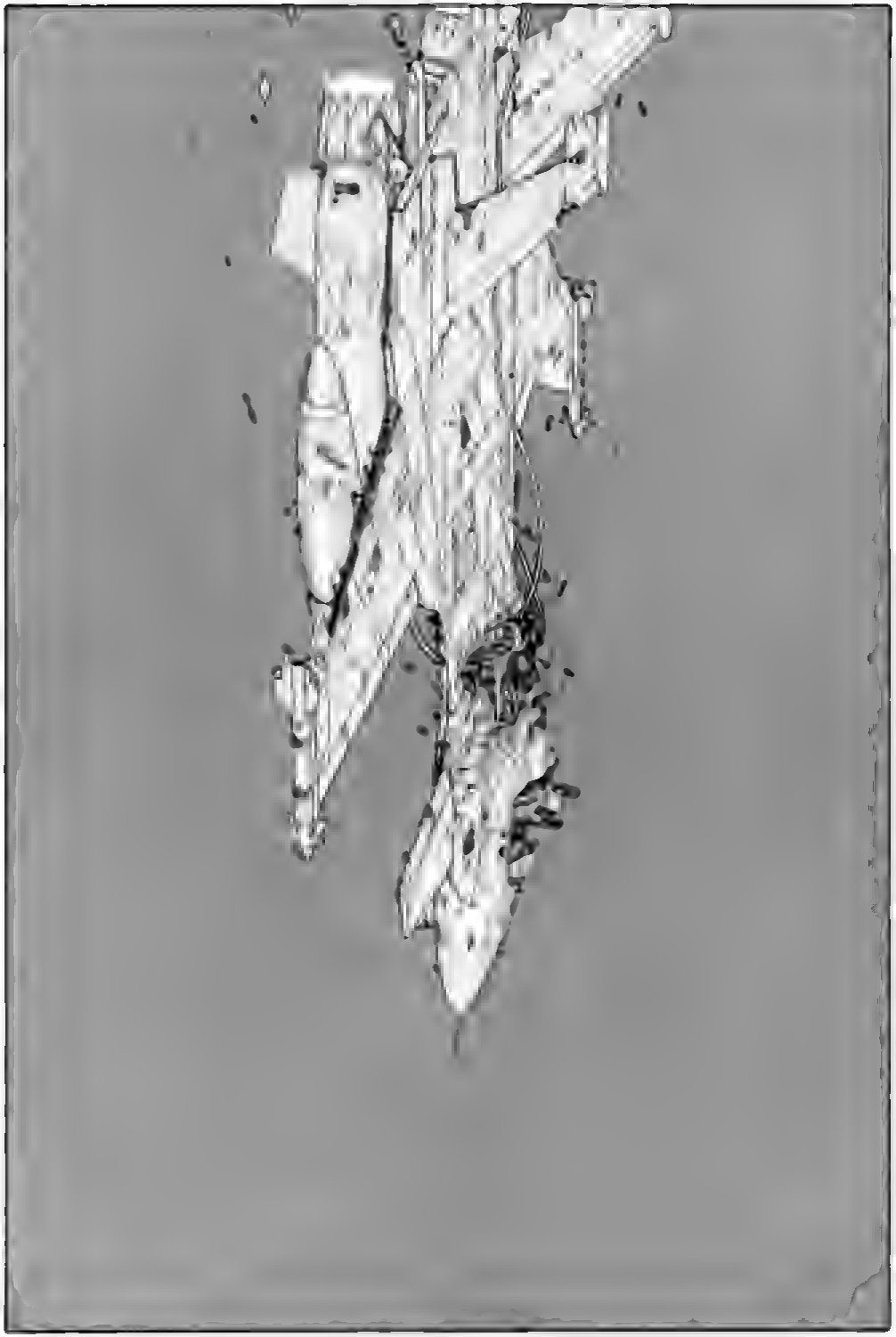
Title page of **Episode 093**
Young Magazine (Feb. 20, '89)

「『サムライター』の単行本かわもしろかった 終わるのが残念です」



Title page of **Episode 094**
Young Magazine (Mar 6, '89)

「手塚治虫先生がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします」



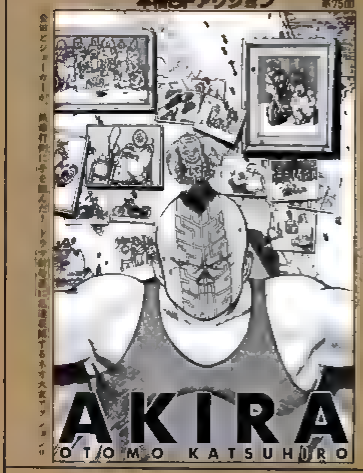
Title page of **Episode 095**
Young Magazine (Mar 20, [illegible]

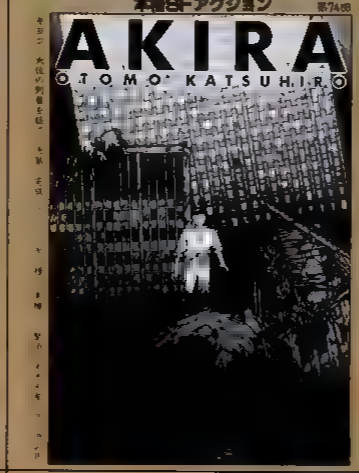
Title page of Episode 005
Young Magazine (Apr 3, '00)

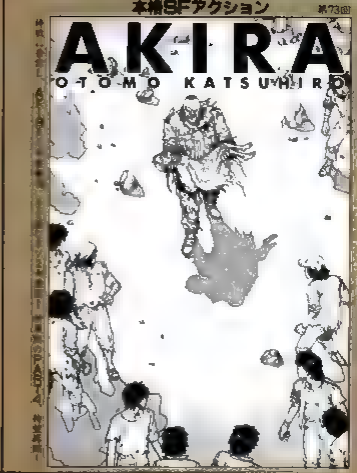
[illegible]
たんで、しんどかったです」

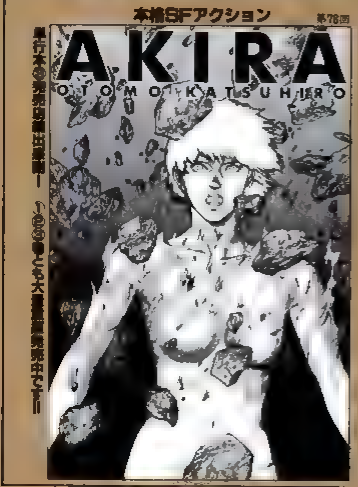
Episode 72-96

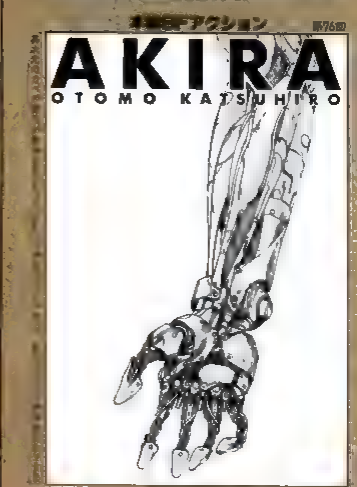
perfect reproduction of the title pages published in Young Magazine







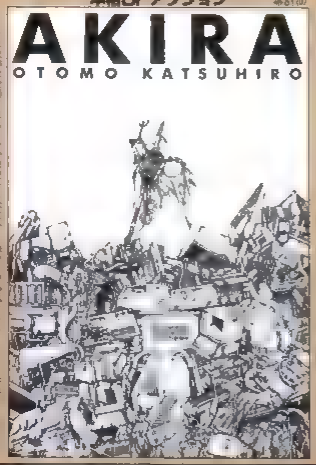




本格SFアクション

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本格SFアクション

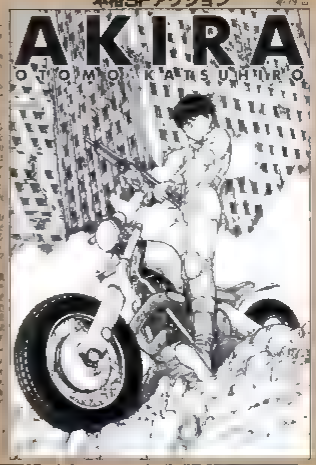
AKIRA

OTOMO KATSUHIRO

本格SFアクション

AKIRA

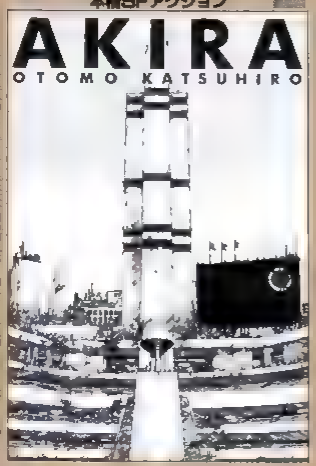
OTOMO KATSUHIRO



本格SFアクション

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本格SFアクション

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO

本格SFアクション

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO

本格SFアクション

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO

本格SFアクション

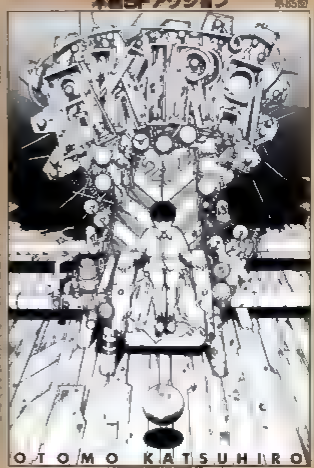
AKIRA

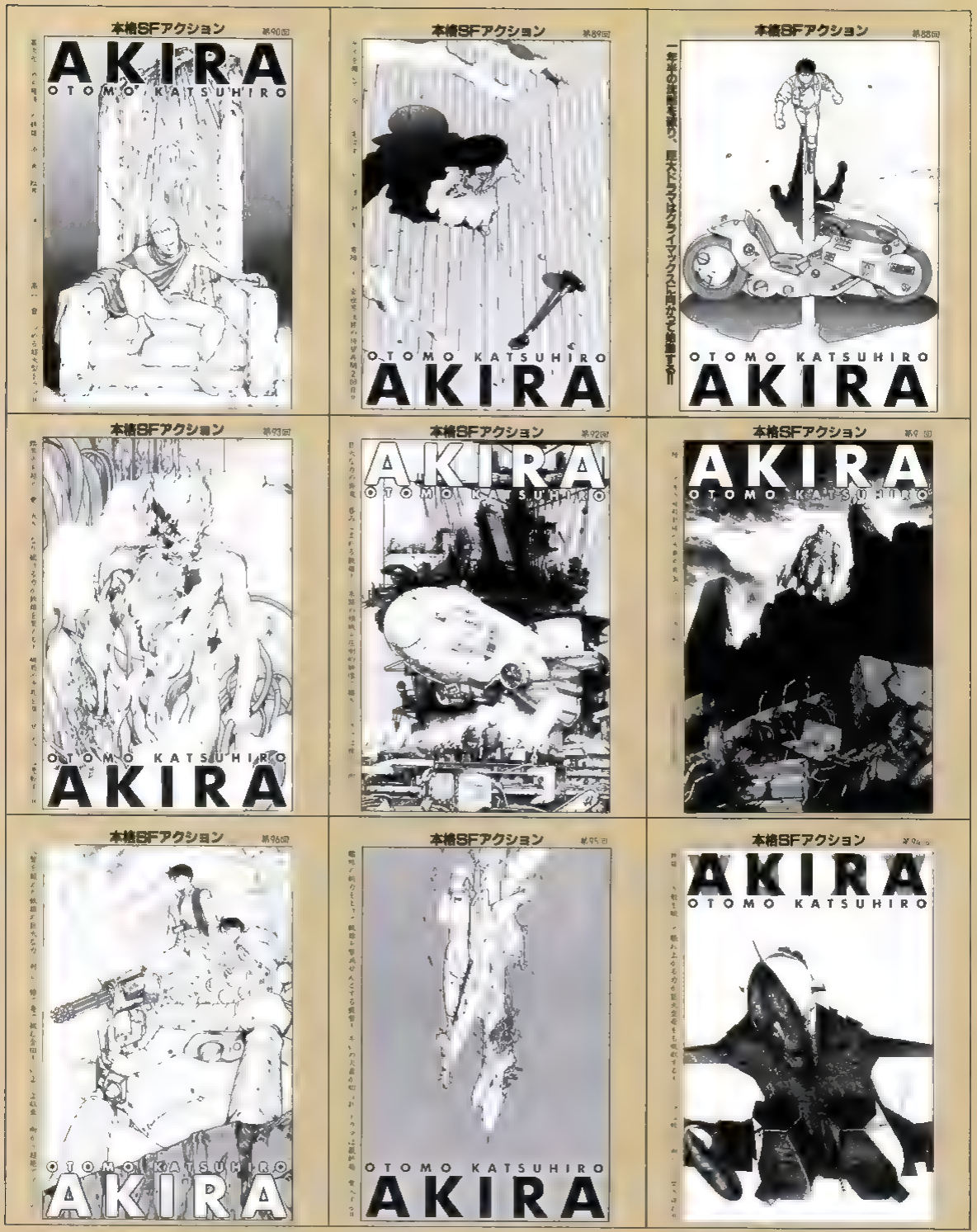
OTOMO KATSUHIRO

本格SFアクション

AKIRA

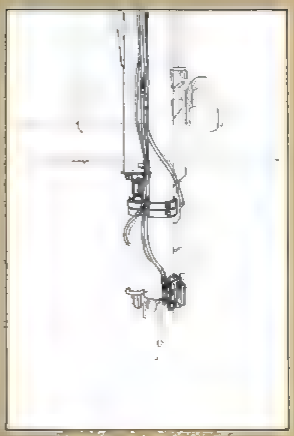
OTOMO KATSUHIRO

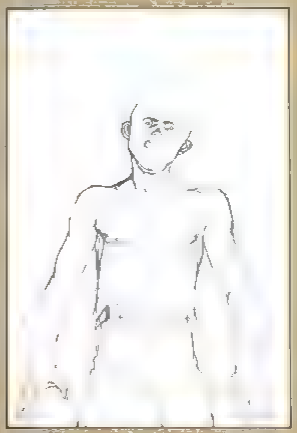


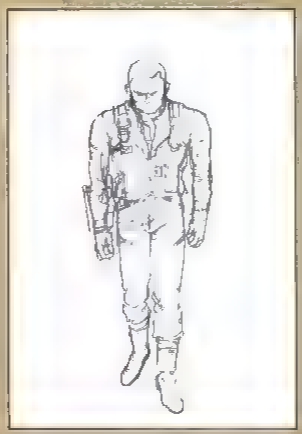

本格SFアクション
第90回
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO
本格SFアクション
第89回
OTOMO KATSUHIRO
AKIRA
本格SFアクション
第88回
一年半の準備を経り、最大のドラマはクライマックスに向かって展開する!!
OTOMO KATSUHIRO
AKIRA
本格SFアクション
第93回
OTOMO KATSUHIRO
AKIRA
本格SFアクション
第92回
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO
本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO
本格SFアクション
第96回
OTOMO KATSUHIRO
AKIRA
本格SFアクション
OTOMO KATSUHIRO
AKIRA
本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO

タイトルページNGコレクション

NG原稿については後で詳しく特集しているが、タイトルページのNGはここに集めてみた。第何回の扉に相当するのかはあえて言わないので、当時の大友氏の心の中(締め切りとアーティスト魂のせめぎあい!)を想像しながら楽しんでください。







AKIRA
6
TITLE-PAGE
COLLECTION
Episode 97-120

Title page of **Episode 037**
Young Magazine (May 1, '89)

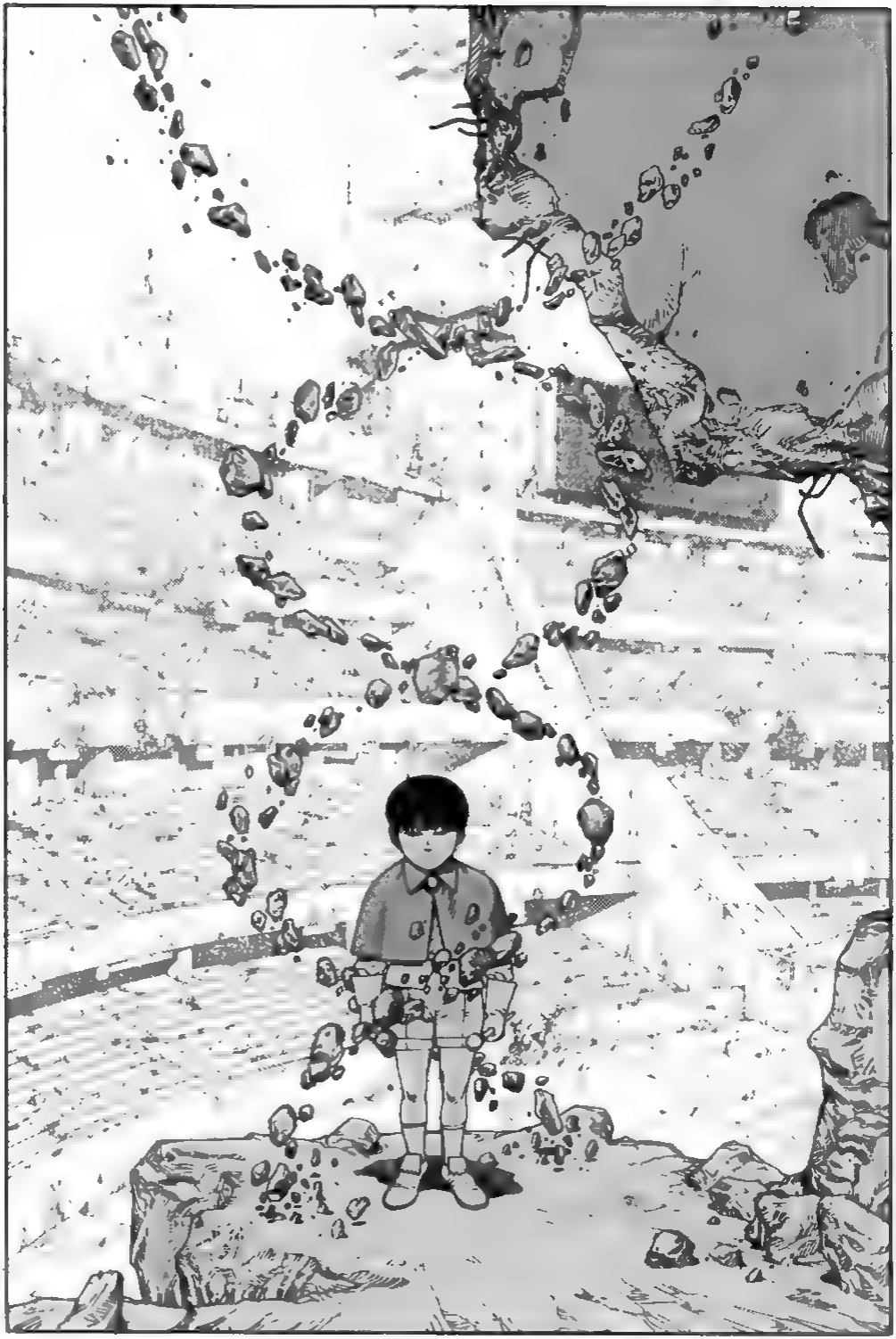
Title page of Episode 098
Young Magazine (May 22, '89)

「スティーブ・オノフ氏から、ニューエイジミュージックのCDをもらいました。」

Title page of **Episode 099**
Young Magazine (Jun. 5, '89)

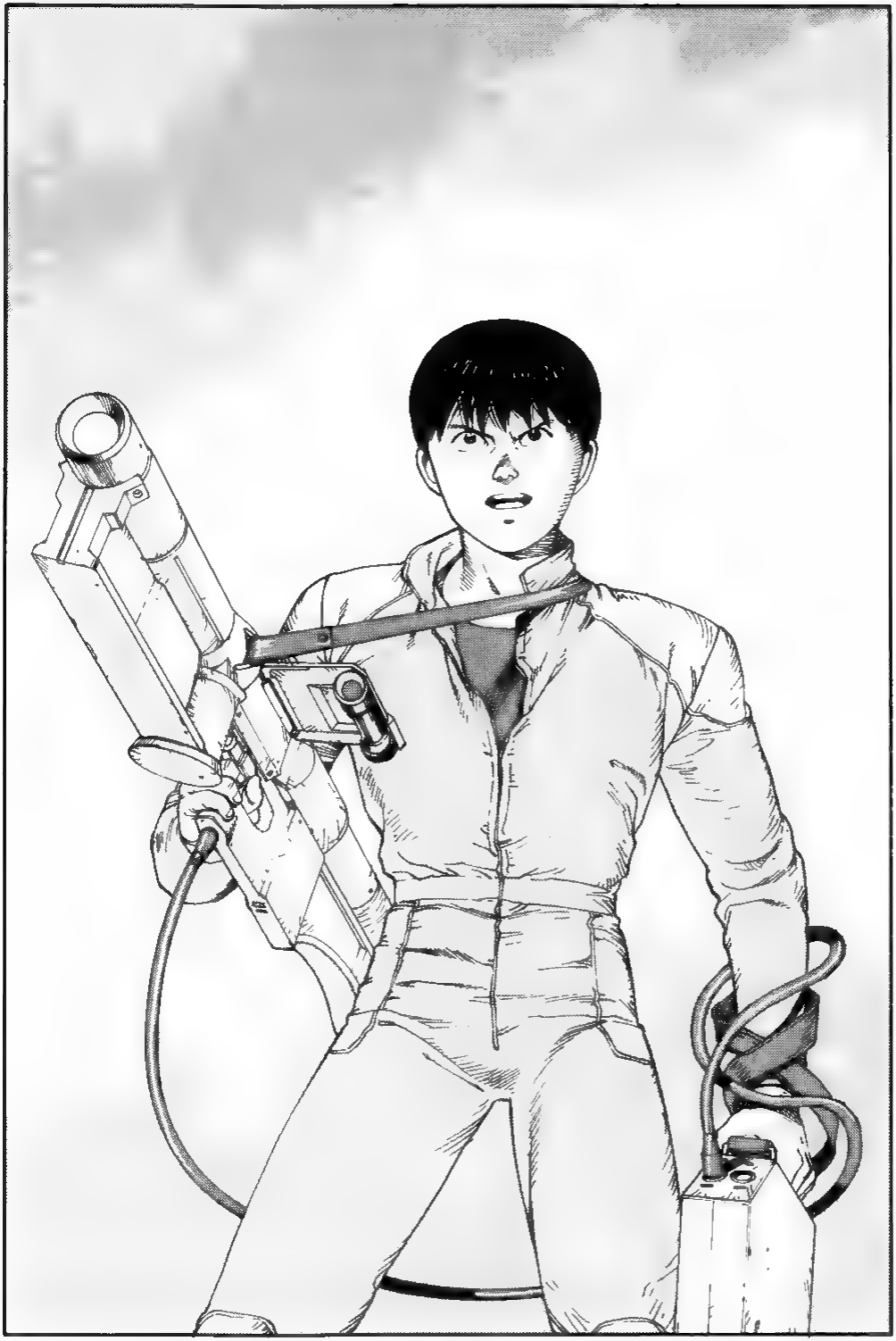
「仕事中になかやす巧さんが傳中見舞いに来てくれました」

Title page of Episode 100
Young Magazine (Jun 19, '89)



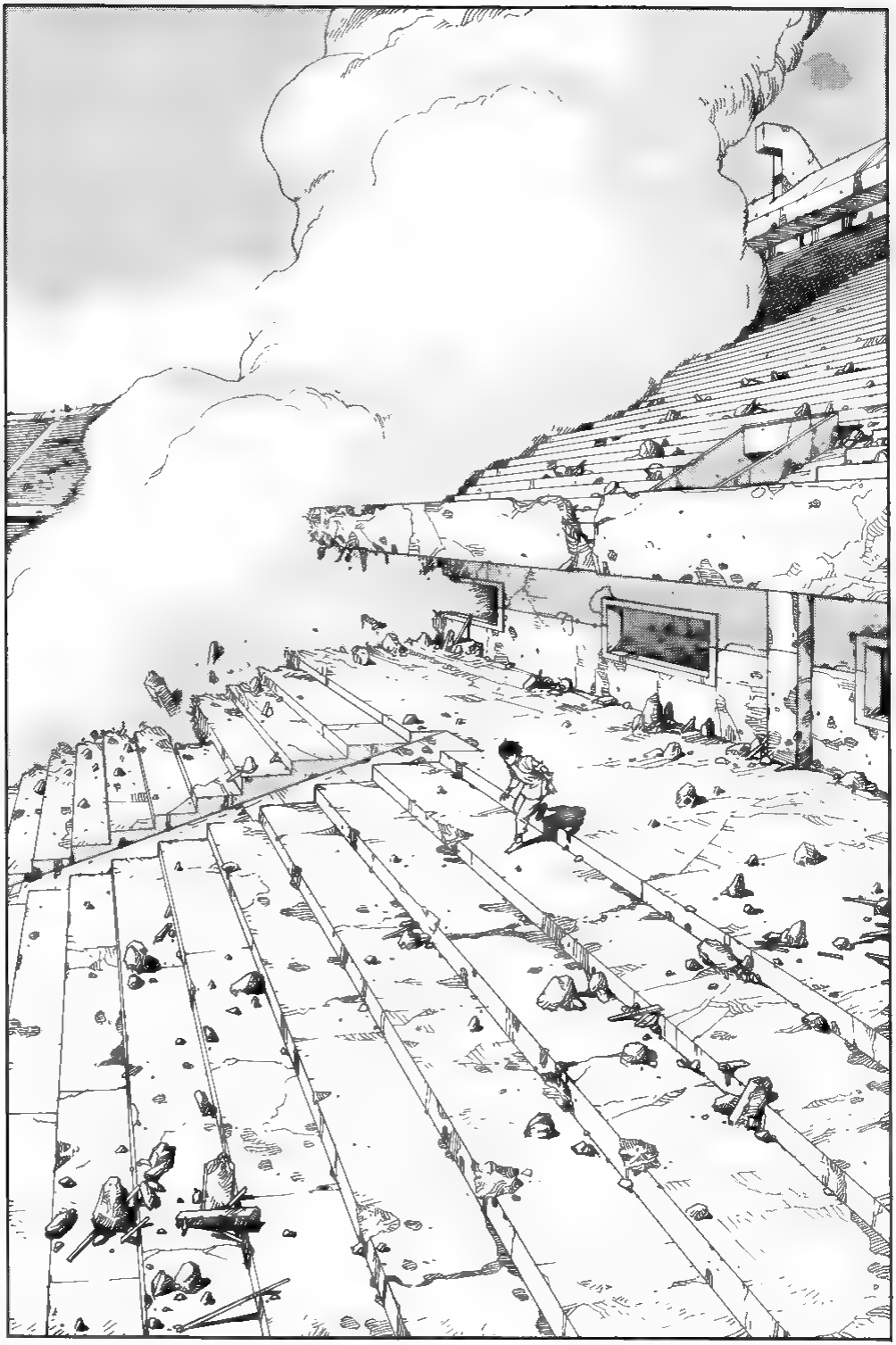
Title page of **Episode 101**
Young Magazine (Jul. 3, '89)

「人間ドックの結果で赤点を取ってしまったので、節制をしたいと思います



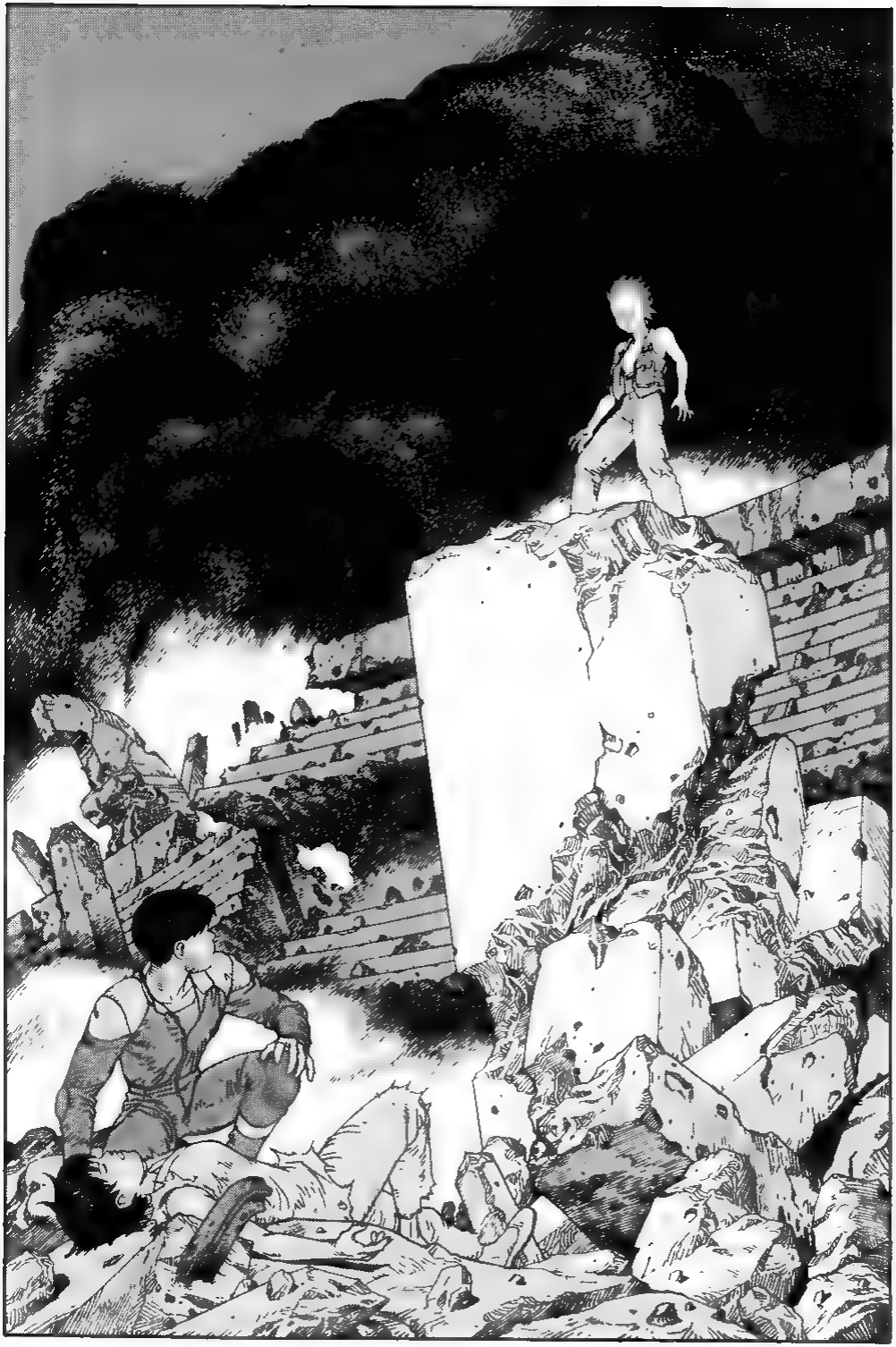
Title page of **Episode 102**
Young Magazine (Jul. 17, '89)

「諸星大二郎「異界録」が講談社漫画賞をとらなかったのが残念です」



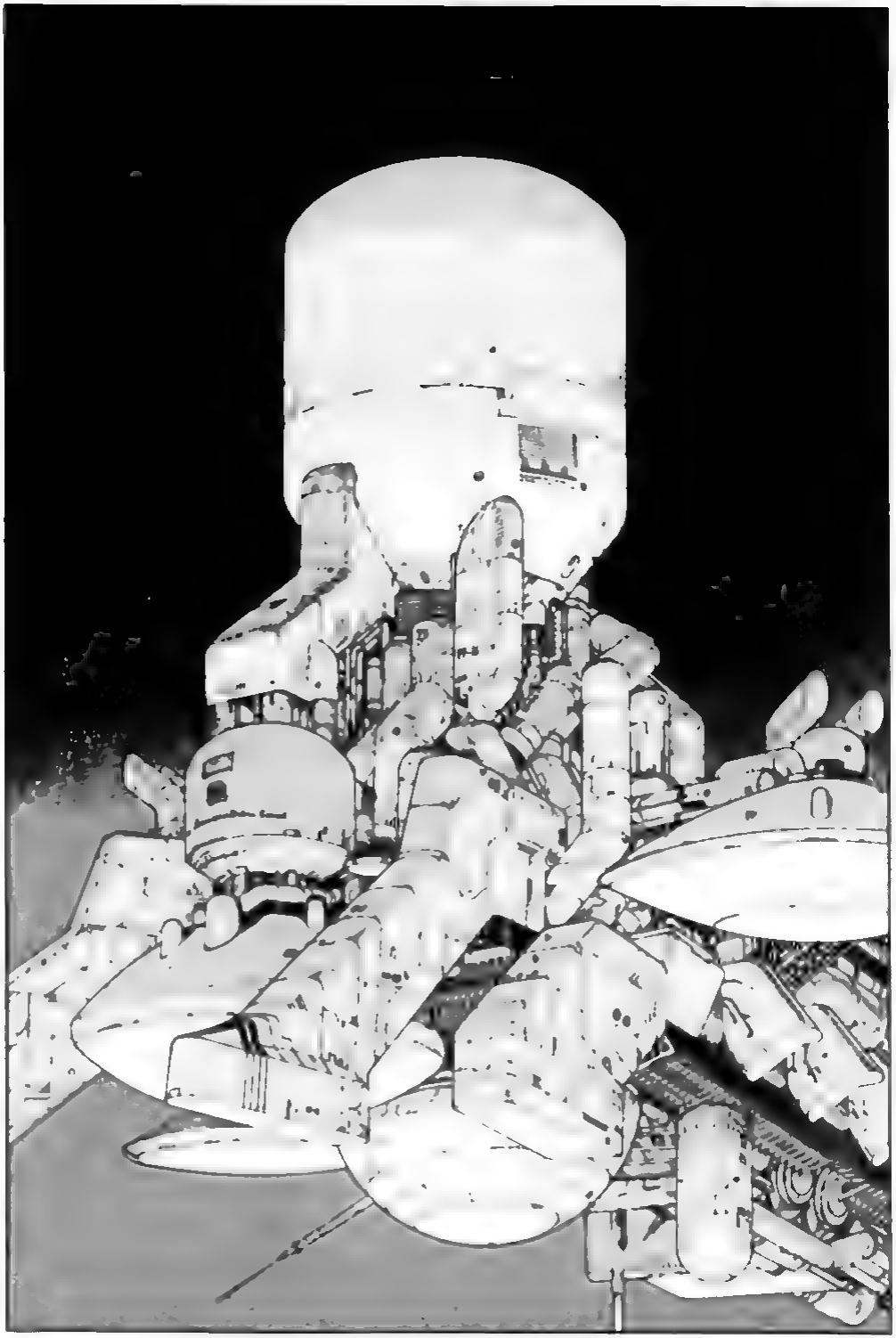
Title page of **Episode 103**
Young Magazine (Jul. 31, '89)

「オロナミンCのことを"オロC"と言うのは私だけなんでしょうか？」



Title page of **Episode 104**
Young Magazine (Aug. 21, '89)

「イラスト集の送稿がすべて終わりました. あとは出来上がりを待つばかり！」



Title page of Episode 105
Young Magazine (Sep 4, 89)

Title page of Episode 106
Young Magazine (Sep. 18, '89)

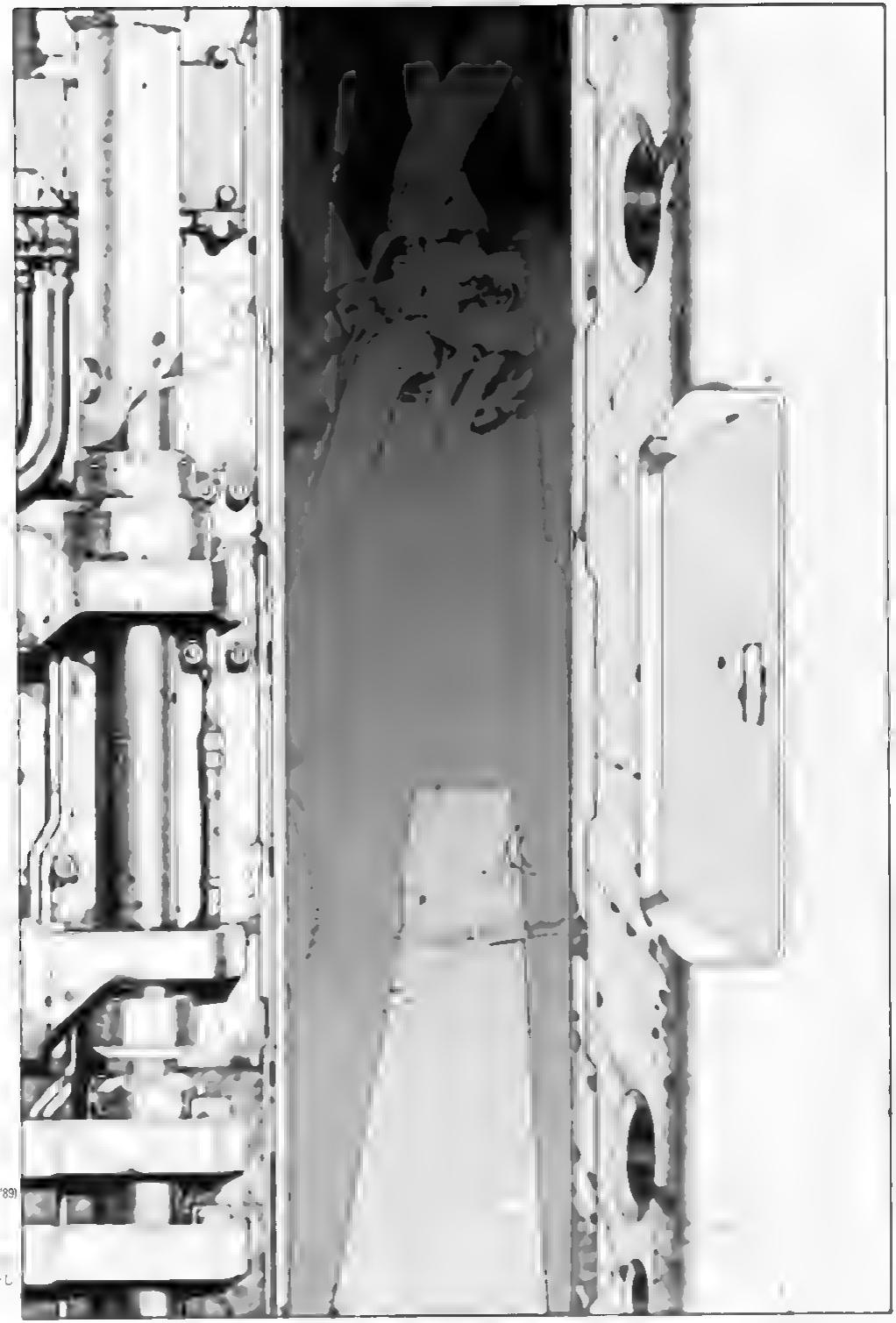
「吉祥寺の駅ビル「ともしび」がなくなるのが寂しいです」

Title page of Episode 107
Young Magazine (Oct. 30, '00)

「隣の田中さんから首輪の本を
いです」

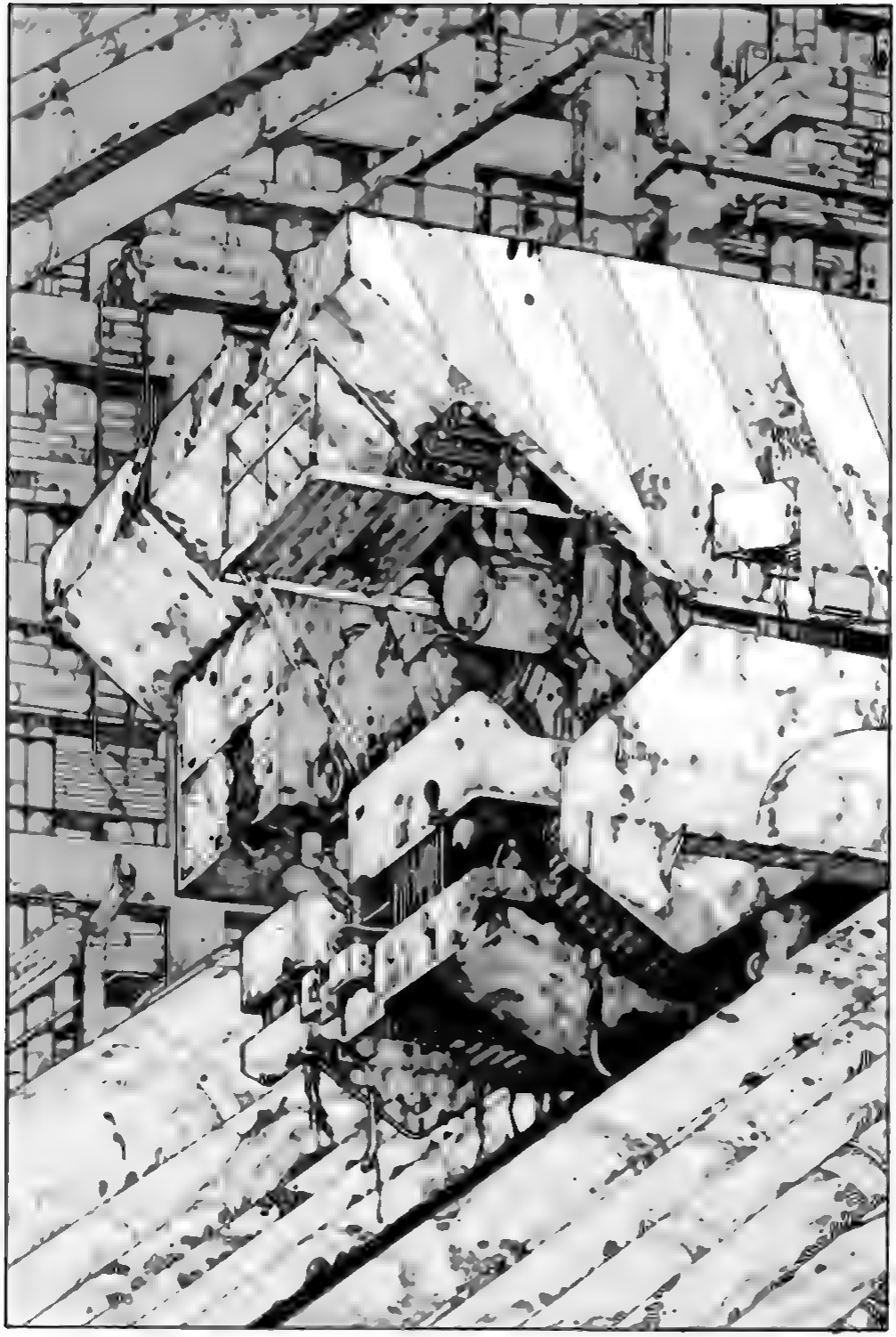
Title page of Episode 198
Young Magazine (Nov 13, '89)

てしまっ!



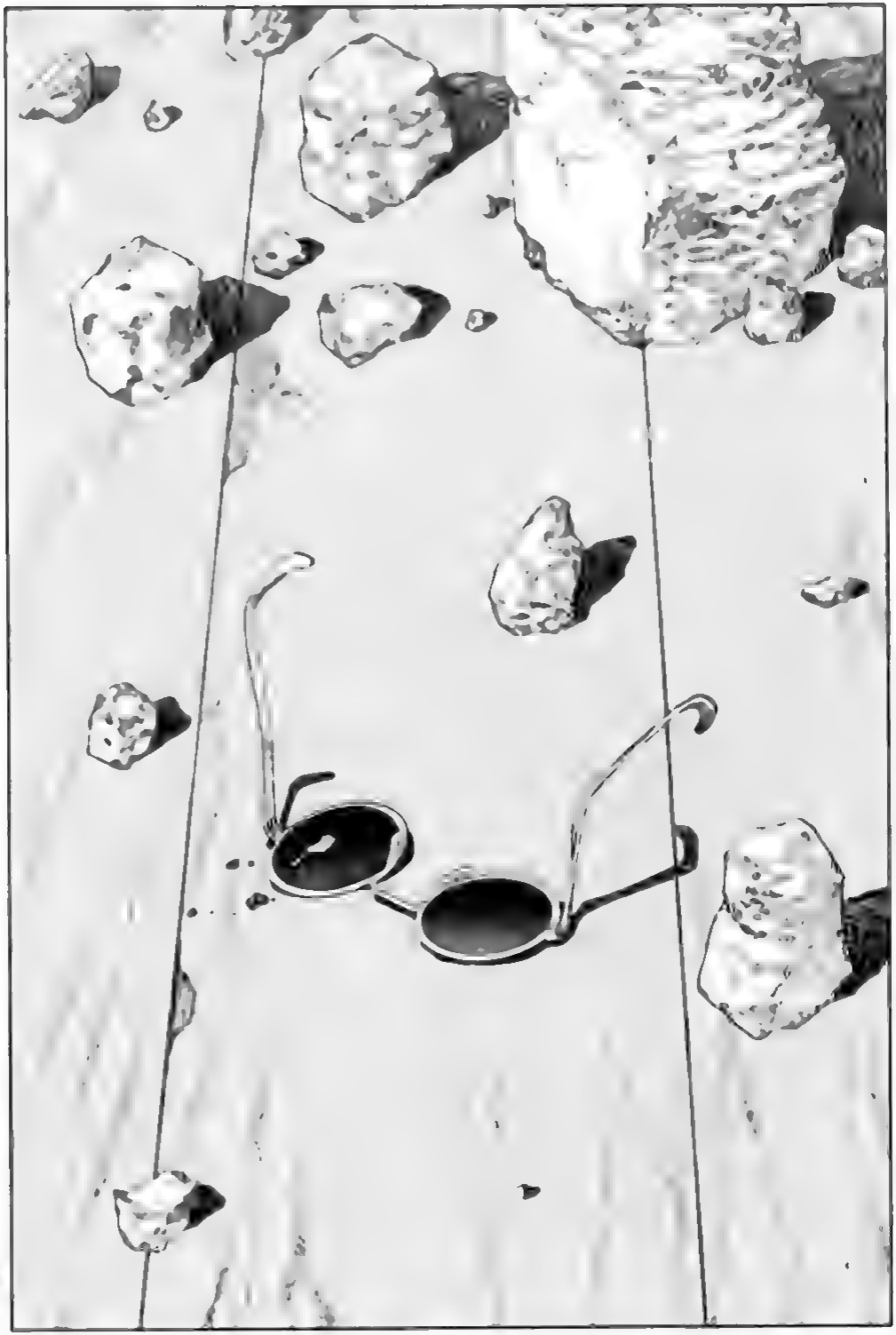
Title page of **Episode 109**
Young Magazine (Nov 27, '89)

今年の日本シリーズ、近
あまりに情けない負け方をし



Title page of Episode 110
Young Magazine (Dec. 11,'89)

ち葉を集め、イモを焼いた。



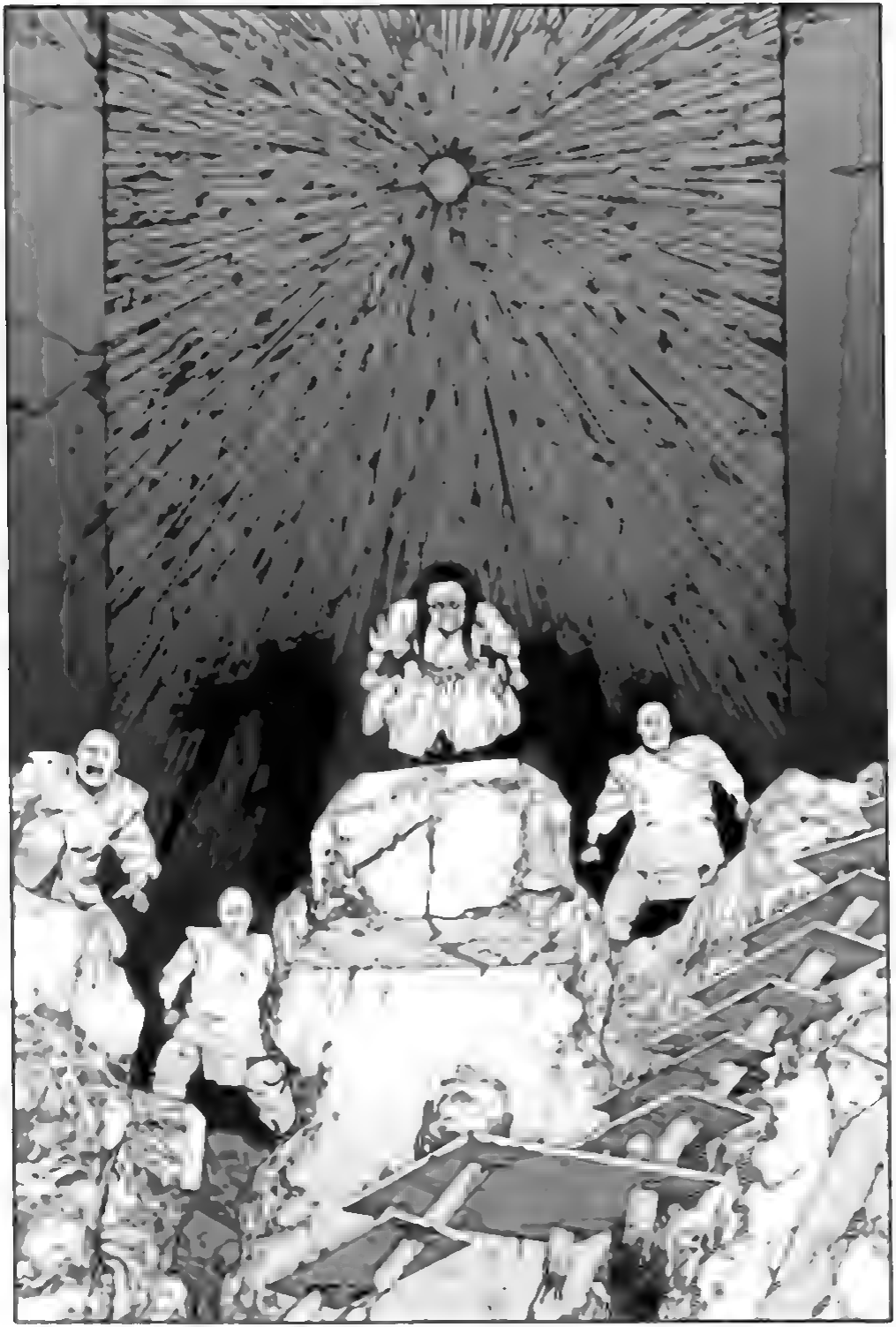
Title page of Episode 111
Young Magazine
(Jan. 8-14, '90)

「アニメ『AKIRA』の制作現
[illegible]
てほしい」

Title page of Episode 112
Young Magazine (Jan. 22, '90)

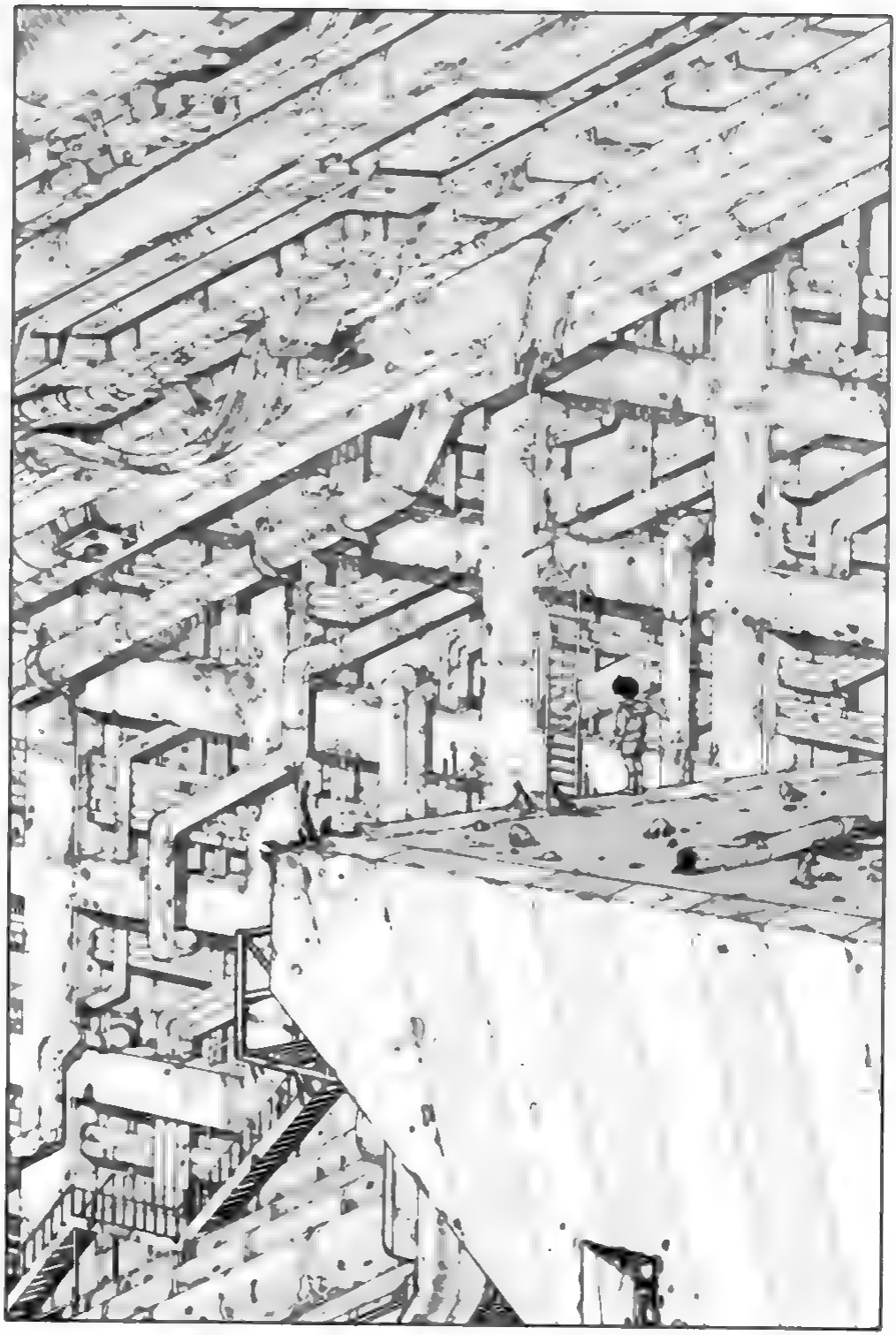
「今年は果たして休めるのだろ

Title page of **Episode 113**
Young Magazine (Feb. 5, '90)



Title page of **Episode 114**
Young Magazine (Feb. 19, '90)

「ついこの間までひどい[redacted]に悩まされていました」



Title page of Episode 115
Young Magazine (Mar 5 '90)

「2月21日のマノ・ネグラのコンサ

Title page of **Episode 116**
Young Magazine (Apr 2,'90)

「仕事場のCDプレーヤーカ器使しすぎてバカになった」

Title page of Episode 117
Young Magazine (May 21,'90)

「フランスのコミックフェアに行っていたため、ずいぶん休んでしまって申し訳ありませんでした。

Title page of **Episode 116**
Young Magazine (May 28, '90)

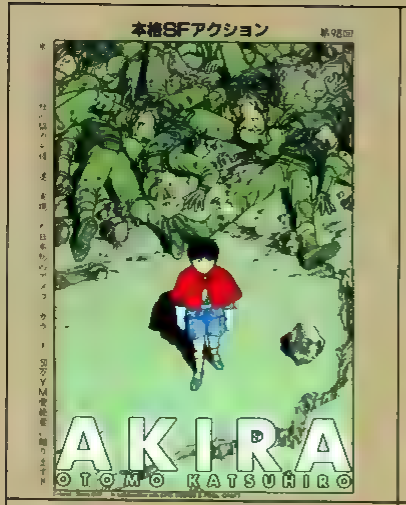
ハーンを個に行って来ました。

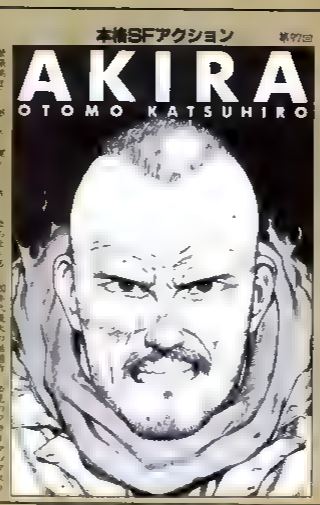
Title page of **Episode 119**
Young Magazine (Jun 11, '90)

「それじゃ、また」

Title page of Episode 120
Young Magazine (Jun. 25, '90)

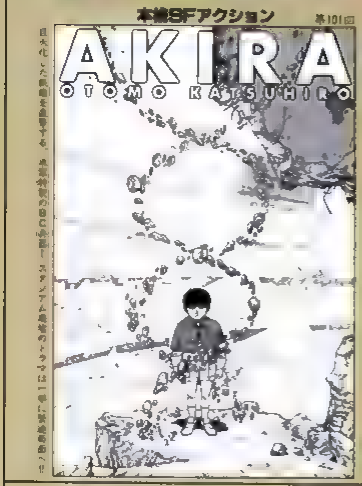
「ということで、また」

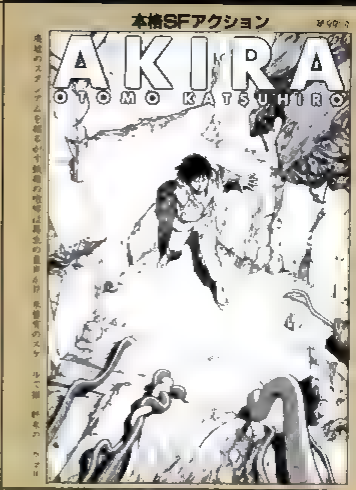


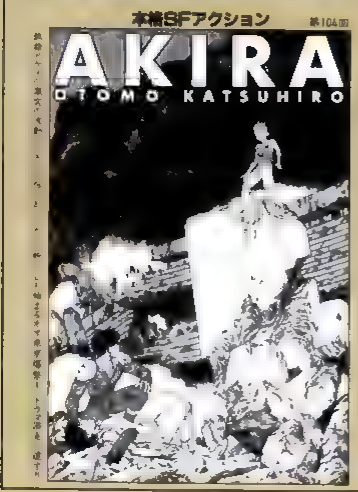


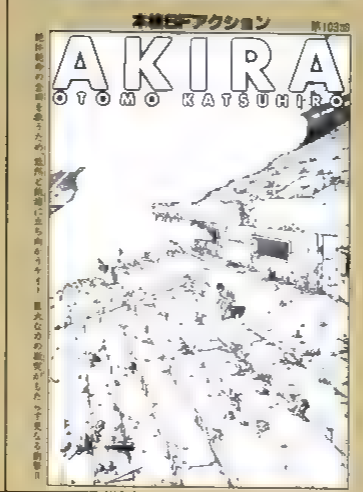
Episode 97-120

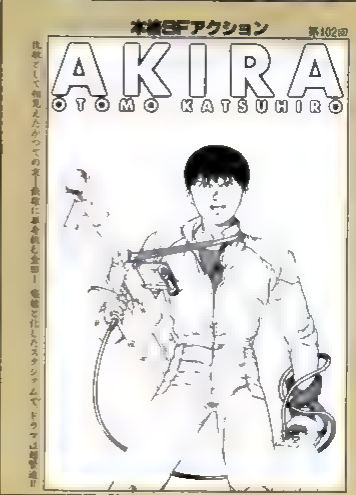
perfect reproduction of the title pages published in Young Magazine





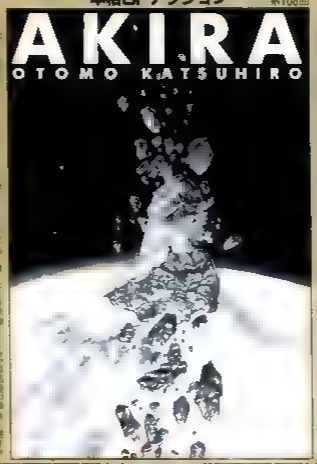






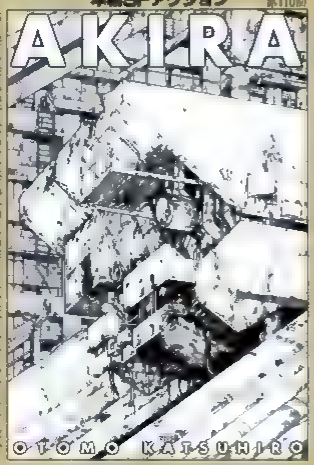
本格SFアクション 第107回

本格SFアクション 第106回



本格SFアクション 第105回

本格SFアクション 第110回



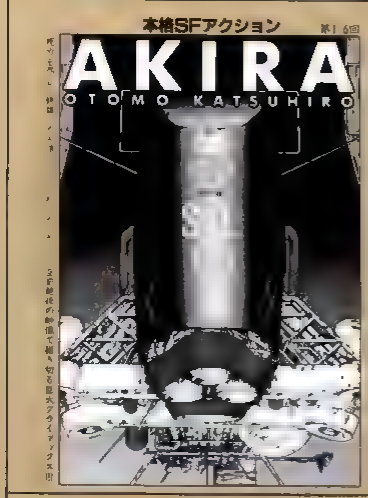
本格SFアクション 第109回

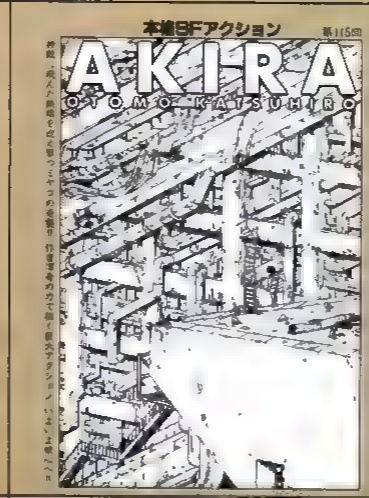
本格SFアクション 第108回

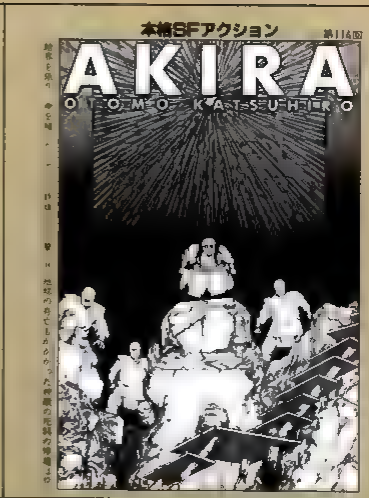
本格SFアクション 第113回

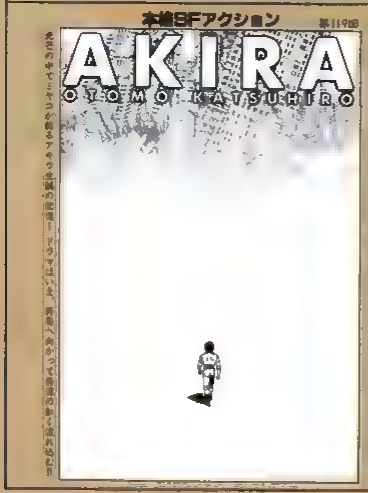
本格SFアクション 第112回

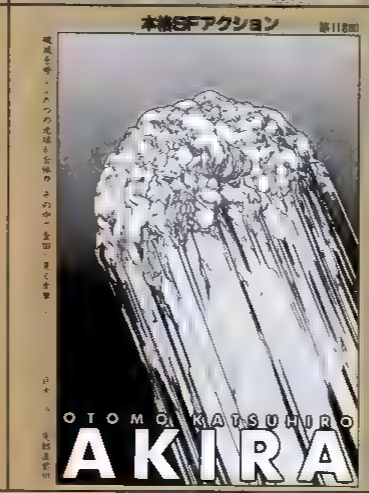
本格SFアクション 第111回

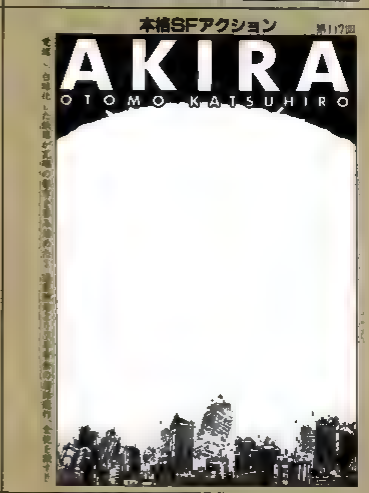

本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO

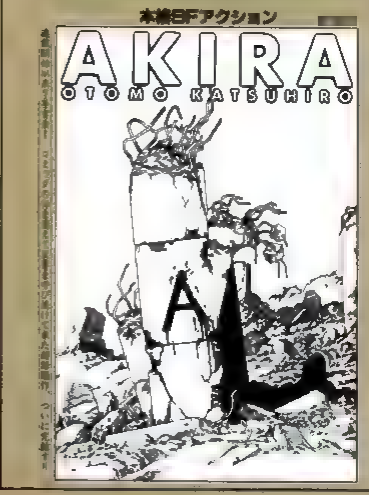

本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO


本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO


本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO


本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO


本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO


本格SFアクション
AKIRA
OTOMO KATSUHIRO

MEMORIAL GALLERY

poster, leaflet, goods, and others

の黙示録

the Apocalypse

アキラノメザメハチカヅイタ。

連載1周年直前特別カラー

AKIRA

アキラ/K・OHTOMO

第3次世界大戦後のネオ東京にくり広げられる
本格SFアクション 地下深く眠りつづける
アキラとは、はたして何者なのか？アキラが
目覚めるとい…たい何が起こるのか？
…マはいよいよ漫画史上かつて
ない…た巨大な核心へと
…き進んでゆく…

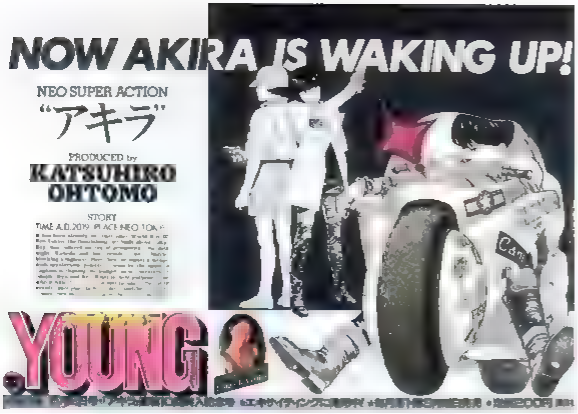
ヤングマガジン'83年11月21日号の電車中吊りポスター。メタルペーパー使用。

ヤングマガジン

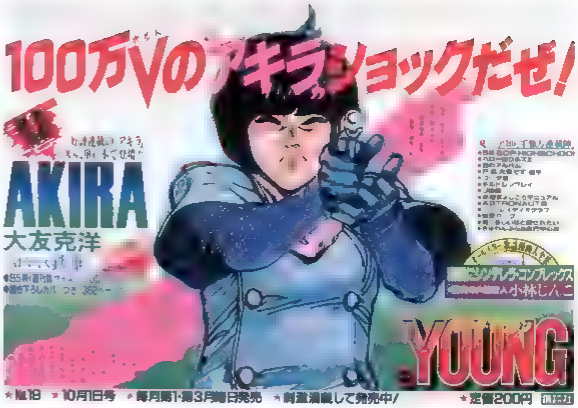
YOUNG

★毎月第1・第3月曜日発売　★定価200円　講談社

★No.22　11月21日号　★ドラマチックに発売中!



ヤングマガジン 83年5月2日号の電車中吊りポスター。
イラストは第4回、第6回、第8回の扉絵を組み合わせたもの。



ヤングマガジン 84年10月1日号の電車中吊りポスター。
イラストは単行本1巻67ページのカットに着色したもの。

「AKIRA」新連載を告知するヤングマガジン
'82年12月20日号の電車中吊りポスター。
同号の表紙用イラストを流用。ただし表紙は
この絵にモザイク処理を施している。

ヤングマガジン 88年11月21日号の電車中吊りポスター。
同号の表紙用イラストを流用。

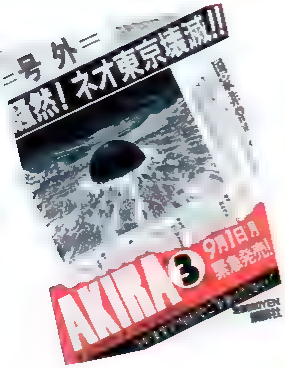
ヤングマガジン 86年12月15日号の電車中吊りポスター。
同号の表紙用イラストを流用。

単行本4巻の書店用陳列ピラ。

単行本3巻の書店用陳列ピラ。

単行本2巻の書店用陳列ピラ。

単行本1巻の書店用陳列ピラ(通称・チンピラ)。



単行本3巻の書店用陳列ピラ。
同じデザインの紙袋も作製された。

単行本4巻の書店用陳列ピラ。

単行本3巻の書店用陳列ピラ。

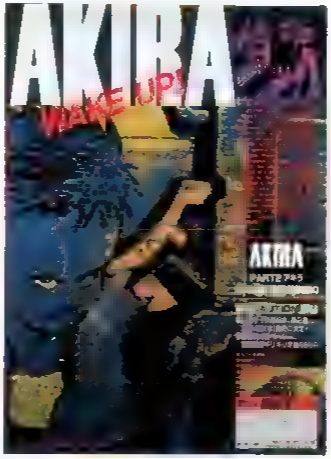
ヤングマガジン'83年11月21日号の書店用陳列ピラ。

「AKIRA」関連書籍の書店用陳列ピラ。

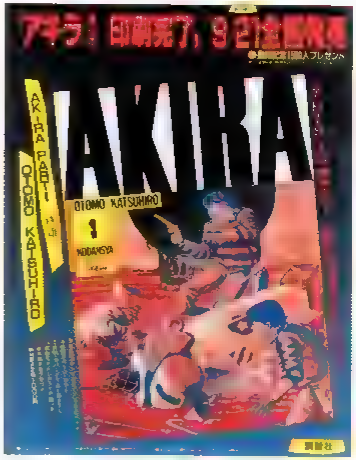
遅れることの多かった大友作品が予定通り出ることをアピールする写真予告。

ヤングマガジン 84年 9 月 3 日号に掲載された単行本 1 巻の発売予告記事

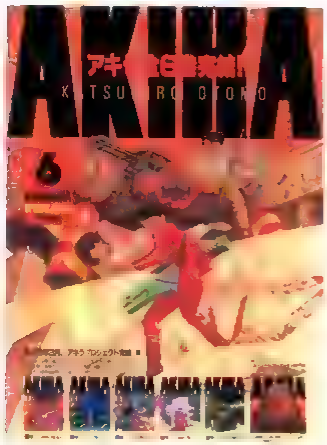
ヤングマガジン '85年 9 月16日号に掲載された
単行本 2 巻の発売予告記事



ヤングマガジン 85年 9 月 2 日号に掲載された
単行本 2 巻の発売予告記事



ヤングマガジン 84年10月 1 日号に掲載された
単行本 1 巻の発売予告記事



ヤングマガジン '93年 4 月12日号に掲載された
単行本 8 巻の広告記事。

ヤングマガジン '93年 2 月15日号に掲載された
単行本 6 巻の発売予告記事。

ヤングマガジン '91年 1 月 1 ・ 7 日合併号に
掲載された単行本 5 巻の発売予告記事。

A.D.2020, We Need New Erotic Scene of Neo-Tokyo by AKIRA!

歓声、止まず。

OTOMO KATSUHIRO

AKIRA

まとめて読もう！
大増刷出来！ 1〜6で、もうすぐ1000ページ

PART1 鉄雄
定価780円

PART2 アキラ-I
定価880円

PART3
アキラII

9月1日(月)発売!

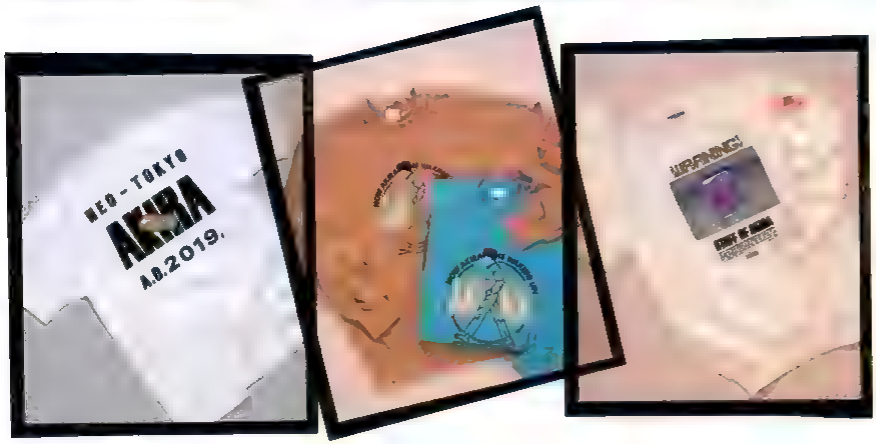
■書店予約受付開始!!

SPECIAL PRICE 880yen 講談社

- カバー&表紙特別イラスト!
- 前後見かえしカラー口絵つき
- 巻頭カラー8P
- 発売記念Tシャツ&ポスター1500人プレゼント!

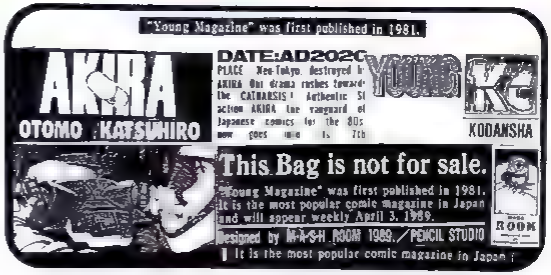
ヤングマガジン■年9月1日号に掲載された■行本■の発売予告記事。東京競馬場の協力で実■にターフビジョンに映してもらったが、■■不足で、合成写真となる。

AKIRA
AKIRA
AKIRA



数ある「AKIRA」グッズの中でも、最も多く製作されたのはTシャツ・トレーナー類であった。「アキラTシャツは今でも愛用しています。上の単行本表紙を使ったTシャツは、3巻のものからにじみがなくなって、すごくいい色が出るようになりました。でも読者プレゼント用Tシャツは街では見かけませんね。みんな着ないで保存しているんでしょうか。結構よく見かけるのは、初版Tシャツです。吉祥寺や新宿のテクノバーで若い人が着ているのを見ると、「へー」という感じがします。それから、ロサンゼルスでスティーブ・オリフさんに会った時、彼が読者プレゼント用Tシャツを着ているのには驚きました。どこで入手したんだろ？」

ヤングマガジン'89年1月16日号の読者プレゼント用には「AKIRA」アートバッグが製作された。限定150個のヤングマガジン週刊化記念グッズ。上のラフデザインは大友氏の手による。決定デザインは左の写真参照。



ヤングマガジン'89年6月26日号の読者プレゼント用に「AKIRA」アーミーキャップが製作された。限定200個の創刊9周年記念グッズ。デザインも担当した大友氏は「つらい原稿描きの間にやるデザインの仕事は楽しかった」。決定デザインは左の写真参照。

アートバッグのサイズは400mm×421mm。
「キャラクターグッズにはしたくありませんでした。みんなで実際に使えるようなバッグにしたかったんです」

「実は顔が大きいのですが、後ろがゴムになっているフリーサイズなので、ちゃんと入りました。でも似合いません。やっぱり帽子は顔の小さい人が似合うなー、と思いました」

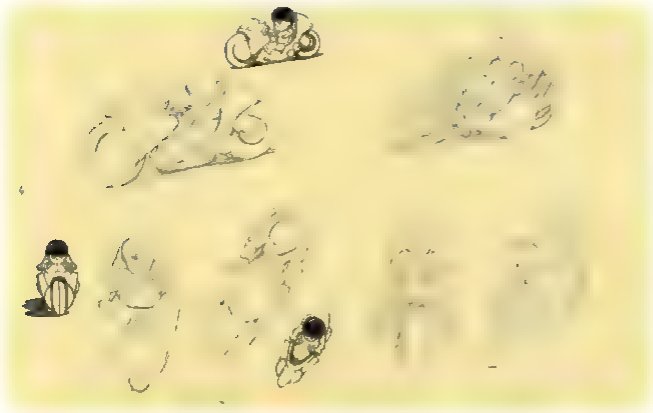
SHUMATSU

MAZE

88年7月8日発行『POSTER&GRAPHIC AKIRA』に収録された超難解迷路。文字が隠されているので、挑戦してみてください。パズル制作はニコリ。

「POSTER&GRAPHIC AKIRA」の予告記事用写真。長さ73cmのケースに入った大型本で、■■を"デカ本"といっていた。右の装幀の他、原寸大劇場用ポスター4点、2■■年カレンダー、鉄雄ジグソーパズル、アニメシナリオ、大友氏のロングインタビューなどを収録。

単行本5巻のカバー裏のために制作されたオリジナル原手。全長180cm、総費用約200万円。大友氏が描いたラフを基に、ミヤコ人形を赤星ゆかり氏、メカモデルを小沢勝三氏が作製。浅草松下商店の協力によって完成した。

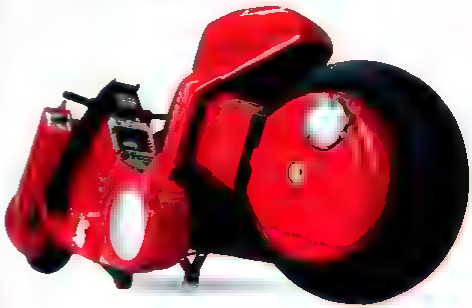


ヤングマガジンの読者プレゼント用に企画された「チョロQ」。下は大友氏によるラフ。予算の問題で実現には至らなかった。

鉄雄フィギュア。全高164mm。アメリカ製で、アメリカでのみ販売されている。

1／35スケール全長99mmの金田バイク。バンダイ製品。金田のミニチュア運転免許証も入った凝った作り。

アニメの宣伝用展示物として製作された原寸大金田バイク。キャンペーンでイギリスに渡ったまま行方不明(…。現在はイギリスのマニアが保持しているという説もある。



AUTHENTIC SF ACTION!

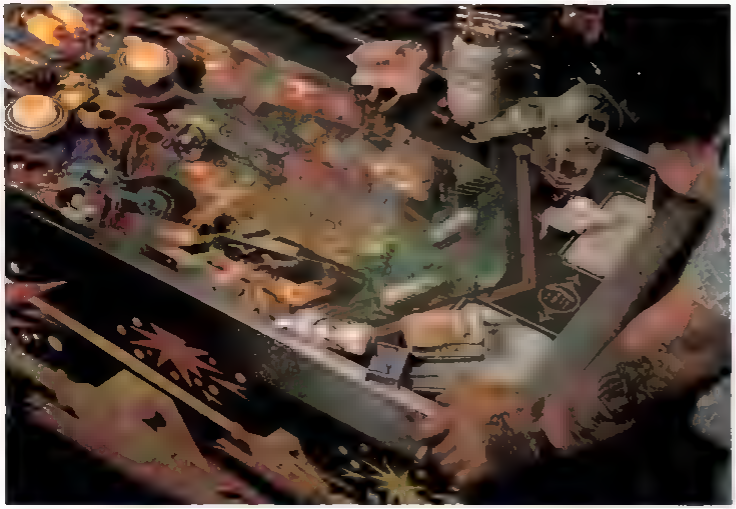
OTOMO KATSUHIRO

AKIRA 5

12·11 ON SALE

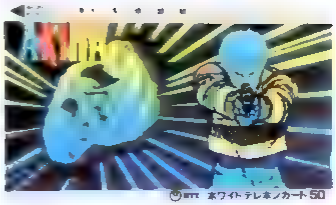
SPECIAL PRICE
1,100YEN

KODANSHA



単行本4巻のカバー裏のために制作されたオリジナル・ピンボールマシン。端タイトーが提供してくれたマシンに、大友氏がアニメのセル画を切り張りして完成した。また、上の写真に出ているのは大友氏の左腕。自らが入れ墨を描いたものである。

ヤングマガジン'87年1月5日号の読者プレゼント用に「AKIRA」タペストリーが製作された。限定50枚のプレゼントで、現在はプレミアム価格2万円という噂もある。

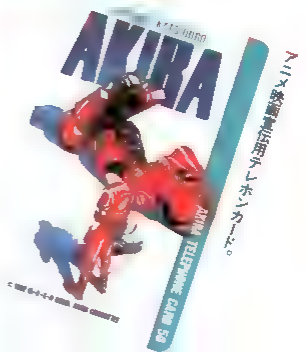


アニメ映画用・前売券付きテレホンカード。

ヤングマガジン読者プレゼント用テレホンカード。

劇場版「AKIRA」の読者プレゼント用テレホンカード。

ヤングマガジン読者プレゼント用テレホンカード。



アニメ映画前売券用テレホンカード。

AKIRA
1000 & ADD BONUS
BOTH TARGETS DOWN ADVANCE MULTIPLIER
20,000
9000
10,000
7000
8000
5000
6000
3000
2000
1000
2X
3X
4X
5X
SPECIAL
5000 & BONUS
Young Magazine

映画の劇場案内板。撮影地はアメリカのアトランタ。

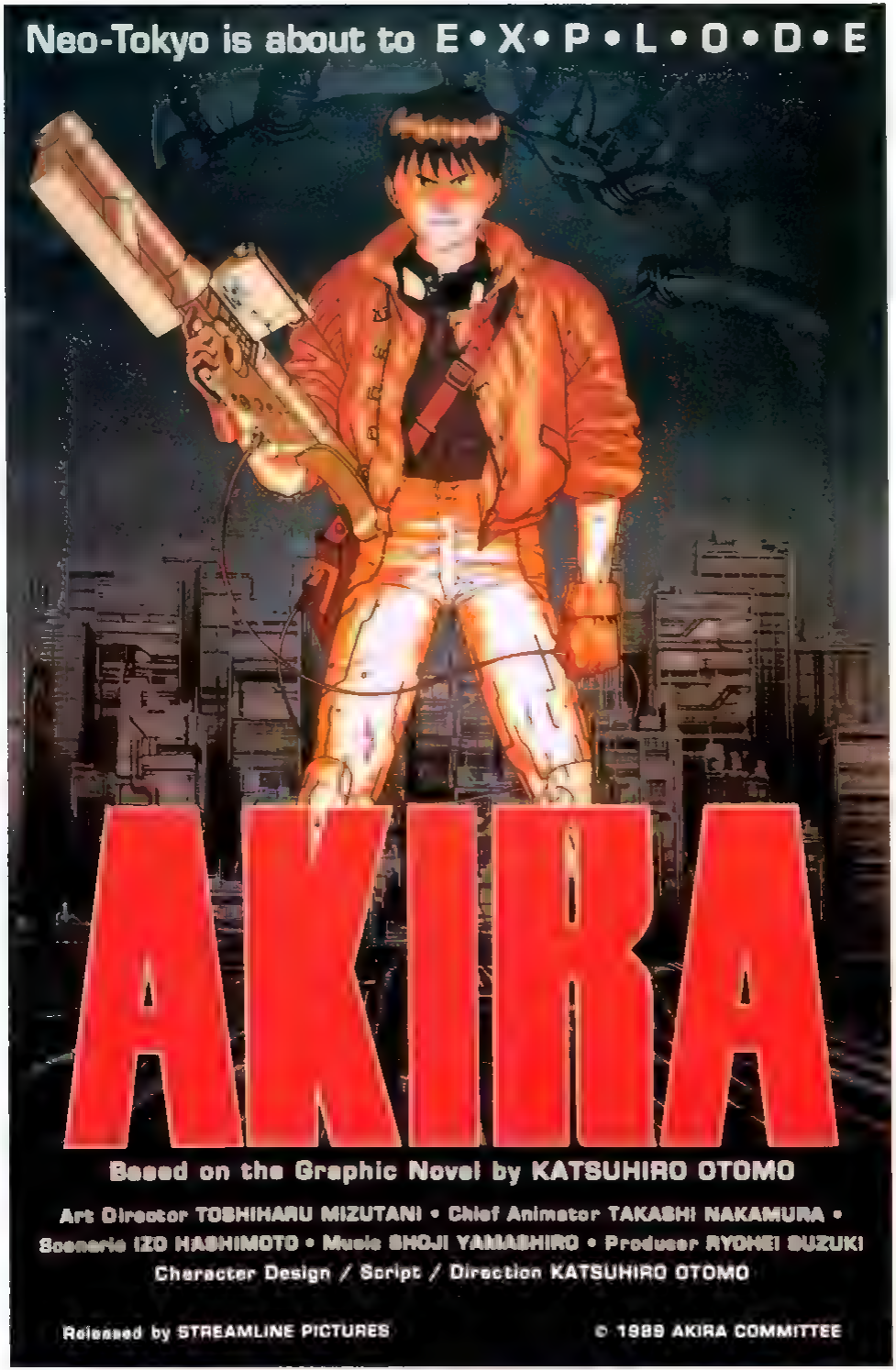
フランス語版「AKIRA」の広告塔。撮影地はコミック・コンベンションが開催された ダルノーブル市。当時元のグレナ社は最10ヵ所に掲示するほどの力の入れようだった。

アメリカでのアニメ公開を記念して、ニューヨーク上空でヤングマガジン表紙ロケを敢行した。自由の女神の横を飛ぶヘリコプターが表紙を飾ったのは 88年12月18日号だった。

ヤングマガジン'90年12月10日号のグラビア撮影。ニューヨーク・ブロンクスでの口ケはボディーガード付きで敢行された。

アメリカ版「AKIRA」の宣伝ポスター。出演者はニューヨーク・ブロードウェー。

AKIRA
KANEDA
AKIRA



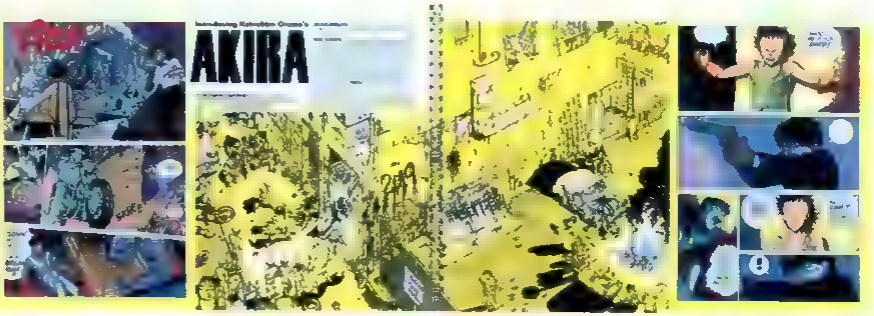
アメリカでの映画公開時に作製されたポスター。

グレナ社が作製したポスター。「暴力的で、美しい」というキャッチコピーが冠されている。

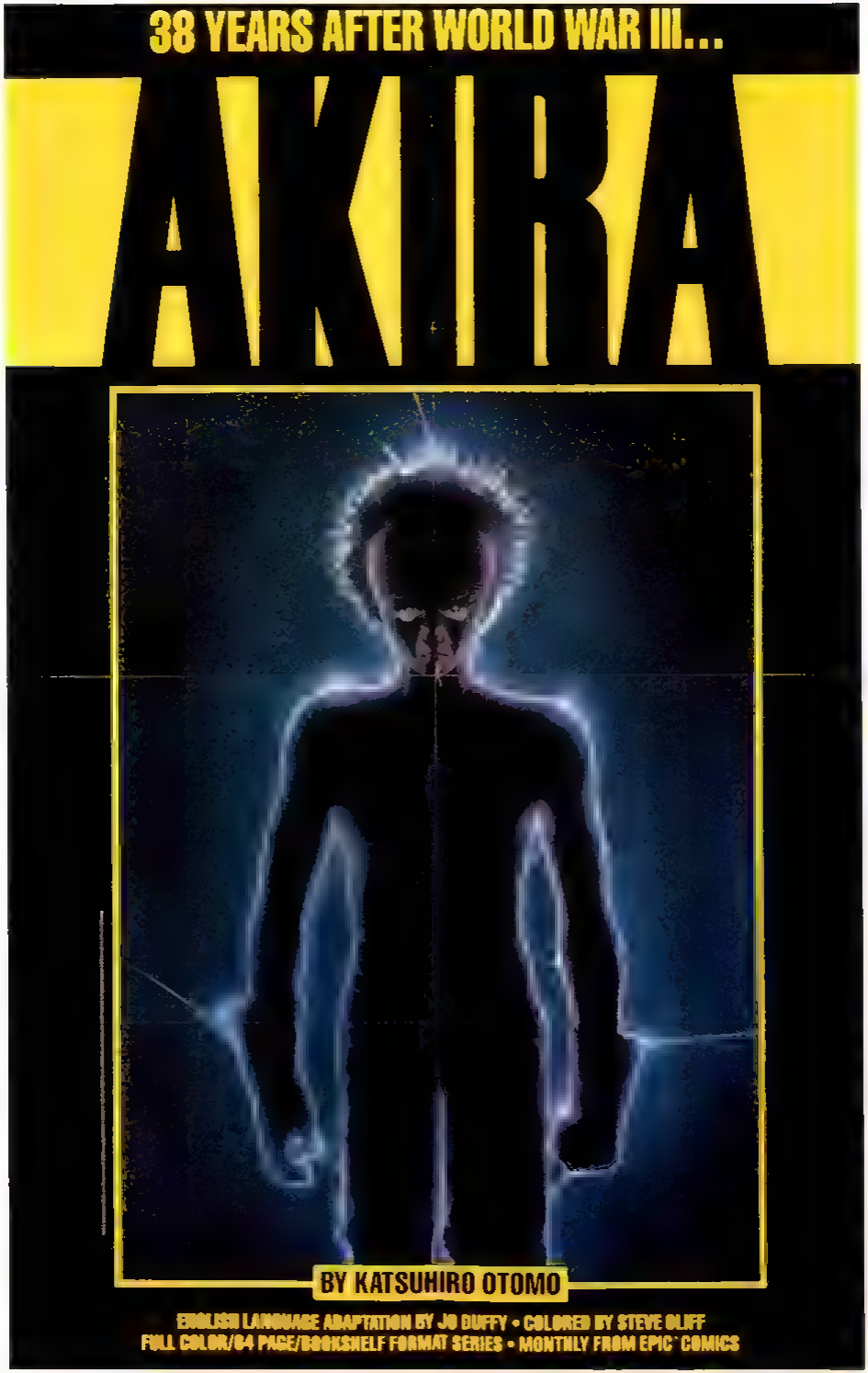
グレナ社が作製した宣伝用垂れ幕。全長4m以上。

インドネシア語版の宣伝ポスター

印刷版「AKIRA」の読者プレゼント用ポスター。



講談社コミックの英語パンフレット。海外出版社への版権販売に使用された。



アメリカ版刊行開始時のマ・ベル社製ポスター　創刊時にはファオ広告もうたれた。

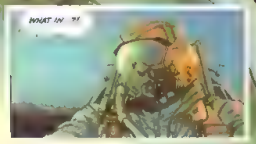
AKIRA

アメリカ版「AKIRA」について

黒丸 尚

PROFILE

1961年東京生まれ　S-F館
主な訳書「ニューロマンサー」
ス」、「時空の支配者」「空を飛んだ
れい顔を選ぶとき」「砂のなかの風」
93年逝去。ご冥福をお祈りします。



…が、日本版の原作があるのに翻訳するA…マンガ家がやってきてしまいます。最近の傾向…そうにな…けです。国際的に見て、よ…をとらないとなると、そう…があるわけではなく、第一番…洋でした。でも、悲しいか…クの日本書店には当時、大友…ていないもので、プロの間で…までした。

…したのが、『アキラ』の単行…ニューヨーク在住のマンガ家…方に駆けつけて、買ったとい…人間が、あれを買ったのはア…ばかりではなかろうか、と美…ロ・オートモが有名になった…

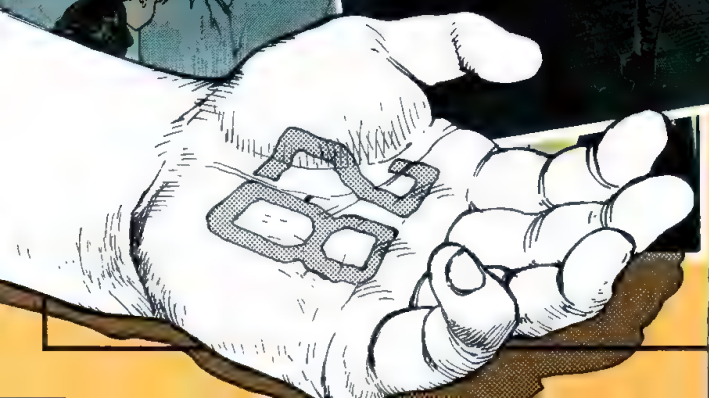
…カン・コミックスの国際化と…ましたが、何の algún でもなく、…はフランスと日本にある、と…そうだろうとは思っていたの…『SPIN』誌（というのは…タイルを中心にした新興若者…クス特集で、業界の人間がそ…から、まず間違いありますま…

…このアメリカ版『アキラ』、…グラフイック・ノヴェルの…ています。印刷といい、製本…少コミックスに比べれば格段に…す。内容に見合った扱いと言…

…で受け容れられ、逆に日本…リカン・コミックスとして受…ら、最高だ、と思います。

ブックレットより再録

大友氏のカラー見本。左の完成原稿が見本に忠実にカラーリングされているのがわかる。



単行本1巻1ページの1コマ目。左右逆版にしても、大佐のスーツが左前になるように、スーツすべてを描き直している。

単行本1巻160ページの4コマ目。日本語の描き文字を消し、ふきだしの形をアルファベット対応にするためには、背景をすべて消す必要があった。

MAKING FOREIGN EDITIONS OF *AKIRA*

国際版の出版によって、世界中で熱狂的支持を受けた「AKIRA」。その国際版を制作するためには、様々な関門をクリアしなければならなかった。第一の大きな関門は右起こしの日本語版をアルファベット対応の横書きにすること。単純に左右逆版にするだけでなく、描き文字やふきだしを取り除いた部分に新たに背景を描くなど、大友氏の大幅な加筆修正の必要があった。第二の大きな関門は当時の敵米ソ冷戦ムードをベースにしていたということ。コンピューターカラーリストであるスティーブ・オリフ氏に「AKIRA」のカラーイメージを伝えるために、大友氏が描いたマーカー画は相当な数に上る。他にも、翻訳時に生じる英語と日本語のニュアンスの違いなどをクリアしつつ、国際版の制作は進められた。一例として単行本1巻88ページを並べてみた。国際版「AKIRA」の制作過程を追体験していただけるだろう。

単行本2巻298ページの5コマ目。左の手と見比べてほしい。

THE INTERNATIONAL *AKIRA*: 1988-1994

1988年 アメリカMARVEL(EPIC)COMICS社、コミックブック版（B5版ソフトカバー、オールカラー64ページで全38巻）刊行開始。

1990年 フランスGLENAT社、イタリアGLENAT社、スペインEDICIONES B社、ブラジルGLOBO社、キオスク版（A4版ソフトカバー、オールカラー64ページで全38巻）刊行開始。

1991年 ドイツCARLSEN社、（B5版ハードカバー、オールカラー128ページで全19巻）刊行開始。
インドネシアELEX MEDIA KOMPUTINDO社、（B6版ソフトカバー、モノクロ192ページで全13巻）刊行開始。
アメリカMARVEL(EPIC)COMICS社、アルバム版（B5版ソフトカバー、オールカラー192ページで全13巻）刊行開始。
フランスGLENAT社、ブックストア版（A4版ハードカバー、オールカラー160ページで全13巻）刊行開始。
アメリカGRAPHITTI DESIGNS社、愛蔵豪華限定版（B5版ハードカバー、オールカラー全6巻）刊行開始。

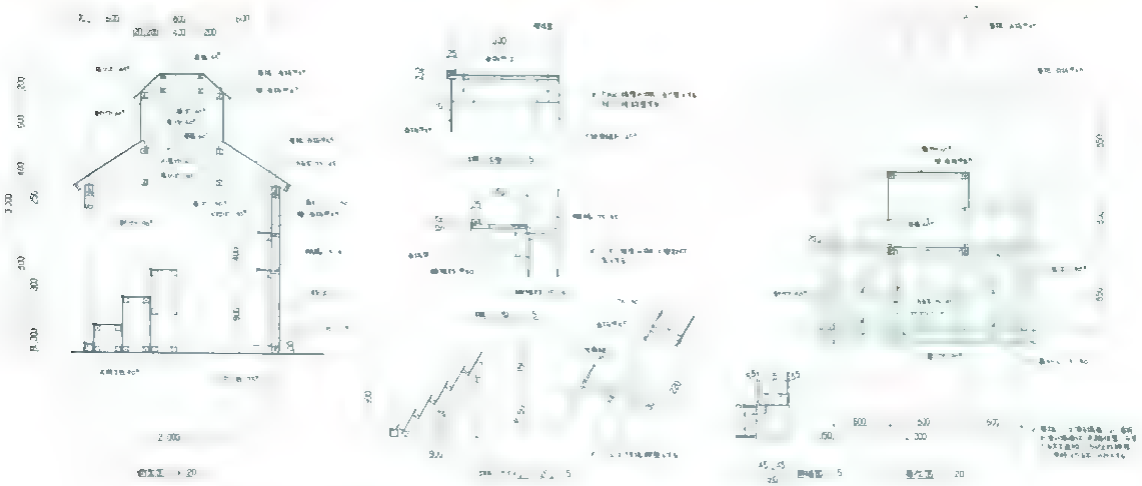
1992年 フランスLOISIRS社、ブッククラブ版（A4版ハードカバー、オールカラー192ページで全13巻）をカタログ販売開始。
イタリアGLENAT社、スペインEDICIONES B社、アルバム版（A4版ハードカバー、オールカラー192ページで全13巻）刊行開始。

1993年 韓国 東立出版社、（B5版ソフトカバー、モノクロ全6巻）刊行開始。

1994年 イギリスMEE社、（B5版ソフトカバー、オールカラー全6巻）刊行開始。

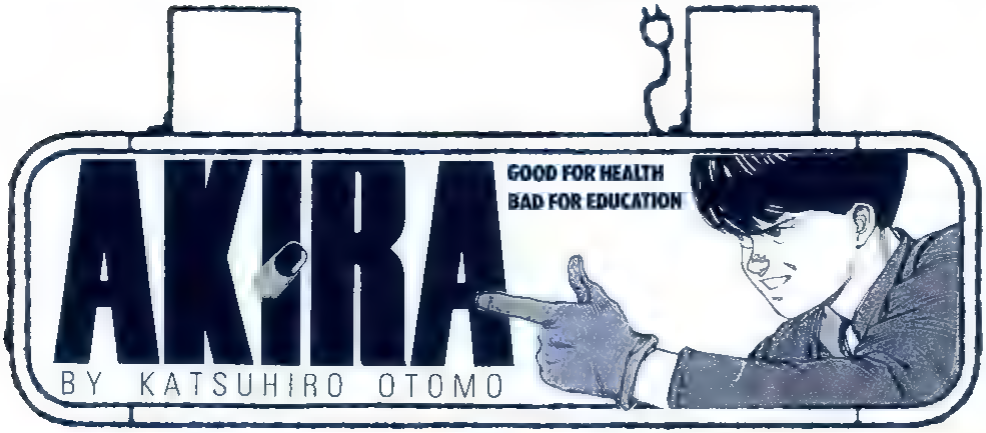
この海賊版が数ヵ国で確認されている。契約した各国の単行本総部数を合計すると約500万部に達する見込み。'95年現在も出版申し込みは相次いでおり、フィンランド、オランダ、ポルトガル、アルゼンチン、タイなどの出版社と交渉中である。

単行本６巻のカバー裏のために「ＡＫＩＲＡ」キオスクが建てられることになった。これはその最初のイメージである。（参考文献「世界のキオスク」ＴＯＴＯ出版）

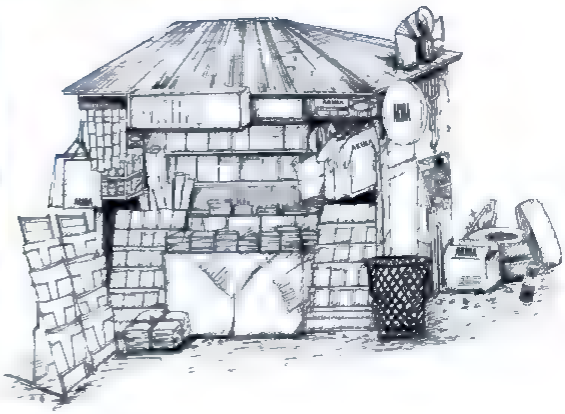


上のイメージスケッチを設計士が正確な設計図におこしたが（上の設計図）、それでは予算オーバーすることが判明。次に、日活撮影所の大道具係に予算内で建てられるような設計図を依頼した。それを基にスドーアート工房の協力により、講談社内のスタジオに「ＡＫＩＲＡ」キオスクは建てられた。

キオスクに設置した蛍光看板2種類。上のものは直径50cm、下のものは長さ140cm。実際に光るように作られたが、トリミングの都合で、単行本のカバー裏には写っていない。

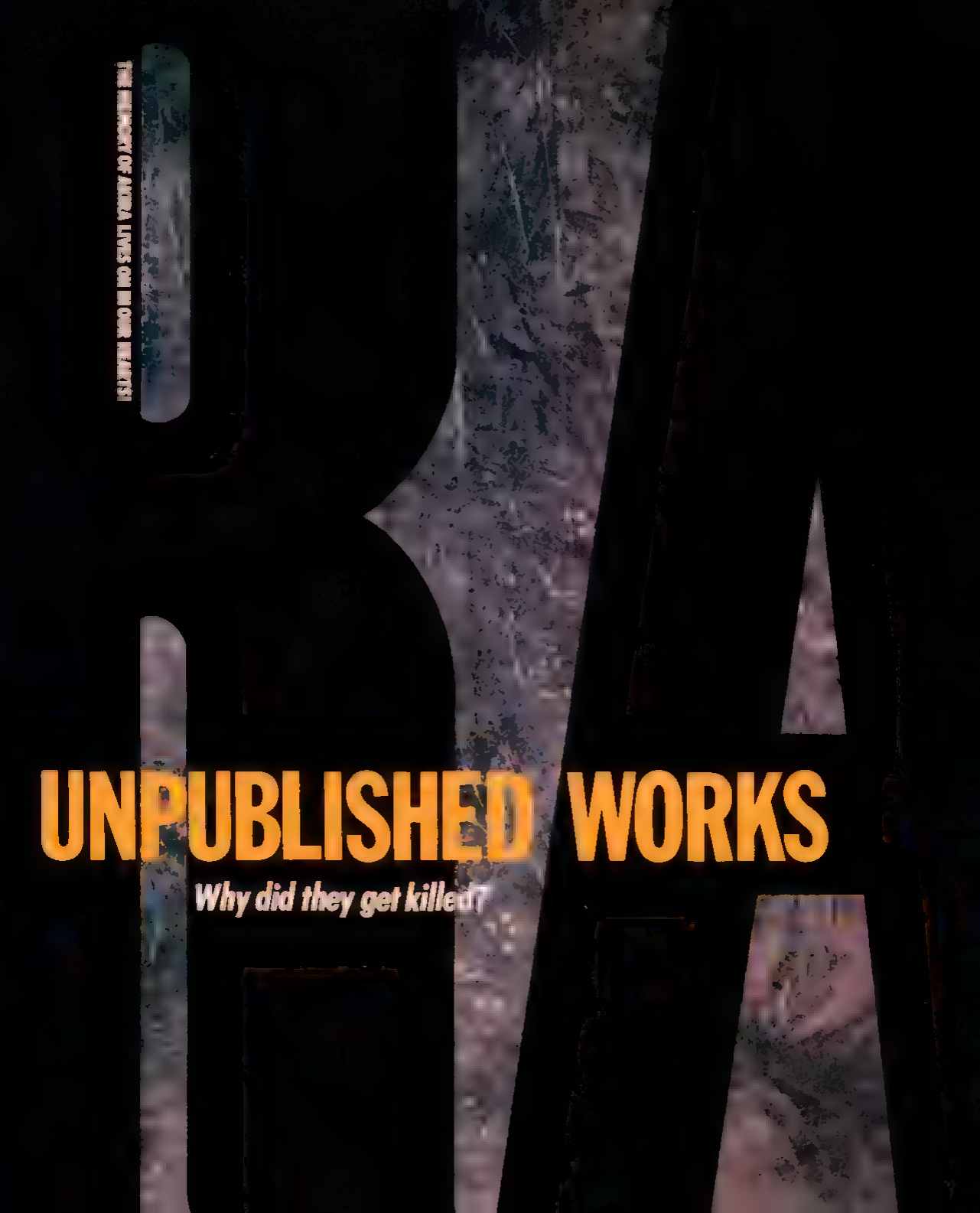


設営・撮影には3日を要した。その間スタジオには見学者があいつぎ、大友氏は記念撮影に追われた。右は完成予想図であるが、関係者の創意工夫の結果、予定を上回る猥雑さが醸しだされた。ニューススタンドに入っている新聞は手製(「大友克洋クラゲに刺される」という見出しもある)。左奥にある業務用冷蔵庫の缶類にはすべて「AKIRA」ブランドのラベルがはってある。鉄製ゴミ箱は講談社近辺の廃材置き場から調達された。



AKIRA
BY KATSUHIRO OTOMO
AKIRA
AKIRA
AKIRA

NEO-TOKYO
A.D.2019


THE FIGHT OF ANNA LIVES ON IN OUR HEARTS!
UNPUBLISHED WORKS
Why did they get killed?

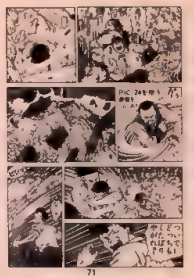
単行本6巻の389ページ。

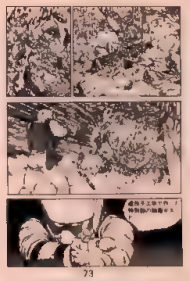
ヤングマガジン '90年6月25日号に掲載された最終回最終ページ

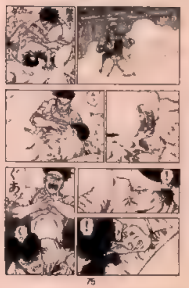
単行本用に描き直す際にNGになったもの。2枚の絵を別々に描き、組み合わせて使用する予定だった。「描きたい瓦礫がいっぱいあったんです。参考資料として瓦礫が写っている写真集も集めてましたし。ああ、これはいい瓦礫だ！っていう写真が1枚でもあると、つい買ってしまうんです。特に、混み入ったタイプが好きで、描き込みすぎの原因にもなっていました」

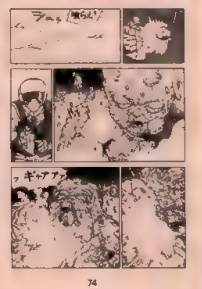
大友氏の机の中には数多くのNG原稿が眠っている。

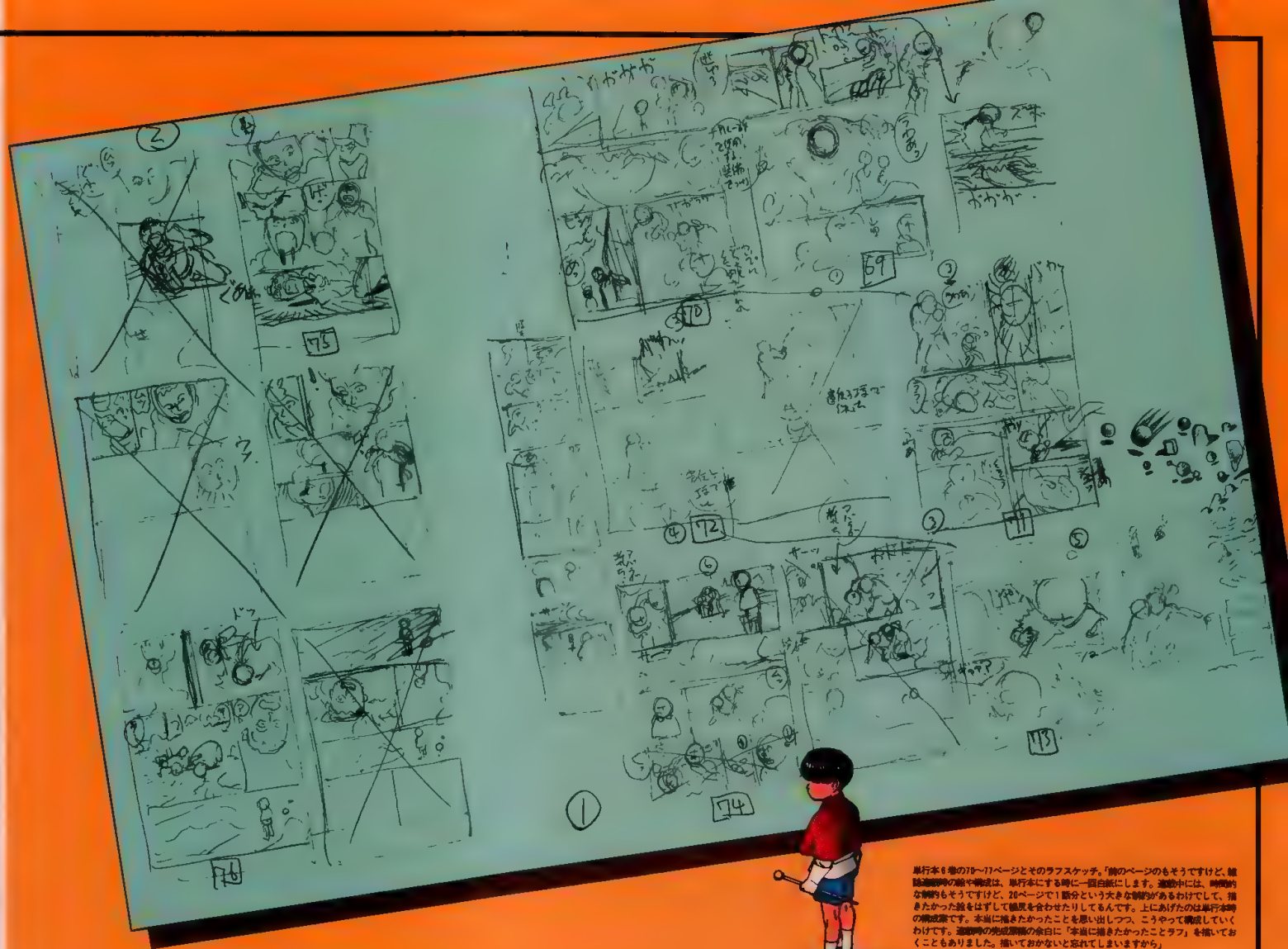
「AKIRA」のNG原稿集！大友氏の机の中で眠っていたものを引っ張り出してきた。ヤングマガジンが週刊になったのに隔週でしか掲載していないとか、単行本がなかなか出ないとか、大友氏の遅筆に対する非難は数多く受けたが、これでその原因が少しはわかっていただけるのではないかと思う。NGの種類は大きく分けて二つ。①雑誌にも出なかったボツ、②雑誌には載ったが単行本には載せなかったボツ。多いのは②のパターン。上の絵も②のパターンでボツになったものだ。「単行本の絵と見比べていただければわかると思いますが、雑誌掲載時のものは建物の壊し方が甘いです。これは時間的制約で充分に手を入れられなかったからですが、単行本にするにあたって、ここぞとばかりに描くと、左ページのようなNGも生まれてしまう。描き込みすぎて、奥行感がない絵やバランスの崩れた絵になってしまうんです」



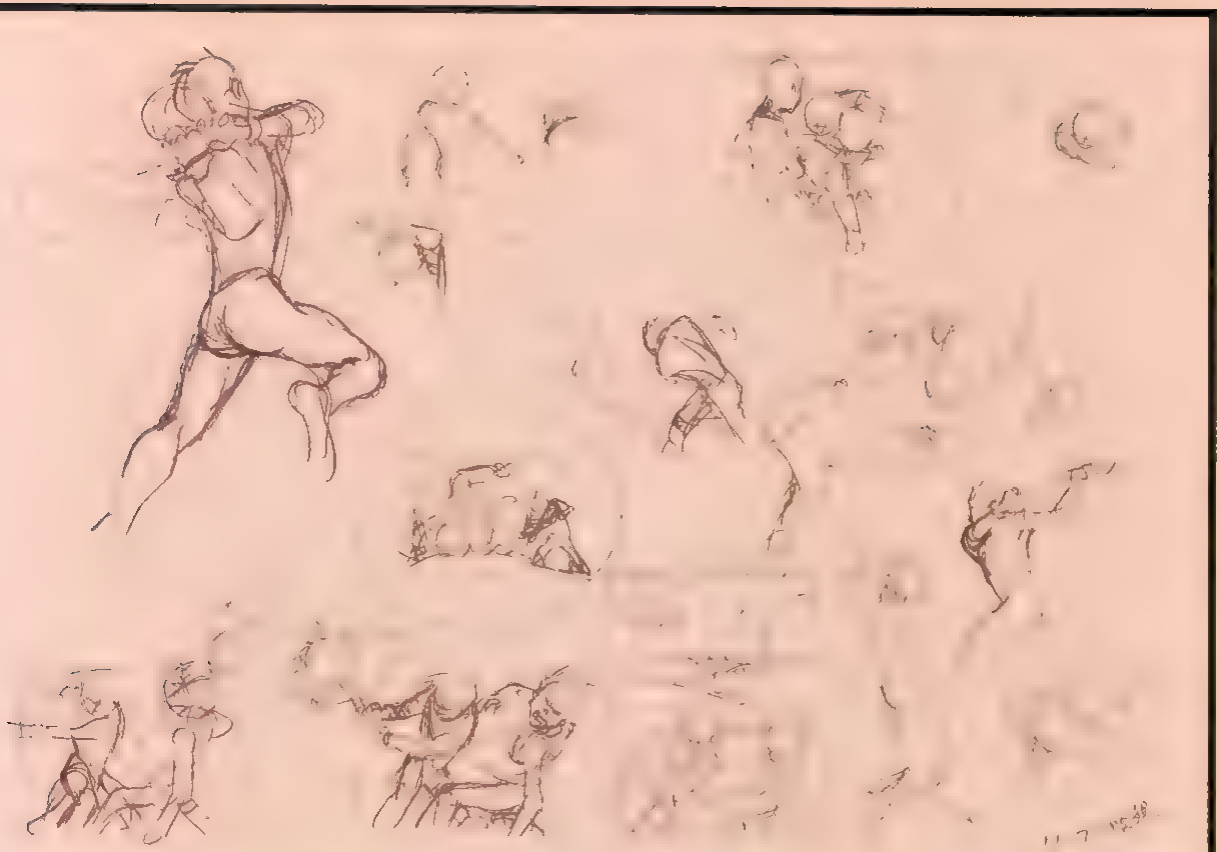








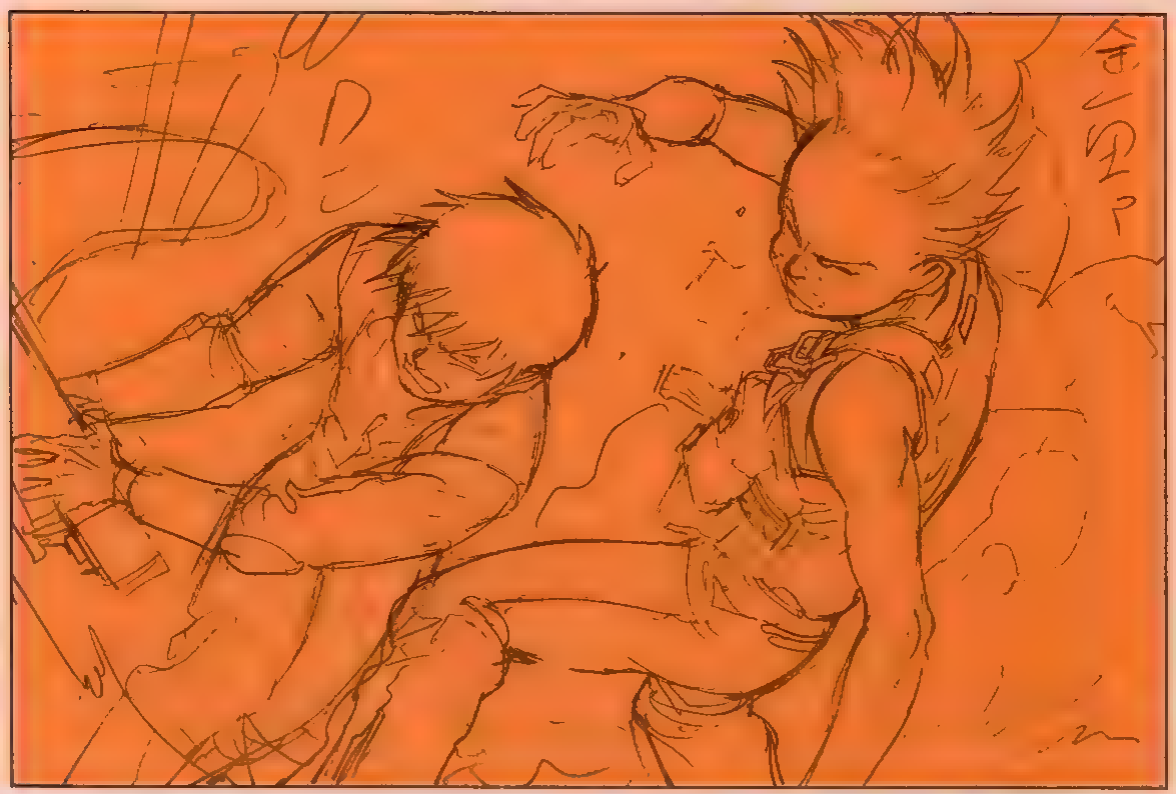
単行本6巻の70〜77ページとそのラフスケッチ。「時のページのもそうですけど、雑誌連載時の絵や構成は、単行本にする時に一回白紙にします。連載中には、時間的な制約もそうですけど、20ページで1話分という大きな制約があるわけでして、描きたかった絵をはずして幅見を合わせたりしてるんです。上にあげたのは単行本時の構成案です。本当に描きたかったことを思い出しつつ、こうやって構成していくわけです。連載時の完成原稿の余白に「本当に描きたかったことラフ」を描いておくこともありました。描いておかないと忘れてしまいますから」



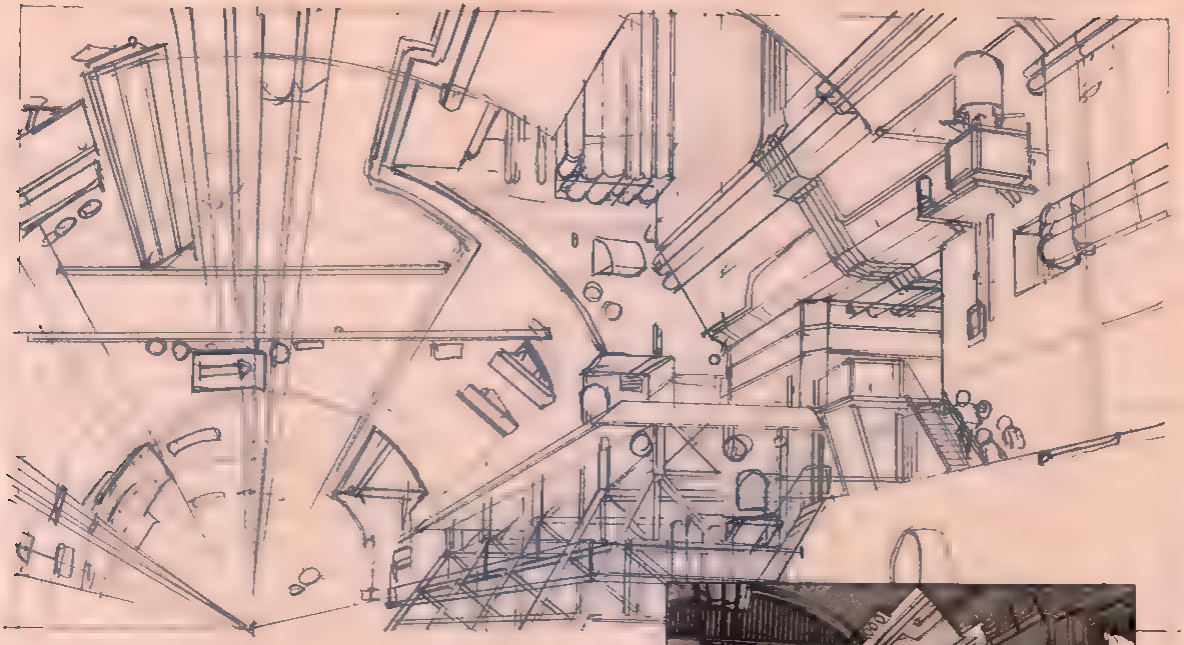
単行本のために構成し直す時、原稿は大友氏の手によって切り刻まれる。この原稿も大胆に切り刻まれ、大友氏の手元に保管されていたもの。連載第104回14〜15ページにあたる。

最多NG発生。殴るシーンは難しい。

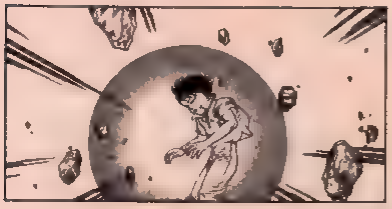
金田が鉄雄を殴るシーンはものすごく悩みました。主人公たちが素手で戦う場面があまりないので、印象的なシーンにしたかったんです。雑誌連載時も上のようにずいぶん練習してデッサンして描いたけど、出来上がった雑誌を見ると気にくわない。で、また、単行本で直しています。それにしても、「殴る」シーンは難しいです。殴る前、殴る瞬間、殴った後、それぞれ力の入り方が違うし、またアングルも様々なものがあり、どれが一番サマになるかは、デッサンしてみないとわからないんです。カッコよすぎても駄目だし、コマのリズムの変化もつけたい、なんて思いが交錯して、いや本当にこのシーンは苦労しました。

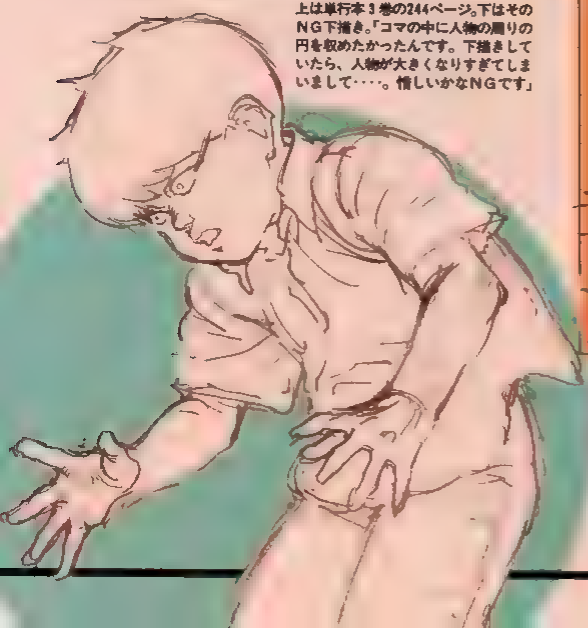


上は単行本用に描き直す際に発生したNG原稿。結局、単行本では下のような絵と構成になっている。単行本6巻の132〜133ページにあたる。

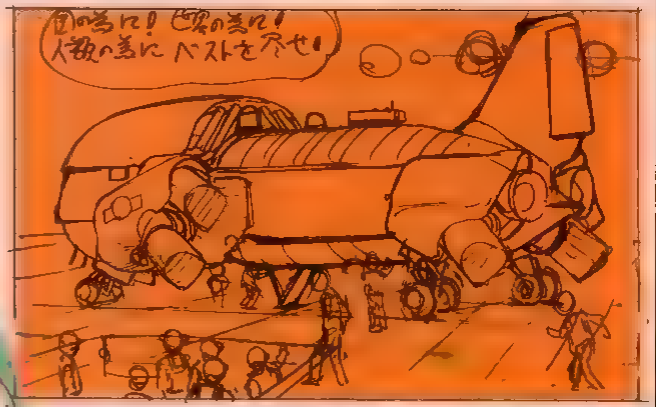


右は単行本2巻の174ページ。上はそのNG下描き。「下描きしていたら、基地が大きくなりすぎてしまいました。なんだか、大秘密基地みたいになってしまって‥‥。もっと現実的な基地にしたかったので描き直しました」

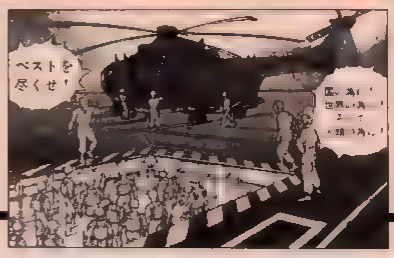




上は単行本3巻の244ページ。下はそのNG下描き。「コマの中に人物の周りの円を収めたかったんです。下描きしていたら、人物が大きくなりすぎてしまいまして‥‥。情しいかなNGです」

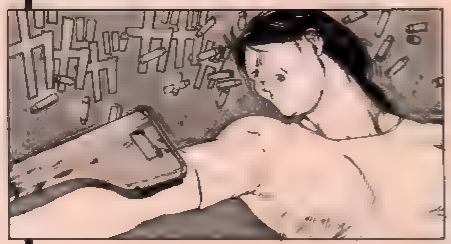


右は単行本2巻の281ページ。上はそのNG下描き。「上のやつもヘリプコターのつもりなんです。でも、これじゃ飛びそうにない。あまりにもSF的になったことを反省しながら、リアルなヘリコプターに描き変えました」

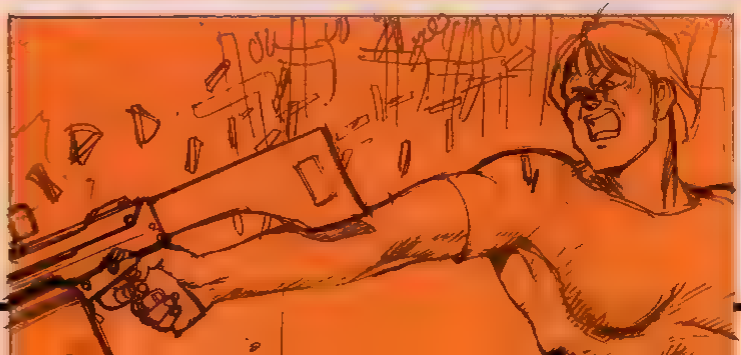


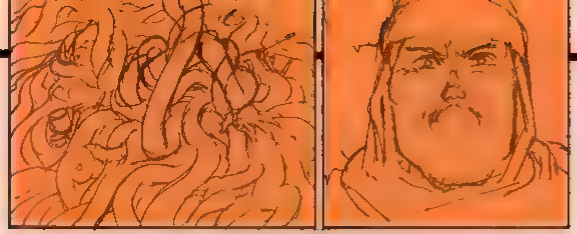
衝撃の事実！チヨコはオジサンだった。

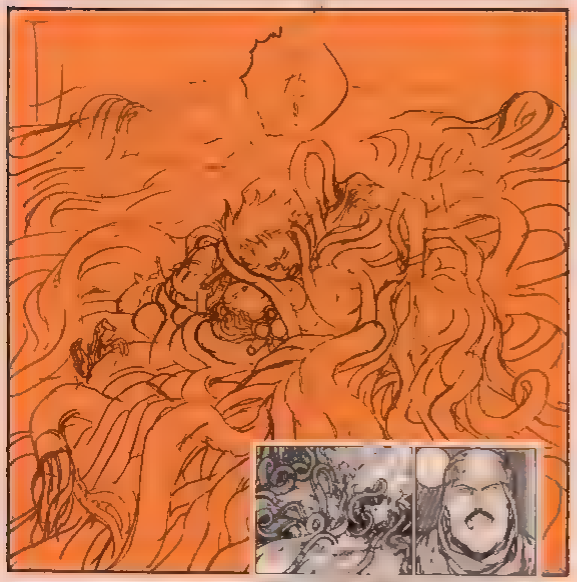
チヨコは当初の設定ではオジサンだったんです。ケイたちの組織に連絡員が必要だったので、普通に考えて、オジサンにしたんです。その下描きが右にあげたものだけど、普通すぎて、ちょっとつまらない。で、オバサン。しかも、でっかいオバサン！　小さなオジサンよりずっと存在感が出てくれました。そして描いていくうちに、どんどんチヨコが好きになってきまして、思ったよりはるかに重要な役になってしまいました。しかも、この頃ねらってた、SFの中の日本ぽい世界、みかん箱だとかコタツだとかが存在するSFっていうものにピッタリはまってくれたんです。



上は単行本4巻の149ページ。右はそのNG下描き。「ロングショットというのは状況を説明するには最適なんですが、どうも緊張感に欠けてしまいます。状況がわからなくてもいけないし、緊張感がなくてもいけない。ロングとアップのバランスにはいつも細心の注意を払ってました。また、構図に密度を出すために、描き文字で画面を埋めることもしています」

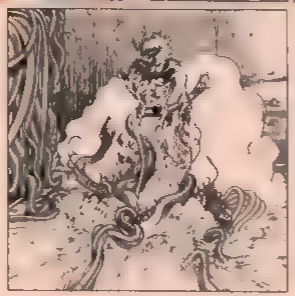


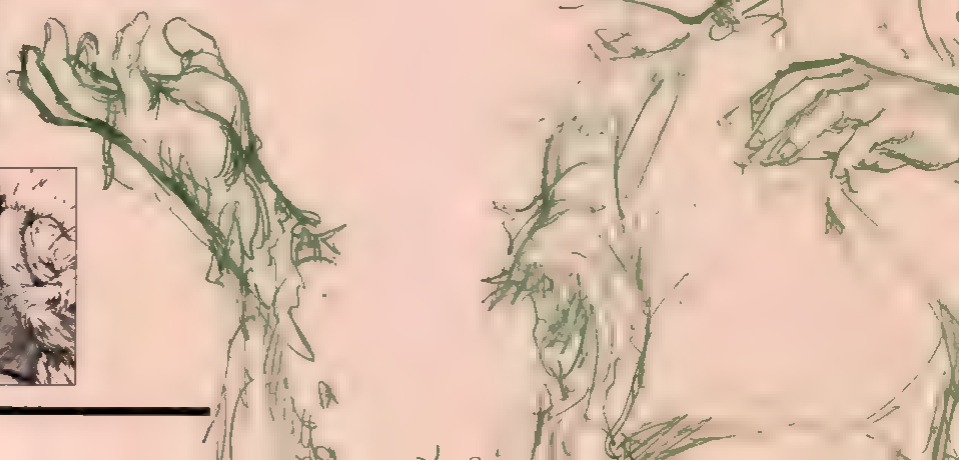




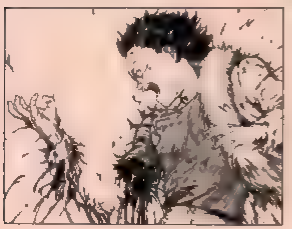
左は単行本6巻の89ページ。上はそのNG下描き。「爆発の力というか、鉄雄の持つ狂った力というか、そんなものを表現したくて、描き直したんだと思います。でも単純に描きなおしたやつの方がカッコいいでしょ。こういうシーンはカッコいい絵が浮かぶか浮かばないかが勝負です」

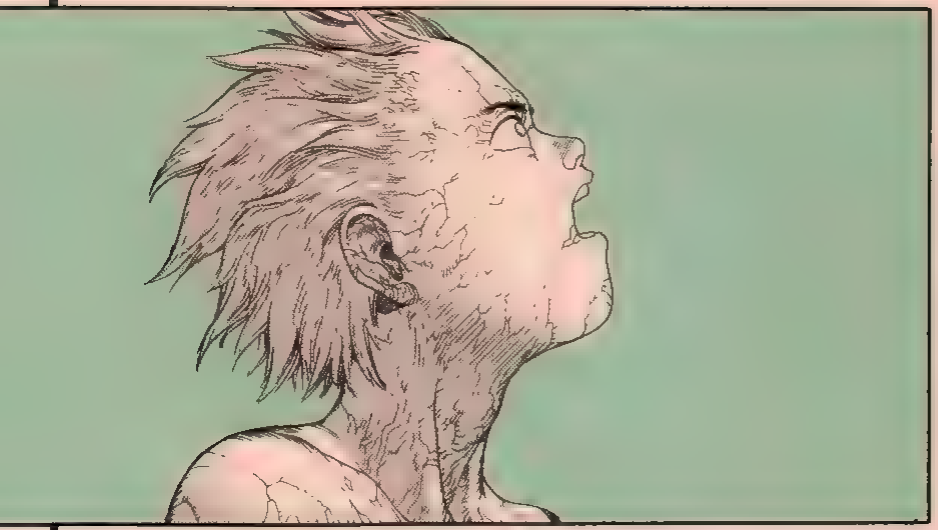
右は単行本5巻の343ページ。上はそのNG下描き。「鉄雄がコードの中から現れるシーンです。でも、上のNGは、現れるっていうより、コードに飲み込まれてるというか、コードの中でもがいているというか、鉄雄が苦しんでるようにしか見えません。で、描き直したわけです」

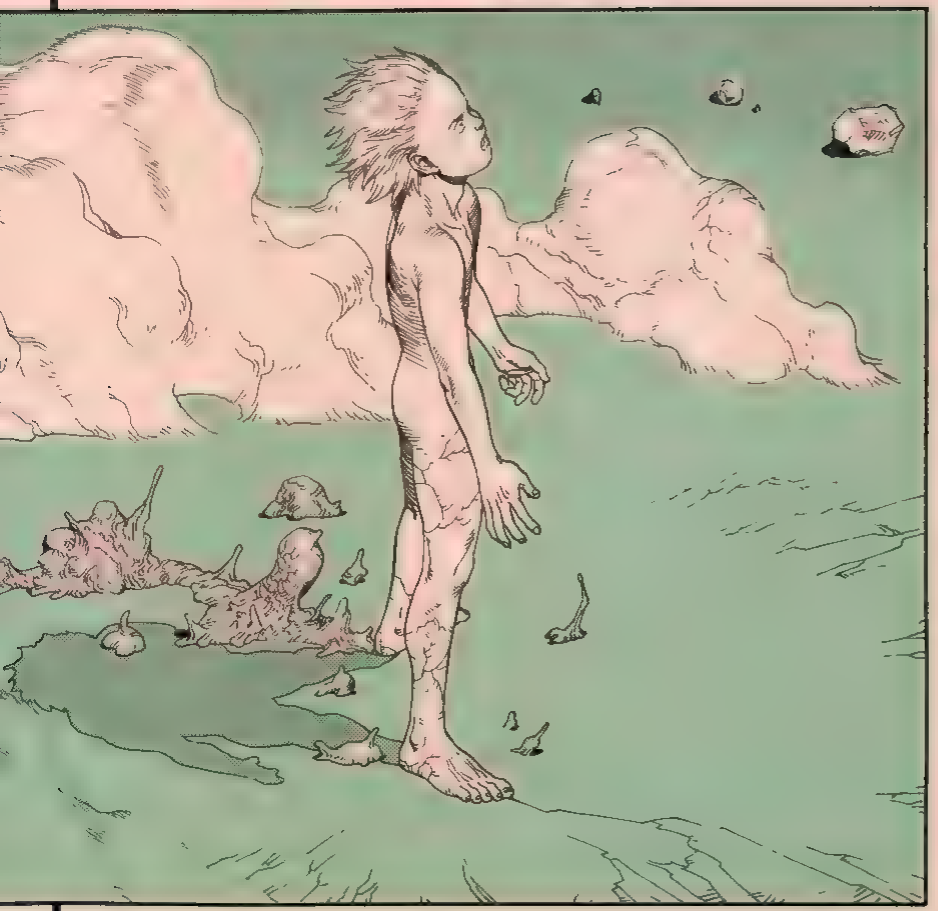




下は単行本2巻の300ページ。右はそのNG下描き。「NGはローアングル。ローアングルだと読者の視線は鉄雄の顔に行きます。このシーンでは、壊れた腕に読者の視線を集めたかったので横向きにしました。また、表情の一部だけ見せた方が緊張感が出ると判断しました」

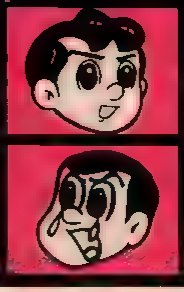




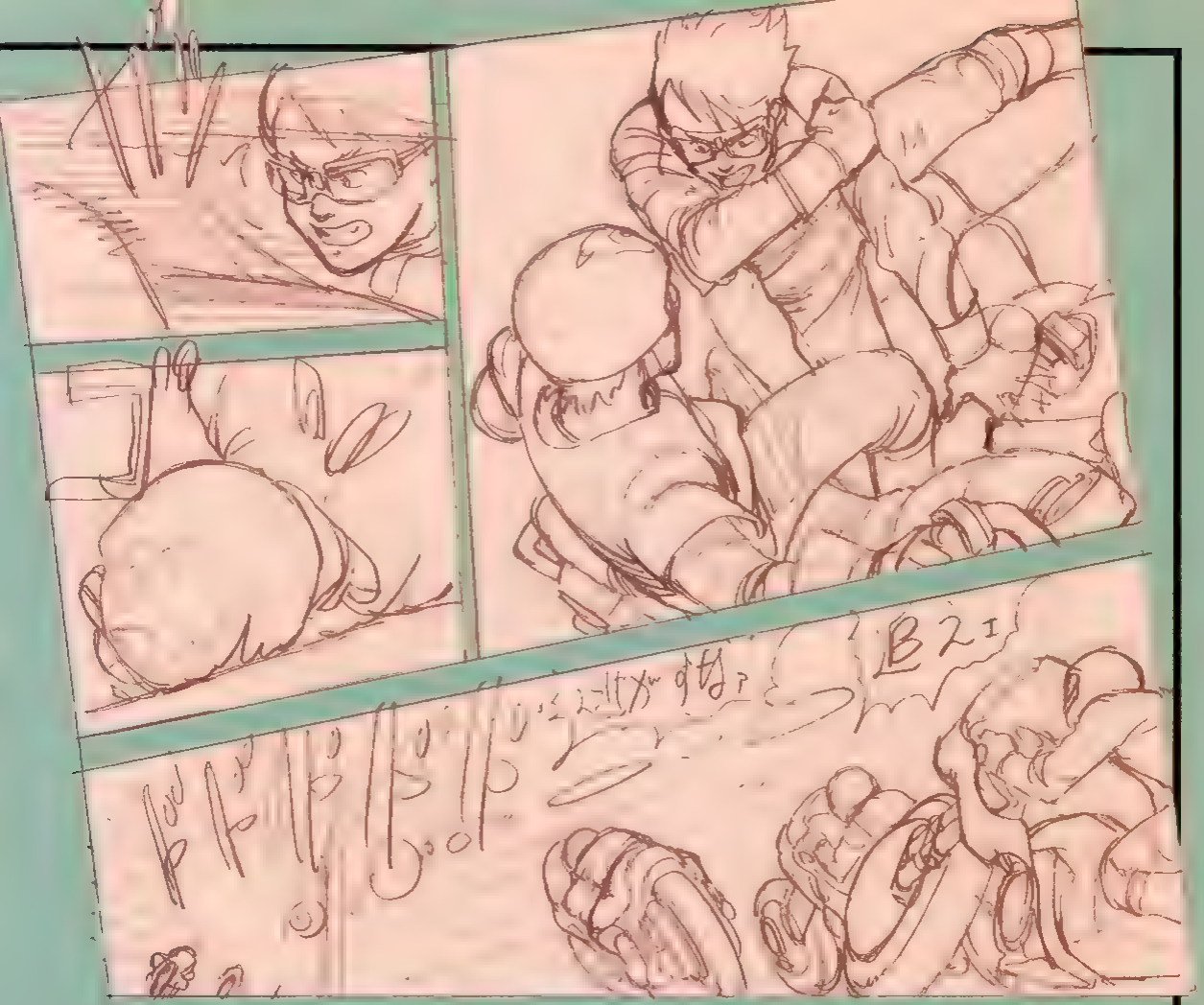


実は鉄雄と金田は『鉄人28号』にモデルがいます。

鉄雄について一言。実は、鉄雄という名前は横山光輝さんが描いた『鉄人28号』からいただいています。鉄人を作った敷島博士の息子の名前が鉄雄っていうんです。金田の名前も鉄人を操縦する金田正太郎くんからいただいています。まあ、話自体も「戦争中の秘密開発兵器をよみがえらせる」という基本コンセプトをいただいているわけで「ＡＫＩＲＡ」のネタ本は『鉄人28号』と言っても過言じゃないくらいです。

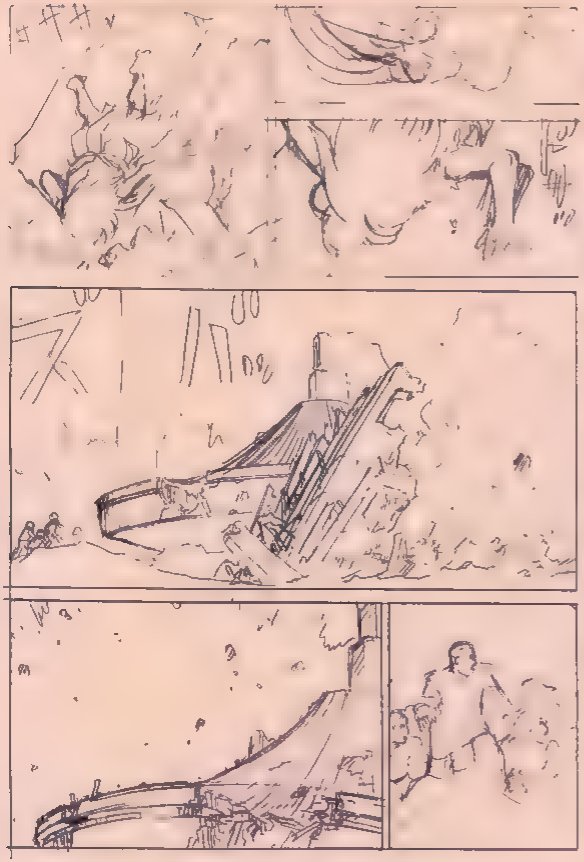


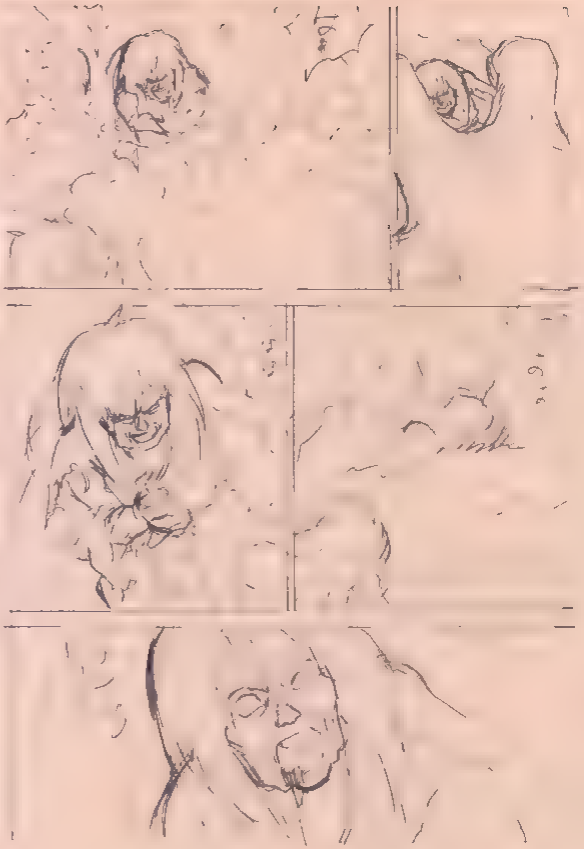
左は雑誌連載時第99話の12ページ。上は単行本６巻の54ページ。「雑誌掲載のものを単行本に描き直したものです。別に性器を描きたかったわけじゃありません。化け物の鉄雄から正気の鉄雄に戻ってきたところです。横向きだとシーンが読くイメージがあります。流れをいったんおさめるには正面の構図にした方がいいと思いました」



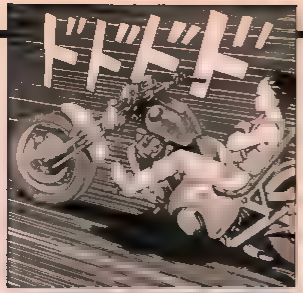
迫力のバイクシーン。スピードとテンポが構図と締め切りに優先した。

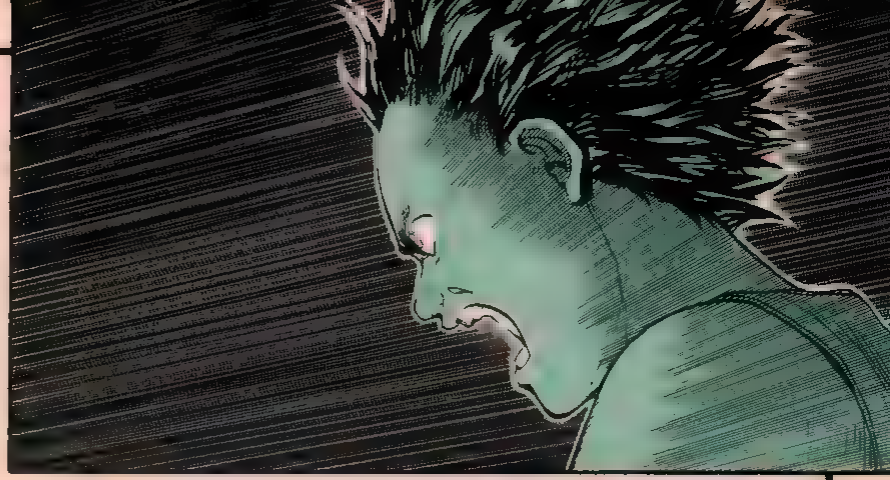
単行本1巻の130ページあたり。バイクシーンです。上の下描きは連載中のものですね。これは構図的にも気に入っていて、しっかりと下描きしたにもかかわらず、NGにしました。しかも締め切りギリギリだったというのに……。このままだと、いったんバイクから降りて戻っている感じがするでしょう。このシーンは、登場人物がちゃんとバイクに乗ったまま、バトルしているようにみせたかったんです。そのために、ロングショットにして、二つのアクションをひとつの構図に入れて、できるだけ時間が止まらないよう意識して描き直しました。右にあげたのが直したものです。バイクにのったままバトルしているよう見えませんか。スピードとテンポ、それがバイクシーンの命。カッコつけて、そう言っておきましょう。





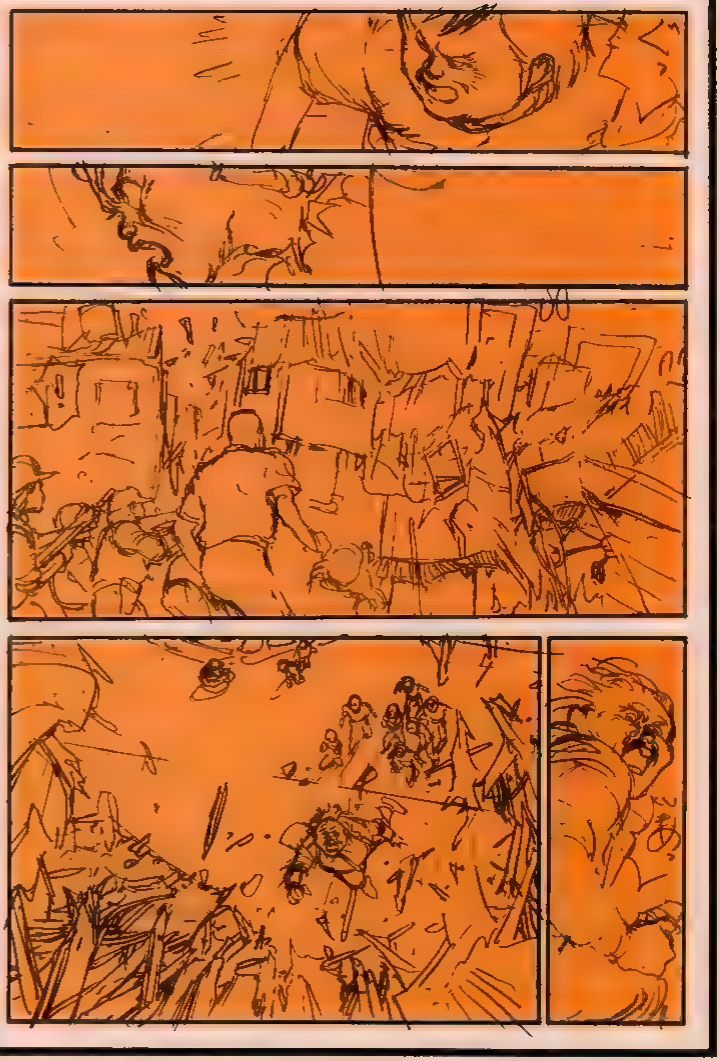
下は単行本６巻の311～314ページ、上は雑誌掲載時のＮＧ下描き。「ミヤコのラストシーンですね。２ページで下描きしてみたんですけど、どうもあっさりしすぎてしまって４ページに描き直しています。おばあちゃんもがんばってるんだよ、というメッセージを伝えたかったんです。そのために、間をゆったりととったりして、死ぬまでに時間をかけました。ミヤコのサカキに対する想いも出したかった。まあ、このラストシーンならミヤコも満足して往生してくれるのではないでしょうか」

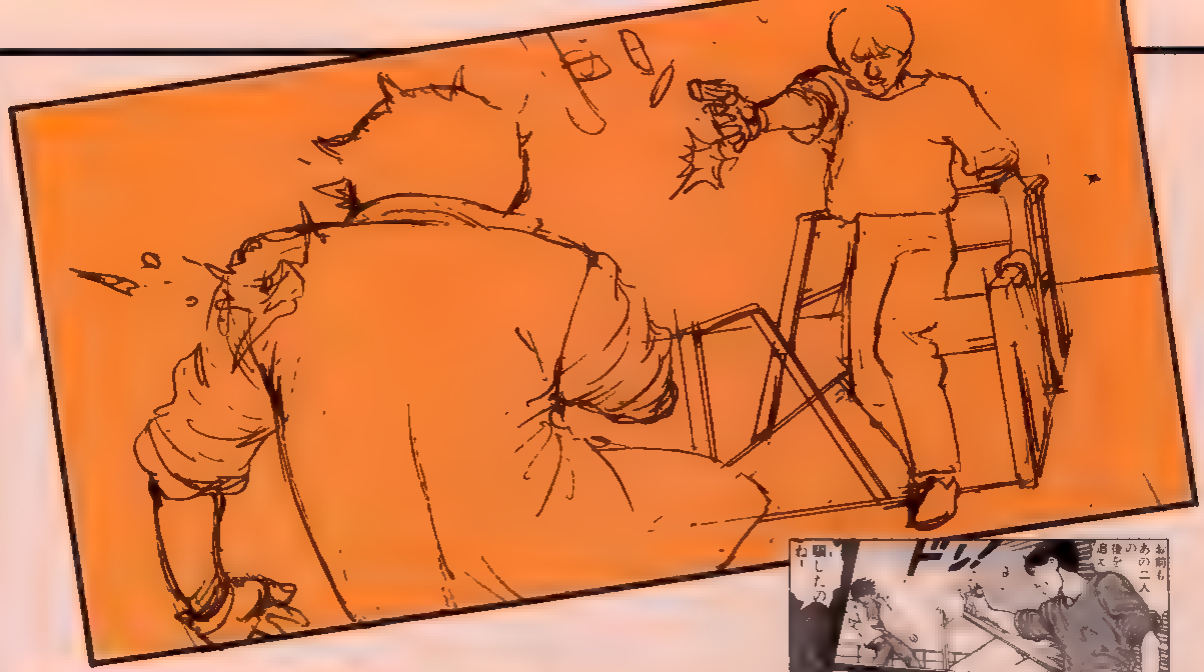


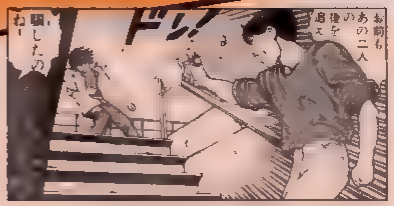


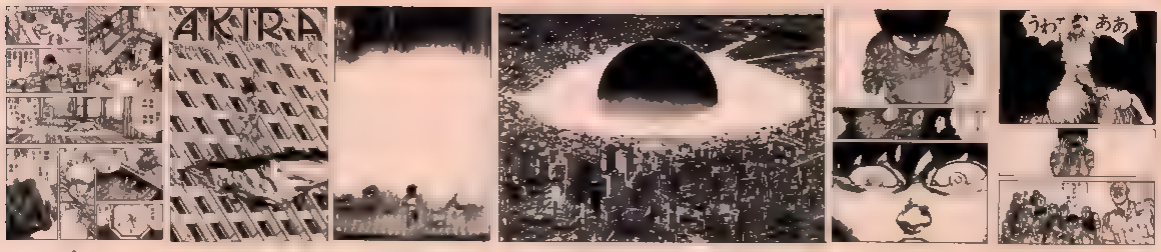
右上の表情は雑誌掲載時（第14回19ページ）のもの。単行本化の際に上の表情に描き直された。単行本1巻278ページにあたる。「雑誌に載る時は次回へのヒキを考えて、意識的に派手なラストカットを描いていました。その例がこの雄叫び表情ですね。単行本にする時には、もっと大きな流れを考えて、静かな表情にしています」

下は単行本3巻の233ページ。右と上はそのNG下描き。「マサルが根津に殺され、根津がキヨコらに超能力によって殺されるシーンです。下描きでは根津が死ぬ方に重点を置いてたんですが、やっぱりちょっと違う。マサルの死と仲間たちの悲しみを描かなきゃいけないと思い直して、描き直しました。彼らの心の中を描かないと、ラボのメンバーが単純な超能力戦士になってしまいますから。これなら、彼らが人間的で弱々しいということがわかっていただけるのではないでしょうか」

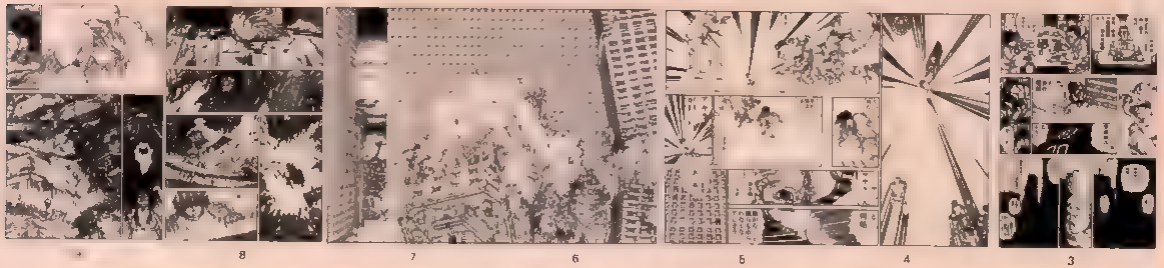





ドン!
あの二人の後を追え
!
!
!

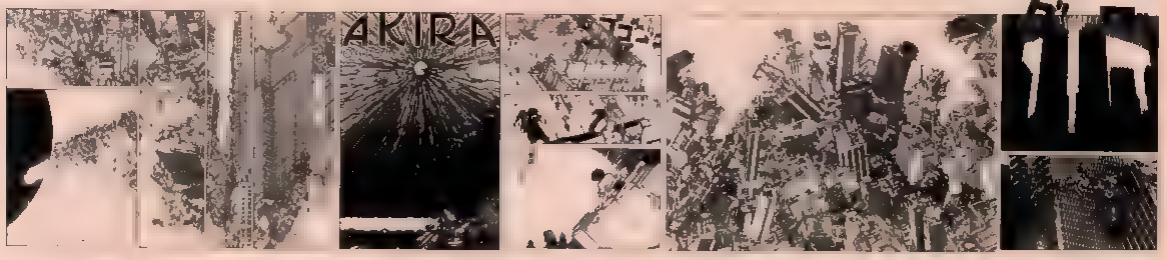


2 20 19 18 17 16



9 8 7 6 5 4 3

16 15 14 13 12 11 10

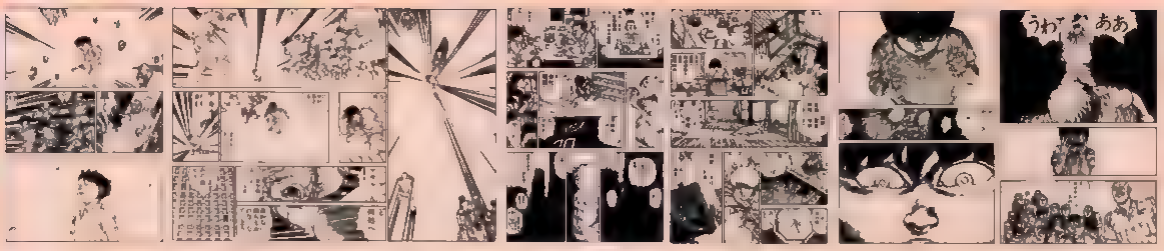


3 20 19 18 17

ジの左右が狂ってきます。順番に並べると、見開きの絵がページをまたぐところも出てきますから、再構成する必要があるわけです。それで、爆発シーンと登場人物のリアクションの順番を考えて単行本では左の構成にしました。映画でもひとつのシーンで数多くのショットを撮り、編集しますがそれに正解があるわけではありません。すべては、編集する人間の感性に委ねられているのです。描く前にふくらんでいたイメージは、実際に描きだすとひとつひとつしぼんでいくような気がします。こんなはずではなかったのに‥‥という軽い失望を感じながらも漫画家は先に進むしかないのです。

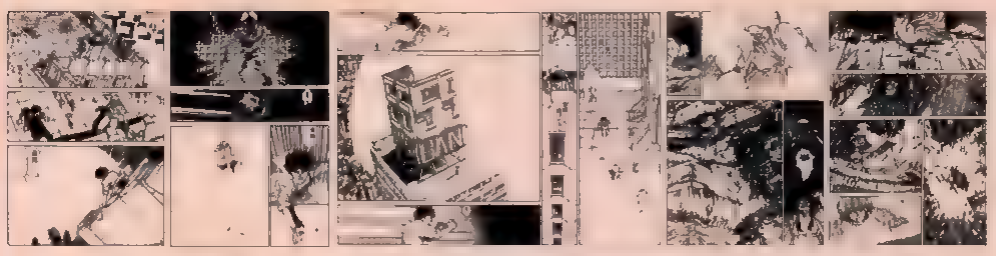
7 6 5 4

雑誌連載時の構成。第46回の16〜20ページ、第47回の1〜20ページ、第48回の1〜7ページ。計32ページ。

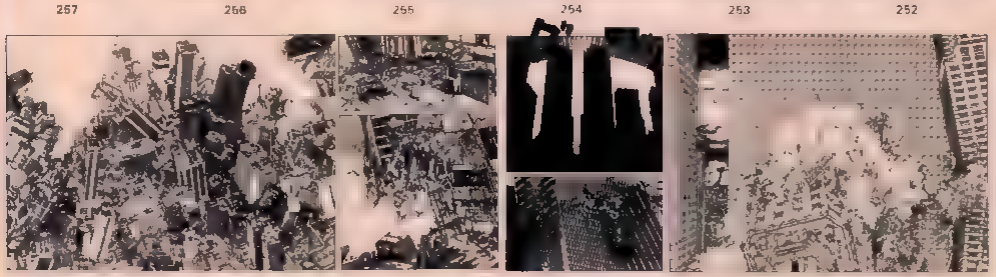


244 243 242 24 240 239 238

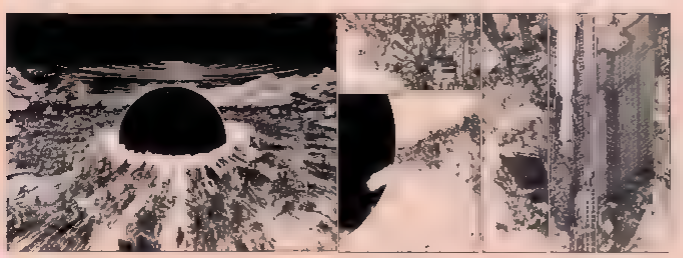
251 249 248 247 246 245



257 256 255 254 253 252



261 259 258



267 266 265 264

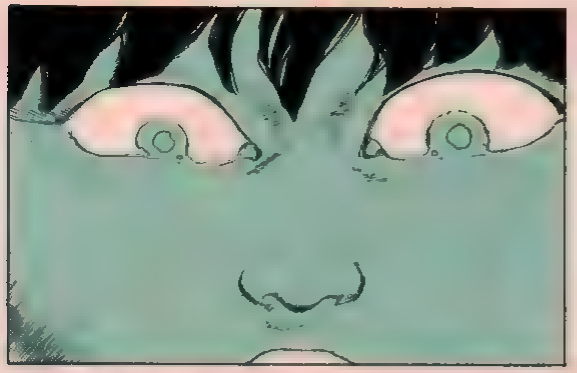
単行本時の構成。単行本3巻の238～267ページ。
計30ページ。

単行本用に再編集してみたが、どの構成が正解か未だにわからない。

この崩壊シーンでは頭の中に描きたい絵が満載していました。『バイオレンスジャック』など崩壊後の世界を描いた作品はありましたが、大崩壊がストーリーの真ん中にあるのはなかったように思います。それを『AKIRA』で実現したかったのです。しかし、納得できる構成をしている時間的余裕が連載中にはありません。しかも、単行本にする際には、雑誌掲載時の原絵をはずすので、ペー

右に同じ。本来なら単行本8巻の276ページの後に入った。「読者アンケートの人気も気になってましたから、連載中はラストページの印象を大事にしていました」

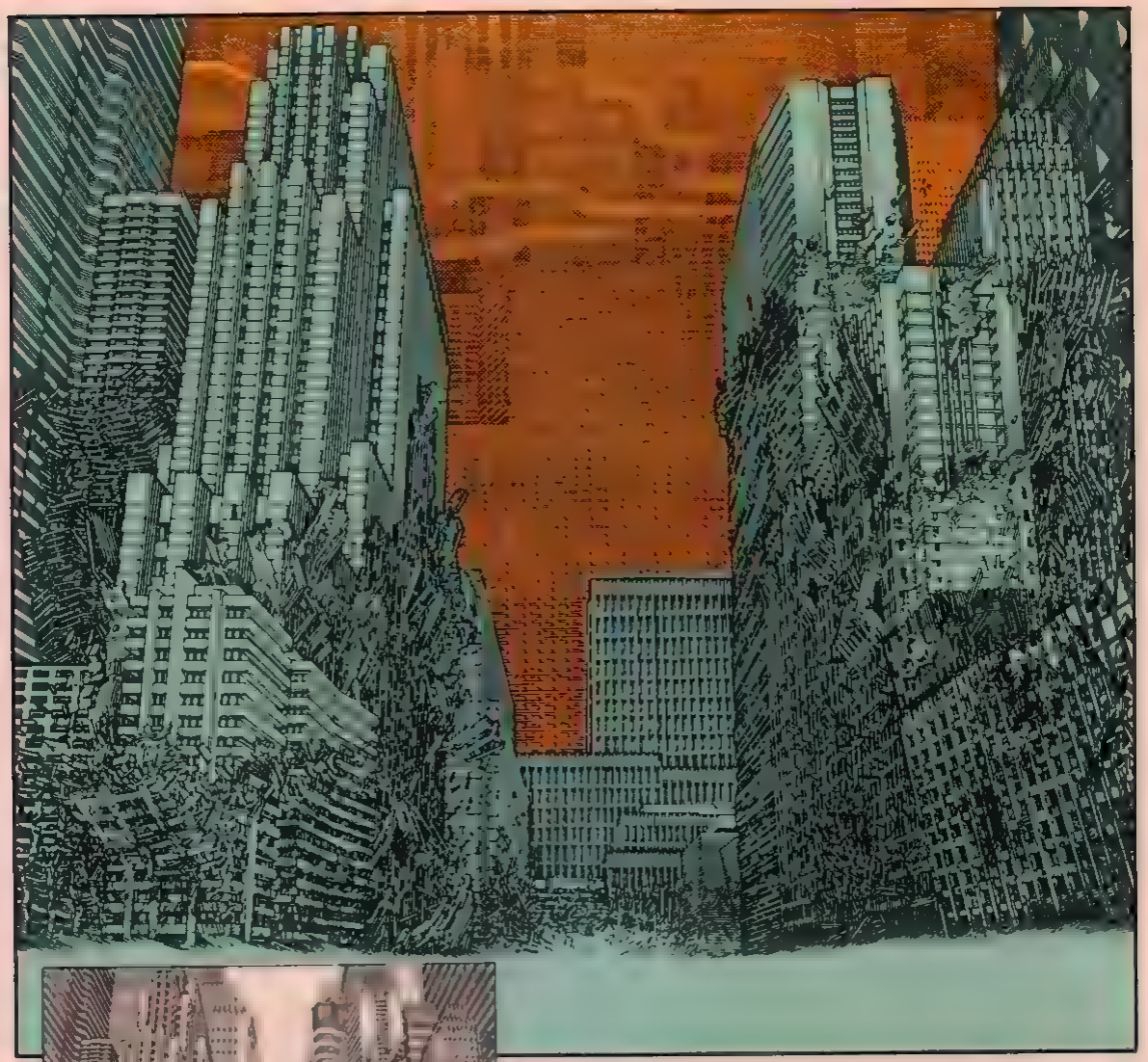
単行本にする際に聞引かれたページ。本来なら単行本5巻の36ページの後に入るもの。「連載時にオチとして描いたものです。なくてもいいかな、と思いまして」

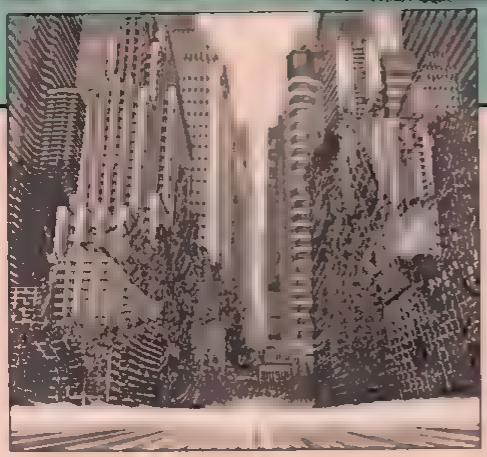


左は単行本3巻の239ページ。上はその基になった原稿。「コピーずらしの特殊効果です。意外と難しいんです。コピーの光に合わせて原稿をずらすんですけど何回やっても、うまくいかないことがありました。今のデジタルコピーならもっと簡単にできるんでしょうけどね」

アキラのイメージモデルはアニメ映画『西遊記』に出ています。

アキラはアニメ映画『西遊記』に出てくる小猿という小鬼をイメージしながら描いていました。その愛いを含んだ表情が好きで、アキラを子供に決めた時から、小猿を参考にさせていただこうと思ってたんです。アキラという名前にもモデルがいます。『じゆうを我らに』の編集をしている時に、隣のスタジオから「アキラー！アキラー！」と、怒鳴り声がしょっちゅう聞こえてくるんです。どうも、そういう名前の動監督がいるらしい。映画界でアキラと言えば大御所明さんです。そのギャップがおもしろくて、いつか描く作品にはアキラを登場させるぞ、と。こんな長編のタイトルになるとは思いもしませんでしたけど。





左は単行本6巻の431ページ。上は単行本に描き下ろした扉絵だがNGにしたもの。「いったんは描いたんですが、ヌケがないというか、壁に向かって進んでいるみたいで、描き直して、空が見えるようにしました。真横の街から新しい世界に行こう！っていうイメージが出たんじゃないでしょうか。また、このシーンはビルの描き納めでしたから、一生懸命描いたことを覚えています」

単行本２巻に入る予定だった幻の次巻予告。ページが足りないためにお蔵入りになった。背景に散きつめた文字は、当時の担当者が原稿待ちの時間に、ヒマにあかして書き上げたものである。「単行本１巻が出る前には、早く出版するように署名運動してくれた人もいました。ありがたいことです」

1982

12/16 第1回（26P／ヤングマガジン24号）
12/20 第2回（20P　ヤングマガジン1号）

1983

01/06 [illegible]
01 17 [illegible]
02 07 第5回（20P／ヤングマガジン[illegible]
02 21 第6回（20P／ヤングマガジン[illegible]
03 07 第7回（20P／ヤングマガジン[illegible]
03 [illegible] 第8回（20P／ヤングマガジン[illegible]
04 04 第9回（20P／ヤングマガジン[illegible]
04 18 第10回（20P／ヤングマガジン9号）
05 02 第11回（20P／ヤングマガジン10号）
05 16 第12回（20P／ヤングマガジン11号）
06 06 第13回（20P／ヤングマガジン12号）
06 20 第14回（20P／ヤングマガジン13号）
07 04 第15回（20P／ヤングマガジン14号）
07 18 第16回（20P／ヤングマガジン15号）
08 01 第17回（20P／ヤングマガジン16号）
08 12 第18回（20P／ヤングマガジン17号）
08 05 第19回（20P／ヤングマガジン18号）
09 19 第20回（20P／ヤングマガジン19号）
10 03 第21回（20P／ヤングマガジン20号）
10 17 第22回（20P／ヤングマガジン21号）
11 07 第23回（20P／ヤングマガジン22号）
11 21 第24回（20P／ヤングマガジン23号）
12 05 第25回（20P／ヤングマガジン24号）
12 19 第26回（20P／ヤングマガジン1号）

1984

01/06 第27回（20P／ヤングマガジン2号）
02/06 第28回（20P／ヤングマガジン4号）
02/20 第29回（20P／ヤングマガジン5号）
03/05 第30回（20P／ヤングマガジン6号）
03/19 第31回（20P／ヤングマガジン7号）
04/02 第32回（20P／ヤングマガジン8号）
04/16 第33回（20P／ヤングマガジン9号）
05/04 第34回（20P／ヤングマガジン10号）
05/17 第8回講談社漫画賞受賞
05/21 第35回（14P／ヤングマガジン11号）
06/04 第36回（21P／ヤングマガジン12号）
06/18 第37回（20P／ヤングマガジン13号）
07/02 第38回（17P／ヤングマガジン14号）
08/06 第39回（20P／ヤングマガジン16号）
08/20 第40回（20P／ヤングマガジン17号）
09/03 第41回（20P／ヤングマガジン18号）
09 17 第42回（17P／ヤングマガジン9号）

1984

09/21 単行本1巻発売
10/01 第43回（20P／ヤングマガジン20号）
10 15 第44回（20P／ヤングマガジン21号）
11 05 第45回（17P／ヤングマガジン22号）
11 [illegible] 第46回（20P／ヤングマガジン[illegible]
12/03 第47回（20P／ヤングマガジン[illegible]
12/17 第48回（20P／ヤングマガジン[illegible]

1985

02/18 第49回（16P／ヤングマガジン[illegible]号）
03/04 第50回（18P／ヤングマガジン[illegible]号）
03/18 第51回（16P／ヤングマガジン[illegible]7号）
04/01 第52回（16P／ヤングマガジン8号）
04/15 第53回（18P／ヤングマガジン9号）
05/04 第54回（18P／ヤングマガジン10号）
05/20 第55回（18P／ヤングマガジン11号）
06/03 第56回（16P／ヤングマガジン12号）
07/15 第57回（16P／ヤングマガジン15号）
08/20 第58回（18P／ヤングマガジン17号）
09 02 第59回（18P／ヤングマガジン18号）
09/04 単行本2巻発売
09/21 第60回（20P／ヤングマガジン19号）
10/21 第61回（20P／ヤングマガジン21号）
11/02 第62回（20P／ヤングマガジン22号）
11/18 第63回（16P／ヤングマガジン23号）
12/02 第64回（19P／ヤングマガジン24号）
12/16 第65回（18P／ヤングマガジン1号）

1986

01/05 第66回（19P／ヤングマガジン2号）
02/03 第67回（17P／ヤングマガジン4号）
02/17 第68回（20P／ヤングマガジン5号）
03/03 第69回（17P／ヤングマガジン6号）
03/17 第70回（19P／ヤングマガジン7号）
04/07 第71回（20P／ヤングマガジン8号）
05/02 第72回（18P／ヤングマガジン10号）
06/02 第73回（16P・ヤングマガジン12号）
06/16 第74回（15P／ヤングマガジン13号）
07/07 第75回（17P／ヤングマガジン[illegible]4号）
07/21 第76回（17P／ヤングマガジン[illegible]5号）
09/01 第77回（20P／ヤングマガジン[illegible]8号）
単行本3巻発売
09/20 第78回（17P／ヤングマガジン[illegible]号）
10/20 第79回（20P／ヤングマガジン[illegible]号）
11/01 第80回（15P／ヤングマガジン22号）
11/17 第81回（17P／ヤングマガジン[illegible]
12/01 第82回（17P／ヤングマガジン[illegible]
12 5 第83回（15P　ヤングマガジン1号）

1987

01/06 第84回（17P／ヤングマガジン2号）
02 02 第85回（17P　ヤングマガジン4号）
03/16 第86回（17P　ヤングマガジン7号）
04/06 第87回（20P／ヤングマガジン8号）
07/10 単行本4巻発売

1988

05/28 「AKIRA ビデオクリップ」（ビデオ&映画鑑賞券）発売
07/04 「AKIRA WORLD」発売
07/08 「POSTER & GRAPHIC AKIRA」発売
07/15 「AKIRA PRODUCTION REPORT―大友克洋の世界と映画アキラ」（ビデオ）発売
07/16 映画「AKIRA」全国一斉公開
「AKIRA 劇場用パンフレット」発売
「AKIRAのテーマ」（シングルCD）発売
「アキラ絵コンテ集①」発売
07/25 「AKIRA PRODUCTION REPORT」（レーザーディスク）発売
07/27 「Symphonic Suite AKIRA」（LP & CD）発売
08/01 「AKIRA mechanix 2019」発売
08/10 「AKIRAオリジナルサウンドトラック」（LP&CD）発売
08/12 「アキラ絵コンテ集②」発売
08/29 「アニメKC　アキラ①」発売
09/17 「アニメKC　アキラ②」発売
10/01 「AKIRA グラフブック」発売
10/07 「国際版　AKIRA①」発売
10/13 「アニメKC　アキラ③」発売
11/05 「アニメKC　アキラ④」発売
11/07 第88回（15P／ヤングマガジン22号）
11/21 第89回（20P／ヤングマガジン23号）
12/01 映画「AKIRA」（ビデオ）発売
12/05 第90回（20P／ヤングマガジン24号）
12/06 「アニメKC　アキラ⑤」発売
12/15 映画「AKIRA」（レーザーディスク）発売
12/24 ファミコン「AKIRA」発売
ファミコン「AKIRA」完全攻略本発売

1989

01/06 第91回（15P／ヤングマガジン2号）
01/17 第92回（15P／ヤングマガジン3号）
02/06 第93回（20P／ヤングマガジン4号）
02/20 第94回（15P／ヤングマガジン5号）
03/06 第95回（20P／ヤングマガジン6号）
03/17 「国際版　AKIRA ②」発売
03/20 第96回（17P／ヤングマガジン7号）
04/17 第97回（19P／ヤングマガジン10号）
05/08 第98回（19P／ヤングマガジン13号）
05 22 第99回（7P　ヤングマガジン15号）

1989

06/05 第100回（16P／ヤングマガジン17号）
06/19 第101回（16P／ヤングマガジン19号）
06/23 「国際版　AKIRA ③」発売
07 03 第102回（16P／ヤングマガジン21号）
07 [illegible] 第[illegible]回（[illegible]／ヤングマガジン23号）
07 [illegible] 第104回（17P／ヤングマガジン25号）
08 [illegible] 第105回（16P／ヤングマガジン28号）
09 [illegible] 第106回（16P／ヤングマガジン30号）
10 [illegible] 第107回（20P／ヤングマガジン35号）
[illegible] 「国際版　AKIRA ④」発売
[illegible] 第108回（16P／ヤングマガジン[illegible]号）
[illegible] 第109回（17P／ヤングマガジン[illegible]号）
[illegible] 第110回（17P／ヤングマガジン[illegible]号）
[illegible] 第111回（17P／ヤングマガジン[illegible]号）

1990

[illegible] 第112回（17P／ヤングマガジン[illegible]）
[illegible] 第113回（12P／ヤングマガジン[illegible]）
[illegible] 第114回（17P／ヤングマガジン[illegible]）
[illegible] 第115回（18P／ヤングマガジン[illegible]）
[illegible] 「国際版　AKIRA⑤」発売
03/19 第116回（21P／ヤングマガジン16号）
05/07 第117回（13P／ヤングマガジン23号）
05/14 第118回（19P／ヤングマガジン24号）
05/28 第119回（15P／ヤングマガジン28号）
05/31 「国際版　AKIRA ⑥」発売
06/11 第120回（16P／ヤングマガジン28号）
08/31 「国際版　AKIRA ⑦」発売
12/10 「国際版　AKIRA ⑧」発売
12/11 単行本5巻発売

1991

04/20 「国際版　AKIRA ⑨」発売
09/20 「国際版　AKIRA ⑩」発売

1992

06/20 「国際版　AKIRA ⑪」発売

1993

03/23 単行本6巻発売
03/25 「スペシャルコレクション AKIRA」（3枚組レーザーディスク）発売
06/21 「AKIRA」（低価格ビデオ）発売

1995

06/09 「AKIRA CLUB」発売

「アキラ絵コンテ集」2巻
大友氏が描いた絵コンテを完全収録

「AKIRA MECHANIX 2019」
イラストや模型でアキラの世界を解説

「AKIRA WORLD」
全面改訂のアキラ完全解説本

「ファミコン AKIRA」
ゲームのアートワーク

「POSTER&GRAPHIC AKIRA」
B2判ポスター2枚入り・超大型本

「AKIRA グラフブック」
アニメのキャラ、メカ設定などを収録

「AKIRA」のテーマ（シングルCD）
芸能山城組によるアニメのテーマ曲

「AKIRA オリジナルサウンドトラック」
アニメのセリフもふんだんなサントラ盤

ANNO 1982-1990

Q. 今年かいた最大の恥は？
A. たいして恥もなく年を越せそうです（82・12・20）
Q. お正月の予定は？
A. お酒も忙しいけれどスケジュールを調整して帰ります（83・1・3）
Q. 今年の目標は？
A. 「アキコ」を無事に描き上げること（83・1・11）
Q. 好きなナツメロは？
A. 「月光仮面の歌」「東京ラプソディー」「夜来香」（83・2・7）
Q. 納豆の好きな食べ方は？
A. 故郷の「若草納豆」なら何も混ぜなくても美味い（83・2・21）
Q. 見逃したくないテレビ番組は？
A. 「ダイアナン」（83・3・7）
Q. 生まれて初めて見た映画は？
A. 初体験は3歳の頃。たぶん自活のギャングものを観た記憶がある（83・3・21）
Q. 校内暴力の経験は？
A. これといった校内暴力は起こさなかった（83・4・4）
Q. 高校時代のお弁当で好きなメニューは？
A. ごはんの上の一角にのりがのっているお弁当（83・4・18）
Q. 嫌いだったプロレスラーは？
A. 「鶴」（83・5・2）
Q. 好きなインスタント・ラーメンは？
A. 元祖・日清の「チキンラーメン」（83・5・16）
Q. 徹夜の時の眠気解消法は？
A. まわりの人と会話して眠気をさます（83・6・6）
Q. 最近、仕事の合間に何を？
A. 見逃したTV映画のビデオを観ている（83・6・20）
Q. 夏休みの予定は？
A. 海に行って、アワビやサザエの密漁をしたい（83・7・4）
Q. 夏になると食べたくなるものは？
A. 自分でもぐってとったアワビやサザエが食べたくなる（83・7・18）
Q. 水泳は得意？
A. クロールで100メートルは疲れるので50メートル泳ぐことにしている（83・8・1）
Q. 遅刻が来たら？
A. 仕事場の前の空地のまん中でじっとしている（83・8・15）
Q. 何か免許とか特技は？
A. 赤ン坊の頃、「指原優良児」の表彰を受けた（らしい）（83・9・5）
Q. 健康法の秘訣は？
A. あまり仕事をしないこと（83・9・19）
Q. 好きなブランド品は？
A. ブランドといったら、タビはやっぱり福助ですね（83・10・3）
Q. 学園祭の思い出は？
A. 学園祭の日は休みだと思っていた（83・10・17）
Q. 旅行したい国は？
A. インドに行ってカレーを食べたい（83・11・7）
Q. 最近買ったコンサートなどで良かったものは？
A. 後楽園でみたゴーグルファイブショーが一番おもしろかった（83・11・21）
Q. おでんの具の中で好きなものは？
A. 8Bとはんぺん（83・12・5）
Q. 好きなお菓子は？
A. するめいかのみりんづけ（83・12・18）
Q. お正月の予定は？
A. 正月映画がつまらないので実家に帰る（84・1・5）
Q. お雑煮の中には何を？
A. 田舎では千切りの大根を入れる（84・2・6）
Q. バレンタインデーのチョコレートは何が好き？
A. あんまりベタ甘くないものがいい（84・2・10）
Q. パチンコは得意？
A. 年に2、3回やる程度で、以前には損ばっかりさん出したこともある（84・3・19）
Q. 元気が出てくる曲は？
A. ニナ・ハーゲンの曲を聴くと元気が出てくる（84・4・2）
Q. フォークダンスの思い出は？
A. 踊った記憶はあるけれど、踊り方は忘れてしまった（84・4・16）
Q. セコイことやったことありますか？
A. だれかが忘れていったシャーペンでアキラを描き続けている（84・5・7）
Q. 酒のつまみで好きなものは？
A. うなぎの肝焼きが大好物（84・5・21）
Q. もし刑務所に入れられるとしたら差し入れは？
A. 冷や麦かソーメンにしてほしい（84・6・4）
Q. これまでの人生でスポーツの栄光のシーンは？
A. 今のところない（84・6・18）
Q. 最近、観たい映画は？
A. 上映時間5時間の「1900年」をぜひ座席指定で（84・7・2）
Q. 愛読紙・誌は？
A. 読売新聞の縮刷版を愛読している（84・7・16）
Q. 夏の予定は？
A. この夏は、ビールをひかえたい（84・8・20）
Q. 夏祭りの思い出は？
A. 子供の頃、お祭りに来る見世物を見たかったのに、とうとう行けなかった（84・9・3）
Q. 最近、気になる人物といえば？
A. もちろん「アキラ」の登場人物たちですよ（84・9・17）
Q. 得意料理は？
A. つくれるのはケチャップスパゲティです（84・10・1）
Q. 最近、お気に入りの曲は？
A. レイ・バーカーJrの「ゴーストバスターズ」（84・10・15）
Q. 仕事中に急に食べたくなるものは？
A. ちょっと前まではトリのモモ焼きが食べたかった（84・11・5）
Q. 嫌いな食べ物は？
A. 子供のころは、肉と魚がだめなベジタリアンだった（84・11・19）
Q. どんな仕事場ですか？
A. 12～13畳くらいの広さで、窓がいっぱいある部屋を仕事場にしている（84・12・3）
Q. 思い出のクリスマス・プレゼントは？
A. 高校生の頃、女のコから毛糸の手袋をもらった（84・12・17）
Q. 好きなおせち料理は？
A. 正月はいつも酔っぱらっているので、おせち料理にはあまり印象がない（85・1・7）
Q. お風呂といえば？
A. 酔って浴槽に入って倒れたことがある（85・3・4）
Q. 好きな駅弁は？
A. どこの駅でも、とにかく幕の内弁当（85・3・18）
Q. 嫌いなプロ野球選手は？
A. プロ野球はあまり見ないので、とくに嫌いな選手もいない（85・4・1）
Q. 給食で何が好きだったのは？
A. ビーフン（85・4・15）
Q. 最近、驚かされたことは？
A. いい加減な文章で、ある宗教の信者にさせられ女（85・5・6）
Q. 最近の推薦レコードは？
A. 「ARAGON」ですね（85・5・20）
Q. 最近、燃えているものは？
A. 今、なくなった原稿を探している（85・6・3）
Q. 今、マンガ以外で熱中していることは？
A. とくにない（85・6・17）
Q. この夏の遊びの予定は？
A. まだ遊びの予定はたてていない（85・8・5）
Q. 夏、好きな飲み物は？
A. 夏の飲み物は汗をかくので、今年は熱いお茶にしている（85・9・2）
Q. 原稿をあげた後、何をしますか？
A. まず寝る（85・9・16）
Q. お気に入りのビデオやLDは？
A. 都はるみのラストコンサートのLD（85・10・7）
Q. 今、とくに会いたい人はいない（85・11・4）
Q. 買いたいものは？
A. スキー板「ヨネックス」みたい（85・11・18）
Q. 最近観て感動したモノは？
A. 「耐バイオもん」のビデオ（85・12・2）
Q. 今年の心残りは？
A. 今年はプールに行けなかったこと（85・12・16）
Q. 年末・年越の予定は？
A. 今年の大晦日は寒いから、コタツで酒でも飲みながら新年を迎えたい（86・1・6）
Q. 初詣でお祈りしたことは？
A. 「アキラ」単行本第3巻が早く出るように祈願した（86・1・20）
Q. おすすめの品は？
A. ビデオは「ソニーのβがんばれ！」の心境です（86・2・17）
Q. 嫌いなタレントは？
A. TVでヘラヘラ笑っているタレントは大体キライです（86・3・3）
Q. 仕事場に飾ってあるものは？
A. 仕事場には、くさいウンコをするネコがいます（86・3・17）
Q. 直したいクセは？
A. 飲み屋でテーブルがさびしいと、食べもしないツマミをとってしまうクセ（86・4・7）
Q. 観たい映画は？
A. 6月頃公開される「ブラジル」を見たいと思っている

大友克洋アンケート

●ヤングマガジン連載時、毎回掲外に掲載された編集部アンケートを収録

Q. 最近、気になるニュースは？
A. アメリカとリビアの紛争（'86・5・19）

Q. 愛車は何を？
A. 2年くらい乗っている黄色い自転車（'86・6・16）

Q. 雨の日にすることは？
A. 雨の降る日は、たまったビデオを見てすごす（'86・7・7）

Q. 仕事が手につかない時はどんな時？
A. 天気がいいと仕事が手につかない（'86・7・21）

Q. この夏を涼しく過ごすには？
A. あんまり水を飲まず、汗を出さないようにします（'86・8・4）

Q. カッコいい人は誰？
A. カッコいい人はたくさんいるけど、カッコいい人はちょっと浮かばない（'86・9・15）

Q. 最近の悩みは？
A. 猫のトロのノミが異常にふえて悩んでいる（'86・10・6）

Q. 最近面白かった本は？
A. 「ヤクザという生き方」（別冊宝島）が面白かった（'86・11・3）

Q. 自慢のコレクションは？
A. ベルマークです（'86・11・17）

Q. 人前で何かするとしたら？
A. 人前に出るのはあまり好きじゃないです（'86・12・1）

Q. おにぎりは何が好き？
A. おにぎりの具はシャケがいい（'86・12・15）

Q. クリスマスの予定は？
A. みんなでパーティーでもしたいですね（'87・1・5）

Q. 初詣でお祈りしたことは？
A. 今年は何かいいことがありますように、とお願いしてきた（'87・1・19）

Q. 最近観た映画は？
A. 近頃は映画を観ていない（'87・2・16）

Q. 気分をリフレッシュする方法は？
A. アシスタントとダーツゲームをすること（'87・4・6）

Q. 最も時の過ごし方は？
A. 横側でタクアンかじりお茶を飲むかな（'87・4・20）

Q. 子供の頃、事中になった遊びは？
A. ざりがに釣り（'88・11・21）

Q. 仕事中のBGMは？
A. アニメーターの森本君にダビングしてもらったイエローのレースという曲が気に入って、よく聞いています（'88・12・5）

Q. 今年のイブの過ごし方は？
A. 時間がら、自宅していようと思っています（'88・12・19）

Q. 鍋物にはこれが入ってなきゃね？
A. とうふです（'89・1・16）

Q. 子供の頃のお年玉の使い道は？
A. 覚えていません（'89・2・6）

Q. 初めてバレンタイン・チョコをくれた人は？
A. 中学2年のときにもらったのは覚えています（'89・2・20）

Q. これだけは食べられないものは？
A. 生きたサルの脳みそ（'89・3・6）

Q. 車のにおいは何ですか？
A. ジンチョウゲ（'89・3・20）

Q. とっておきのかくし芸は？
A. 別にありません（'89・4・3）

Q. もし、タイムマシンがあったとしたら？
A. それは一大事だ！　もしあるものなら見てみたい（'89・5・1）

Q. 最近見た夢は？
A. 編集に追いまわされる夢（'89・5・22）

Q. 子供の頃よくやったイタズラは？
A. 農家の庭や畑から、梨・柿・大根・人参を盗んで食べてました（'89・6・5）

Q. 透明人間になれるとしたら？
A. こんな質問を作った人を殴りに行く（'89・6・19）

Q. 地球滅亡の前日、何をしますか？
A. この欄の担当者に、もっとウィットに富んだ質問をしてもらいたいと切に願います（'89・7・3）

Q. このクセだけは直らない！
A. 雨が降ると悲しくなるクセ（'89・7・17）

Q. 眠気覚ましの方法は？
A. おしかりのファンレターを読む（'89・7・31）

Q. 何を着て寝ますか？
A. パジャマ（'89・8・14）

Q. かき氷は何味が好き？
A. イチゴ（'89・9・4）

Q. 好きなお酒の銘柄は？
A. どんなに飲んでも二日酔いしないお酒（'89・9・18）

Q. 最近観たおもしろいビデオは？
A. 知り合いのアニメーターに借りた「ピーターパンの冒険」の傑作集が面白かった（'89・10・30）

Q. イタコの口よせで誰を呼んでほしい？
A. 志ん生を呼んで落語の「三年目」をやってもらう（'89・11・13）

Q. あなたにとってのヒーローは誰？
A. 思いつかない（'89・11・27）

Q. 住んでみたい街は？
A. ニースで億万長者のように暮らしたい（'89・12・11）

Q. 自分の人生を変えたと思う選択は？
A. それは今考えているから話すわけにはいかない（'90・1・14）

Q. '90年を勝手に予測して下さい。
A. 自民党が負けて消費税が廃止されて、日本はパニックになる（'90・1・22）

Q. 最近気に入っている携帯は？
A. 志村喬（'90・2・5）

Q. 好きな異性の名前は？
A. ○○子の付く名前（'90・2・19）

Q. もう一度観たい映画は？
A. 「君に愛の月影を」旅路の果て（'90・3・5）

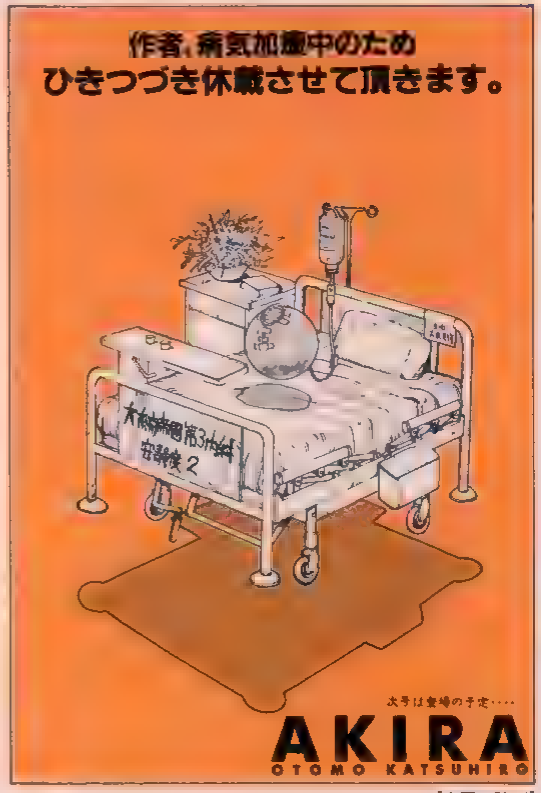
Q. 小さい頃の夢は？
A. しめきりのないマンガ家になる（'90・4・2）

Q. 平均睡眠時間は？
A. 7〜5〜3〜10時間（'90・5・21）

Q. 旅行に行くならどこに行きたい？
A. 人のいない所（'90・5・28）

Q. 心に残っている一冊の本は？
A. H・G・ウェルズの「宇宙戦争」（'90・6・11）

Q. 尊敬する人は？
A. 立派な仕事をしている人は、みんな尊敬しています（'90・6・25）



【全面お詫び】

（ヤングマガジン1987年3月16日号）

AKIRA
ILLUSTRATIONS
1982—1993

アキラ クラブ
AKIRA CLUB

created by **KATSUHIRO OTOMO**

art director AKIRA SAITO (Pencil Studio)

designer AKIKO YOSHIBA

assistant staff YASUMITSU SUETAKE, SATOSHI TAKABATAKE
MAKOTO SHIOSAKI

printing supervisor HIROYUKI KOSHU (Toppan Printing Co., Ltd.)

typesetting SENKOSHA

edited by KOICHI YURI, YASUMASA SHIMIZU, JUNJI SEKI
HISATAKA NISHITANI, HIROAKI MORITA
KEIICHI OKOCHI (KODANSHA)

editorial support OSAMU YOSHIBA, YUKA ANDO, YOSHIMASA MIZUO
KEN TSUNODA (KODANSHA)

special thanks to AKIHIKO TAKADERA, AKIHIRO HAKAMADA, AKIRA SASO, AKIRA TAGATA, ARCHIE GOODWIN, FUKUKO NAGAYASU,
FUMIO IDA, GO MOMOHARA, HARUKI IZUMI, HAZUKI IWAMOTO, HIDEKI ISHIKAWA, HIROSHI HIRATA,
HIROYUKI KITANO, HISASHI KUROMA, KATSU YOSHIDA, KATSUZO OZAWA, MASAYUKI KUSUMI, MINETARO MOCHIZUKI,
MITSUTERU YOKOYAMA, NAOMI KIMURA, SATOSHI KON, SHINJI KUBOTA, SHINJI SUGIYAMA, SO MINAMIDA,
STEVE OLIFF, TAKUMI NAGAYASU, TETSUJI HANABUSA, TOSHIHITO IZAWA, YOKO OTOMO, YUKARI AKAHOSHI,
ASAKUSA MATSUSHITA SHOUTEN, ATRIER MORITA, BANDAI CO., LTD., GAIFUSHA, GEINO YAMASHIRO-GUMI
JRA, NIKOLI Inc., PIONEER LDC, SUDO ART KOBO, TAITO CORPORATION, TOEI ANIMATION CO., Ltd.
and the many orhers who commissioned AKIRA

M·A·S·H
ROOM
COMPANY LTD.
BY
KATSUHIRO OHTOMO

1995年6月9日　第1刷発行
（定価は表紙に表示してあります）
著者　大友克洋（おおともかつひろ）
発行者　山野勝
発行所　株式会社講談社
〒112-01 東京都文京区音羽2-12-21
電話　編集部（03）5395-3461
　　販売部（03）5395-3608
印刷所／製本所　凸版印刷株式会社

©1995 MASH・ROOM
本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

Printed in Japan　N.D.C.726 261p 26cm

■落丁本、乱丁本は小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。
なお、この本の内容についてのお問い合わせはヤングマガジン編集部宛にお願いいたします。

ISBN4-06-330003-X（ヤマ）

OTOMO KATSUHIRO

この本でやっと「アキラ」にピリオドを打つ事が出来ました。
終わって見れば長いような短いような……
良く描いたなァと云う気もすれば描き足らなかったような気もします。
まァこんなところでしょうか……
何年か前、どう云った心境で書いたのか忘れてしまいましたが
画板の隅に書いた句をひとつ。
「メシ喰えば、泣けど笑えど糞の出る」
食事中の人は御免なさい。
では、又、次の作品で——。

1995.大友克洋

THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!

9784063300031

1910979035004

ISBN4-06-330003-X

C0979 P3500E (O)

講談社　定価3500円(本体3398円)

Artist : Katsuhiro Otomo
Scanned by : BBQmyNUTZ
Retouches : BBQ & Pomax
Pages: 268
Size : 1280 x XXXX
Resolution : 600 DPI

Visit us at:
www.animeartbooks.tk
#animeartbooks@irc.irctoo.net